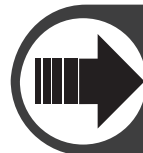
取扱説明書

DVDレコーダー

品番 DMR-EH73V

操作編

大事なお知らせ 4ページ～15ページ
ご使用になる前に必ずお読みください。

詳しいもくじは、2～3ページをご覧ください。

確認 | 録る | 見る/聞く | 編集 | 便利機能 | ダビング | 必要なとき | さくいん

番組表(Gガイド)から録画したい！

28,31ページ
「番組表(Gガイド)を使って予約録画する」「野球延長対応機能」、「番組追従機能」

BSデジタル放送などの番組を録画したい！

38,39ページ
「BSデジタルチューナー内蔵テレビなどから録画する」

他のプレーヤーなどでも再生したい！

DVD-R DVD-R DL DVD-RW +R

66ページ
「他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)」

思い出のテープを編集して、ディスクに残したい！

74ページ
お好みに合わせて
「ダビングの種類を選ぶ」

54ページ
HDDにダビングしたら
「録画した番組を編集する」

78ページ
オリジナルDVDの完成までおまかせ
「おまかせダビング」

保証書別添付

上手に使って上手に節電

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。インターネットでの登録が可能です。詳しくは、同梱の「ご愛用者カード」をご覧ください。

このたびはパナソニックDVDレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」(102～103 ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dvd/
詳しい使い方説明は、「ディーガ使い方ナビゲーション」をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/mpi/dvd/

VQT0T01

もくじ

大事なお知らせ

HDDと本機で使えるディスク・カード 4
HDDの取り扱い 8
ディスク・カードの取り扱い 9
カセットについて 10
「露付き」について 10
使用上のお願い 11
デジタル放送のお知らせ 12
「高速ダビング用録画」について 14
二重放送の録画とダビングについて 15

確認

ご自分で設置される方は…
別冊「接続・設定編」をご覧になり、必要な設定を行ってください。

各部のはたらき 16
設定を確認する 19
- テレビに本機の画面を出す 19

ディスク・カセット・SDカードを入れる 21
- ディスクを入れる 21
- カセットを入れる 21
- ＳＤカードを入れる 21

録る

録画について 22
- 録画するディスクについて 22
- 録画する番組の映像・音声の記録について 22
- 録画するカセットについて 22
- 録画の画質と時間について(録画モード) 23

録画する 24
- 見ている番組を録画する 24
- ディスクの残量に合わせて録画する（ぴったり録画） 26
- 録画しながら再生する 27

予約録画する 28
- 予約録画について 28
- 番組表（Gガイド）を使って予約録画する 28
- 番組表（Gガイド）の便利な機能 30
- 予約録画の便利な機能 31
- Gコード®を使って予約録画する 32
- 日時を指定して予約録画する（タイマー予約） 34
- 予約内容を確認する・取り消す・修正する 36
- 予約録画の終了時刻を延長する（予約延長） 37
- 予約待機を解除する 37

BSデジタル放送などを録画する 38
- BSデジタルチューナー内蔵テレビなどから録画する 39

見る/聞く

HDD・ディスクを再生する 40
- 再生の基本操作 40
- 再生中のいろいろな操作 41
- 操作の状態を確認する（情報表示） 43

HDD・ディスクの再生設定 44
- 設定の基本操作 44

MP3を再生する 45
- 再生の基本操作 45

写真（JPEG/TIFF）を再生する 46
- 再生の基本操作 46
- 写真再生のいろいろな操作 47

VHSを再生する 48
- 再生の基本操作 48
- 再生中のいろいろな操作 49
- きれいに再生できないとき 51
- 時刻、テープカウンター、テープ残量を確認する 51

音声を切り換える 52

編集する

番組や写真を消去する........................53
●再生中に消去する..53
●消去ナビを使って消去する............................53

録画した番組を編集する....................54
●番組編集の基本操作......................................54
●番組編集項目一覧..55
●チャプターを再生 / 編集する........................57
●チャプター編集項目一覧................................57

プレイリストを作成・再生・編集する.....58
●プレイリストを作成する................................58
●プレイリストの再生/編集の基本操作..........60
●プレイリスト編集項目一覧............................61

写真を編集する..................................62
●写真編集の基本操作......................................62
●写真編集項目一覧..63

便利機能

HDD・ディスクやカードを整理する....64
●HDD/DVD/カード管理の基本操作.............64

文字入力..67

本機の設定を変える(初期設定一覧)....68
●初期設定変更の基本操作...............................68

VHSの設定を変える(VHSメニュー)...72
●いろいろな項目の設定を変える
(モード設定)...72
●カセットの録画内容をすべて消す
(テープリフレッシュ).......................................73

ダビング

ダビングの種類を選ぶ........................74
ダビングを始める前に........................76

おまかせダビング...............................78
●HDDに録画した複数の番組を
組み合わせてダビングする.........................78

ワンタッチダビング...........................80
●HDDに録画した番組をダビングする...........80
●VHS に録画した番組をダビングする...........82
●DVD に録画した番組をダビングする..........84

マニュアルダビング...........................86
●HDD/DVD に録画した複数の番組や
プレイリストを組み合わせてダビングする......86
●VHSに録画した番組をダビングする...........90
●DVDビデオ(ファイナライズ後のDVD-R、DVD-R DL、
DVD-RW、+R、+RWを含む)をダビングする.....92

その他のダビング...............................94
●見ている映像をそのままダビングする.........94

写真 /MPEG2 動画をダビングする.....96
●カードの写真を一度にHDDやDVD-RAMに
ダビングする[写真(JPEG)一括取込]..............96
●写真を組み合わせてダビングする /
MPEG2 動画をダビングする.....................97

他のビデオやビデオカメラから
ダビングする.....................................100
●接続した機器を再生してダビングする......101
●DVおまかせ取込機能を使って
ダビングする(DVおまかせ取込)..................101

必要なとき

安全上のご注意 (必ずお守りください)....102
用語解説..104
Q&A(よくあるご質問)...................106
こんな表示が出たら.........................108
故障かな!?..110
修理診断カルテ.................................116
別売品のご紹介.................................117
仕様..118
保証とアフターサービス
(よくお読みください)..........................120
さくいん..............................122

本書内の表現について

●参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 接続・設定編で参照していただくページを 接続・設定編 P.○○ で示しています。
●内蔵ハードディスク部分を「HDD」、ディスク部分を「DVD」、カード部分を「SD」、ビデオ部分を「VHS」として、主に説明しています。

HDD(ハードディスク)と本機で使えるディスク・カード

お使いになる前に

テレビ番組をディスクに録画するとき

本機は、下図のようにテレビ番組を直接録画できるディスクとできないディスクがあります。直接録画できないディスクは、一度HDD に録画し、HDD からのダビングを行ってください。

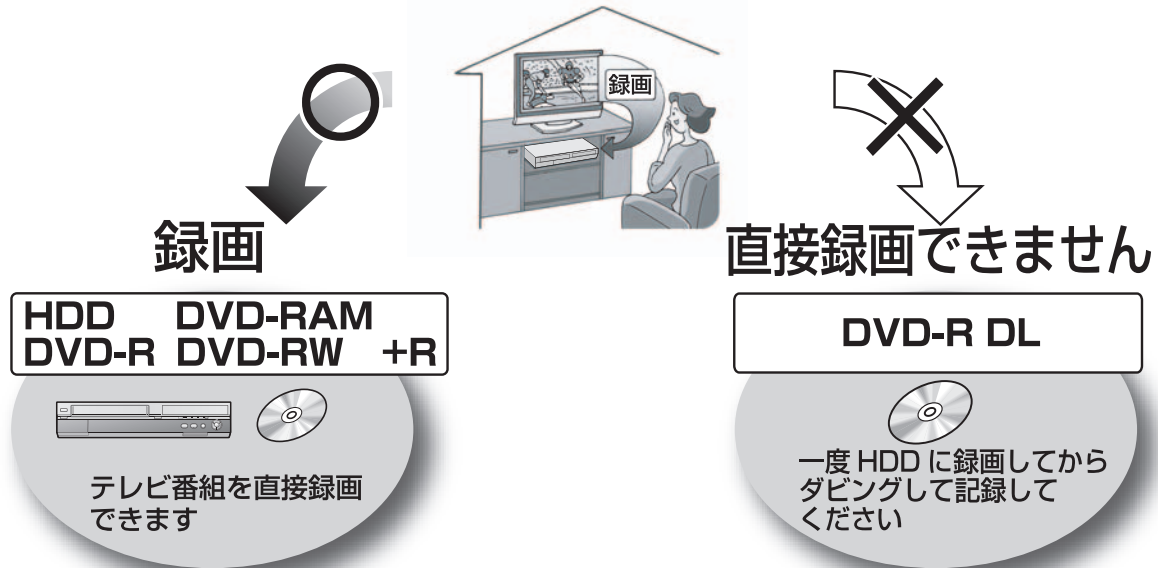
録画

HDD　DVD-RAM
DVD-R　DVD-RW　+R

テレビ番組を直接録画できます

直接録画できません

DVD-R DL

一度 HDD に録画してからダビングして記録してください

■ダビングするとき

VHS から DVD-R DL にダビングすることはできません。VHS に録画した番組をダビングしたいときは、まず HDD にダビングし、HDD から DVD-R DL へのダビングを行ってください。

記録方式について

本機は、使用するディスクによって VR方式、DVD-Video方式のどちらかの記録方式で録画します。それぞれの記録方式には以下のような特長があります。用途に合わせて使い分けてください。

VR(ビデオレコーディング)方式

テレビ放送などを記録、編集するために作られた記録方式です。

対応ディスク

HDD　DVD-RAM　DVD-R※

- デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組を録画できます。本機では、HDD または CPRM 対応の DVD-RAM、DVD-R に録画できます。
- DVDプレーヤーなどでの再生について
  DVD-RAM：DVD-RAM対応機器でのみ可能です。
  DVD-R：　VR方式のDVD-R対応機器でのみ可能です。さらに本機で録画した番組は、ファイナライズ(**➜右記**)が必要な場合があります。(ファイナライズしても再生できない場合もあります)
- 録画したあとに編集することができます。[DVD-R(VR 方式)の場合は、ファイナライズ前のディスクのみ]

※ DVD-R の VR 方式について

DVD-RにVR方式で録画するには、録画前にフォーマット(**➜右記**)が必要です。フォーマットしないで録画すると、DVD-Video方式で録画されます。(一度フォーマットすると、DVD-Video 方式で録画できません)

DVD-Video(DVD ビデオ)方式

市販されている DVD ビデオと同じ記録方式です。

対応ディスク

DVD-R　DVD-R DL
DVD-RW

- デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組は録画できません。
- ファイナライズ(**➜下記**)をしたあと、DVDプレーヤーなどで再生することができます。
- ファイナライズ(**➜下記**)する前に編集することができます。
- 本機では、DVD-Rをフォーマット(**➜下記**)しないで録画すると、DVD-Video方式で録画されます。
  一度DVD-Video方式で録画すると、VR方式にフォーマットし直すことはできません。

■ファイナライズとは

録画したディスクを他のDVD機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。**(操作方法は ➜66)**

■フォーマットとは

録画前のディスクを、録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。**(操作方法は ➜65)**

HDDと録画・再生ができるディスク（12 cm/8 cm）

ディスクの種類		内蔵HDD	DVD-RAM	DVD-R（VR方式）	DVD-R（DVD-Video方式）	DVD-R DL（片面2層）※1	DVD-RW（DVD-Video方式）	+R
ディスクのロゴマーク		—	DVD RAM RAM4.7	DVD R R4.7		—	DVD RW	—
本書内の表示		HDD	RAM	-R(VR)	-R(V) ファイナライズ後 DVD-V	-R DL ファイナライズ後 DVD-V	-RW(V) ファイナライズ後 DVD-V	+R ファイナライズ後 DVD-V
特長	最大録画時間	約355時間	約8時間（4.7 GBディスク）（両面ディスクで約16時間※2）	約8時間（4.7 GBディスク）	約8時間（4.7 GBディスク）	約14時間20分	約8時間	約8時間
特長	記録、再生できるもの	**ビデオ**（通常の録画番組）**写真**（デジタルカメラなどの写真）	**ビデオ**（通常の録画番組）**写真**（デジタルカメラなどの写真）	**ビデオ**（通常の録画番組）	**ビデオ**（通常の録画番組）	**ビデオ**（通常の録画番組）	**ビデオ**（通常の録画番組）	**ビデオ**（通常の録画番組）
特長	繰り返し録画	○	○	×	×	×	○	×
本機でできること	番組を直接録画	○	○	○	○	×	○	○
本機でできること	追っかけ再生	○	○	×	×	×	×	×
本機でできること	1回だけ録画可能のデジタル放送を録画	○※3	○※3［CPRM対応ディスクのみ（➜12）］	○※3［CPRM対応ディスクのみ（➜12）］	×	×	×	×
本機でできること	二重放送の主/副音声を記録	○※4	○※4	○※4	×※5	×※5	×※5	×※5
本機でできること	16:9映像をそのまま記録	○※4	○※4	○※4	×（4:3映像で記録）	×（4:3映像で記録）	×（4:3映像で記録）	×（4:3映像で記録）
本機でできること	番組名入力	○	○	○※6	○※6	○※6	○※6	○※6
本機でできること	番組消去	○	○	○※6（残量は増えません）	○※6（残量は増えません）	○※6（残量は増えません）	○※6（最後に録画した番組を消去したときのみ、残量が増えます）	○※6（残量は増えません）
本機でできること	プレイリスト作成・編集	○	○	○※6	×	×	×	×
互換性	他のDVD機器で再生	—	DVD-RAM 対応機器でのみ可能※7（ファイナライズは不要です）	DVD-R（VR方式）対応機器でのみ可能※7（ファイナライズが必要な場合があります）	ファイナライズ後に可能（➜66）	ファイナライズ後にDVD-R DL対応機器でのみ可能※7（➜66）	ファイナライズ後に可能（➜66）	ファイナライズ後に可能（➜66）

●DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+Rは、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。
●DVD-R(DVD-Video方式)やDVD-R DL、DVD-RWがCPRMに対応であっても、「1回だけ録画可能」な番組を録画することはできません。
●ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。（http://panasonic.jp/support/dvd/）

※1 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。（➜40）
※2 両面への連続録画、再生はできません。
※3 デジタルハイビジョン画質での録画はできません。
※4 **初期設定**「高速ダビング用録画」が「切」の場合のみ（➜70）
※5 **初期設定**「二重放送音声記録」で選択した音声が記録されます（➜71）
※6 ファイナライズ前のみ可能です。
※7 DVD-RAM: 当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。（2005年9月現在）
DVD-R(VR方式): 2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーで再生できます。（2005年9月現在）
DVD-R DL: DVD-R DLは2005年2月にDVDフォーラムで定められた新規格です。このディスクを使用するときは、DVD-R DLに対応した機器を使用してください。

再生のみできるディスク(12 cm/8 cm)

ディスクの種類	DVDビデオ	DVDオーディオ	DVD-RW(VR方式)
ディスクのロゴマーク	DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD AUDIO	DVD R W
本書内の表示	DVD-V	DVD-A	-RW(VR)
特長	**映画や音楽など、高画質の市販ソフト** ●本機では下のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 「2」または「ALL」を含むもの 例) 2 ALL 1 2 4 • 番号は国により違います。	**高音質の音楽用市販ソフト** ●本機では2チャンネルで再生されます。ただし、マルチチャンネルのDVDオーディオには、制作者の意図によりダウンミックス(➜104)が禁止されているものがあります。	**他のDVDレコーダーのVR方式で録画されたDVD-RW※** ●CPRM対応ディスクに録画された「1回だけ録画可能」な番組の再生もできます。 ●フォーマット(➜65)すると、本機ではDVD-Video方式で録画できます。 ●本機以外で録画されたディスクの中には、ファイナライズ(➜104)を行わないと再生できないものがあります。録画した機器でファイナライズを行ってください。

ディスクの種類	+RW	CD		ビデオCD
ディスクのロゴマーク	—	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	—	COMPACT disc DIGITAL VIDEO
本書内の表示	DVD-V	CD		VCD
特長	**他のDVDレコーダーで録画された+RW※** ●録画した機器でファイナライズ(➜104)を行わないと再生できないものがあります。	**音楽や音声が記録された市販ソフト** (CD-DA形式で記録したCD-RやCD-RWを含む※)	**MP3圧縮形式(➜105)で音楽が記録されたCD-RやCD-RW※** **写真(JPEGやTIFF)画像が記録されたCD-RやCD-RW※**	**音楽や映像が記録された市販ソフト** (ビデオCD形式で記録したCD-RやCD-RWを含む※)

※ 記録状態によって再生できない場合があります。
●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

使えないディスク

●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM(12 cm)
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➜104)されていないDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R
●PAL方式で記録されたディスク(DVDオーディオの音声は再生できます)
●リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
●ブルーレイディスク
●DVD-ROM ●+R DL ●+R(8 cm) ●CD-ROM ●CDV ●CD-G
●Photo-CD ●CVD ●SVCD ●SACD ●MV-Disc ●PD など

本機で使えるカード

カードの種類	SDメモリーカード miniSD^{TM}カード※1 マルチメディアカード※2
本書内の表示	SD
特長	●デジタルカメラなどで撮影した写真の再生(➜46)やダビング(➜96)ができます。 ●写真のプリント枚数の設定(DPOF設定)ができます。(➜63) ●SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)にダビングできます。[ダビング先では通常の番組(ビデオ)として再生することができます](➜97) ●MPEG2動画をSDカードから直接再生することはできません。

※1 miniSD^{TM}カードは、必ず専用のminiSD^{TM}アダプターに装着してご使用ください。
※2 マルチメディアカードは、写真の再生、ダビングのみできます。

使用可能なSDメモリーカードについて

本機では以下の容量(8 MB～2 GBまで)のSDメモリーカードが使用できます。

8 MB、	16 MB、	32 MB、	64 MB、
128 MB、	256 MB、	512 MB、	1 GB、
2 GBまで			

●使用可能領域は、表示容量より少なくなります。

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/dvd

●SDメモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜65)
●本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカードに対応しています。

本機で再生できるMP3や写真(JPEG/TIFF)について

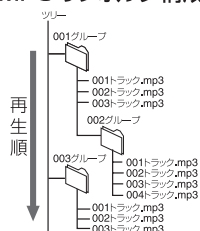
CDに記録されているMP3や写真(JPEG/TIFF)について

CD

●使用できるフォーマット：ISO9660 level 1とlevel 2(拡張フォーマットは除く)、Joliet
●フォルダ数(グループ数)：ディスク上にルートを含む最大99フォルダ(グループ)まで表示されます。
●ファイル数(トラック数)：ディスク上の最大999個のファイル(トラック)が再生できます。
●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。
●ファイル数(トラック数)やフォルダ数(グループ数)が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。
●表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。
●本機画面とパソコン画面では表示が異なることがあります。
●ディスクの作りかた(書き込みソフト)によっては、再生順が変わることがあります。
●パケットライト方式には対応していません。
●記録状態によっては再生できないものがあります。

◆MP3について

●ファイル形式：MP3
※ファイル名の拡張子に「mp3」、「MP3」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●ビットレート：32 kbps～320 kbpsまで
●サンプリング周波数：
16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
●ID3タグには対応していません。
●MP3に静止画など大きなデータが含まれていると、再生できない場合があります。
●再生したい順番を指定する場合は、右図のようにけた数をそろえた数字を付けたフォルダ構成にしてください。

MP3のフォルダ構成

◆写真(JPEG/TIFF)について

●ファイル形式：JPEG、TIFF[非圧縮RGB(点順次)方式]
※ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●画素数：34×34～6144×4096
(サブサンプリングは、4：2：2または4：2：0)
●TIFF形式の写真を表示する場合、動作に時間がかかることがあります。
●Motion JPEGには対応していません。

HDD、DVD-RAM、SDカードに記録されている写真(JPEG/TIFF)について

HDD RAM SD

●使用できるフォーマット：
DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)
DCF：Design rule for Camera File system [電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]
●ファイル形式：JPEG、TIFF [非圧縮RGB(点順次)方式]
※ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●画素数：34×34～6144×4096
(サブサンプリングは、4：2：2または4：2：0)
●最大300フォルダ(上位フォルダ含む)と最大3000ファイルに対応しています。
●TIFF形式の写真を表示する場合、動作に時間がかかることがあります。
●Motion JPEGには対応していません。

■DVD-RAM、CD、SDカードに記録されている写真(JPEG/TIFF)のフォルダ構成については(➜104)

大事なお知らせ

ハードディスク
HDDの取り扱い

HDDは記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。
大切な映像の保存のためにも、DVDディスクあるいはカセット(テープ)へのダビングを前提のうえでお使いください。

■HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です
設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などが起こると、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

■HDDは一時的な保管場所です
HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。あくまでも一度見るまで、または編集やDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

■HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…
HDD内に不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングし、修理をご依頼ください。HDDが故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

■本体表示窓に「HDD SLP」が表示されたとき(SLP:スリープ)
HDDが自動的に休止状態になっています。(通電中、HDDは高速で回転しています。HDDの寿命を延ばすため、ディスクトレイにディスクを入れていない状態で30分以上操作しないとHDDの回転を止め、休止します)HDDを休止状態にするために、お使いにならないときは、ディスクトレイからディスクを取り出しておくことをおすすめします。

●起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。**(「クイックスタート」(➜下記)が「入」になっていても同様です)**

■本機から HDD の動作音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
HDD の品質を維持させるため、本機では、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

●HDD が休止状態になるとき [本体表示窓に「HDD SLP」が表示(**➜ 上記**)]
●電源切/入時
●予約録画終了時または午前4時ごろ(1週間に1回程度)に、本機全体を自動的に再起動しているとき

重要なお願い

■設置するとき
●後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない
●水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する
●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない

●温度変化が起こりやすい場所に設置しない
●「露付き」が起こりにくい場所に設置する(➜10)

■たばこの煙など
たばこの煙、くん煙殺虫剤(煙をたくタイプの殺虫剤)などが機器内部に入ると故障の原因になります。

■動作中
●振動や衝撃を与えない(HDDが破損することがあります)
●電源プラグを抜いたり、設置した場所の電源ブレーカーを切ったりしない

通電中、HDDは高速回転しています。回転による音や振動は故障ではありません。

■移動するとき
① 電源を切る(表示窓から「BYE」が消えるまで待つ)
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ 完全に回転が止まってから(2分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)

■長期間使用しないとき
節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

待機中の消費電力
- クイックスタート「切」
  - 時刻表示点灯時　約4.0 W
  - 時刻表示消灯時　約1.3 W※
- クイックスタート「入」
  - 時刻表示点灯時　約10.0 W
  - 時刻表示消灯時　約9.0 W※

※**初期設定**の「FLディマー」を「オート」に設定した場合(**➜71**)

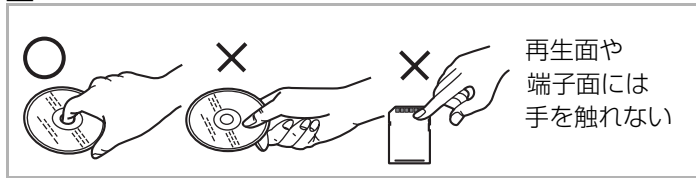
クイックスタート(➜69)とは
電源「切」状態から、以下の操作がすばやく行えるようになる設定です。(お買い上げ時は「切」に設定されています)

●**[DVD/VHS電源]ボタン**を押して約1秒で、HDD、DVD-RAMへの録画を開始することができます。(**➜24**)
そのほかの操作や、HDD、DVD-RAM以外のディスクへの録画開始は、電源を入れてから数十秒かかります。
●**[番組表]ボタン**を押して約1秒後に、番組表(Gガイド)を表示します。[番組表(Gガイド)は、お買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。(接続・設定編 P.20)]

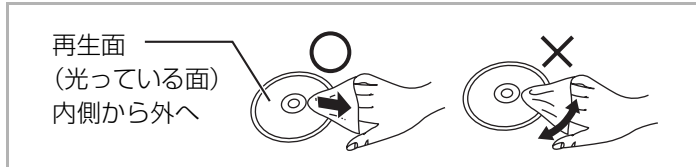
ディスク・カードの取り扱い

使用上のお願い

■持ちかた

再生面や
端子面には
手を触れない

■汚れたときや、露が付いたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

再生面
(光っている面)
内側から外へ

取り扱い上のお願い

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

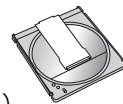
- ディスクにシールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。
  ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- ディスクを落としたり、重ねたり、物を載せたり、衝撃を与えたりしない。
- 以下のディスクを使わない。
  - ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
  - ・そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  - ・ハート型など、特殊な形のディスク

- 次のような場所に置かない。
  - ・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  - ・湿気やほこりの多いところ
  - ・温度差の激しいところ(結露が発生します)
  - ・静電気や電磁波の発生するところ
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める。

大切な映像を録画するには

ディスクの記録面に、傷や汚れが付いていると、正常に録画・再生・編集ができないことがあります。

大切な映像を、傷や汚れから守るために、DVD-RAMカートリッジ付きディスクをおすすめします

ディスクを損傷から保護し、性能を維持するため、シャッターを無理に開けないでください。

デジタル放送を録画したいときは

HDDまたはCPRM対応のDVD-RAM、DVD-R(VR方式)をご使用ください

(CPRM➜12,105)

他のDVD対応機器でも再生したいときは

DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW 、+Rはファイナライズが必要です

ファイナライズについては(➜66)

他のプレーヤーが、それぞれのディスクに対応している必要があります。

本機でファイナライズされたディスクは、記録状態により他のプレーヤーでは再生できない場合があります。

DVD関連の情報は当社ホームページでご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

カートリッジなしディスクについては

傷や汚れにお気を付けください(録画・再生・編集できないことがあります)

ご使用の前には、ディスクの記録面に傷や汚れが付いていないか十分に確認してください。

汚れていたときは(➜上記)

カセットについて

■品質のよいカセットを使う

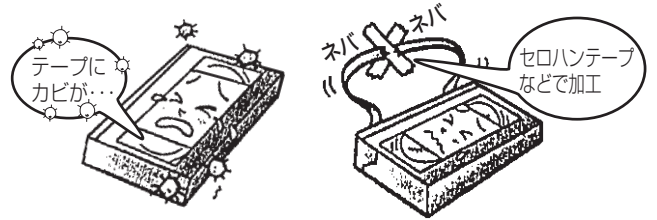
お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

●品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画·再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。

●品質の悪いカセット(テープ)の例
・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
・テープが波打ったりクシャクシャになっている
・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
・テープがたるんでいる

●このようなカセット(テープ)を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。

●このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(➜117)でビデオヘッドをクリーニングしてください。
それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。

●湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

カセットの取り扱いについて

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

●このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

●新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

●このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない
・ほこりの多いところ
・高温になるところ(推奨温度: 15 ℃〜25 ℃)
・温度差が激しいところ
・湿度の高いところ(推奨湿度: 40 %〜60 %)
・湯気や油煙の出るところ
・冷暖房機器に近いところ
・自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近付けない

●強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

「露付き」について

「露付き」とは

●冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
このような現象を「露付き」といいます。

●本機やカセットに「露付き」が起こると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

●暖かい状態のHDDが冷たい空気に触れると、HDD内部に「露付き」が発生し、ヘッドなどを傷付ける可能性があります。

●「露付き」が起こりやすいとき
・梅雨の時期
・本機やカセットを暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき、またはその逆
・寒い部屋を急に暖房で暖めるなど、急激な冷暖房をしたとき
・本機やカセットに冷房の風が直接あたっていたとき
・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき

●「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2〜3時間程度)、**電源を切ったまま放置してください。**

使用上のお願い

本機は、周囲（温度、湿度、ほこりなど）の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

使用するとき

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

ディスクトレイにディスク以外のものを置かない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

●キャビネットが変形したり、塗装がはげる恐れがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの（携帯電話など）を近付けない

●映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりする恐れがあります。
●特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気を付ける

●本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

（下記のような操作を行うと不具合が生じる可能性があります）
●本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる
●上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
●**他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる**

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

ディスクとカセットを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

●引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

お手入れについて

■キャビネットが汚れているとき
●電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

■汚れがひどいとき
●中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
そのあと、乾いた布で仕上げてください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
●キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

■録画/再生用レンズが汚れたとき
長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナーでほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。
●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

著作権など

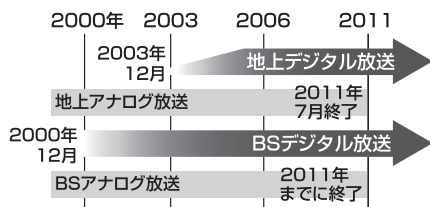
デジタル放送のお知らせ

２００３年１２月から地上デジタル放送が始まっています

■アナログ放送からデジタル放送への移行について

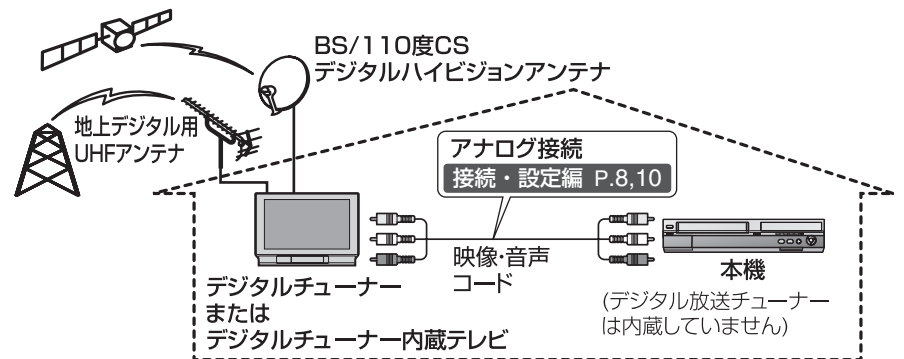
デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。

地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

■本機でデジタル放送を録画するには

別売のデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。

ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。

番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

● **デジタルハイビジョン画質での録画はできません。**

●上記内容はJEITA（社団法人電子情報技術産業協会）の規定に基づくものです。

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「１回だけ録画可能」※1のコピー制御信号が加えられています。

※１「デジタル1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。（2004年4月から）

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/

社団法人　BSデジタル放送推進協会　http://www.bpa.or.jp/

■録画の制限について

「1回だけ録画可能」な番組は、CPRM※2という著作権保護技術に対応した録画機器とディスクで録画できます。

デジタル放送をディスクに録画するときは、使用するディスクにお気を付けください。

「1回だけ録画可能」の番組は

●HDDまたはCPRM※2対応の DVD-RAM、DVD-R(VR 方式) に録画できます。

●2.8 GB（8 cm）のDVD-RAM、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+Rには録画できません。※3

※２ １回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

※３ 本機では、DVD-R(DVD-Video 方式) や DVD-R DL、DVD-RWがCPRM対応であっても録画できません。

（○: 録画できる、×: 録画できない）

放送の種類 ＼ 録画先	内蔵HDD	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)（CPRM対応）	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)（CPRM非対応）	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+R	カセット
制限なしに録画可能	○	○	○	○	○
1回だけ録画可能	○	○	×	×	○
録画禁止	×	×	×	×	×

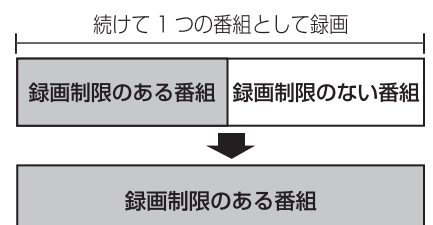
DVD側での予約録画時は、挿入されているディスクにお気を付けください。

お知らせ

●右図のように録画された番組は、録画制限のない番組でも録画制限のある番組として扱われます。番組分割(➔56)などの編集を行っても、録画制限の情報は残ります。

●本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組を他の機器で再生する場合

・DVD-RAM:　CPRM対応機器でのみ再生可能[当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは、再生できます(2005年9月現在)]

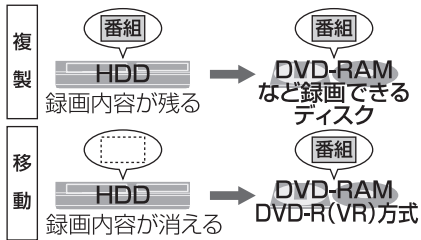
・DVD-R(VR 方式):　VR 方式で記録した DVD-R を再生できる CPRM 対応機器でのみ再生可能(2005年7月以降に発売される当社製DVDレコーダーでは、再生できます)

■本機で「1回だけ録画可能」な番組をダビングするとき

デジタル放送をディスクにダビングするときは、使用するディスクにお気を付けください。

「1回だけ録画可能」の番組は

- HDDからCPRM※4対応のDVD-RAM、DVD-R(VR 方式)に移動※5できます。(HDDからは消去されます)
- DVD-RAM、DVD-R(VR 方式)からHDDまたは他のディスクへの複製・移動※5はできません。

※4 1回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

※5 複製と移動の違いについて

(○:ダビングできる、×:ダビングできない)

ダビング先			
DVD-RAM、DVD-R(VR方式)(CPRM対応)	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)(CPRM非対応)	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+R	カセット
○ ※6	×	× ※7	○ ※8

(○:ダビングできる、×:ダビングできない)

ダビング先	
内蔵HDD	カセット
×	○ ※8

(○:ダビングできる、×:ダビングできない)

ダビング先			
内蔵HDD	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)(CPRM対応)	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)(CPRM非対応)	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+R
○	○	×	× ※7

※6 移動します。(HDDからは消去されます)

※7 本機では、DVD-R(DVD-Video方式)やDVD-R DL、DVD-RWがCPRM対応であってもダビングできません。

※8 カセットにダビングするときに、コピー制御信号が合わせて記録されます。再度、HDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)へダビングするときは、コピー制御信号が記録された部分はダビングされません。

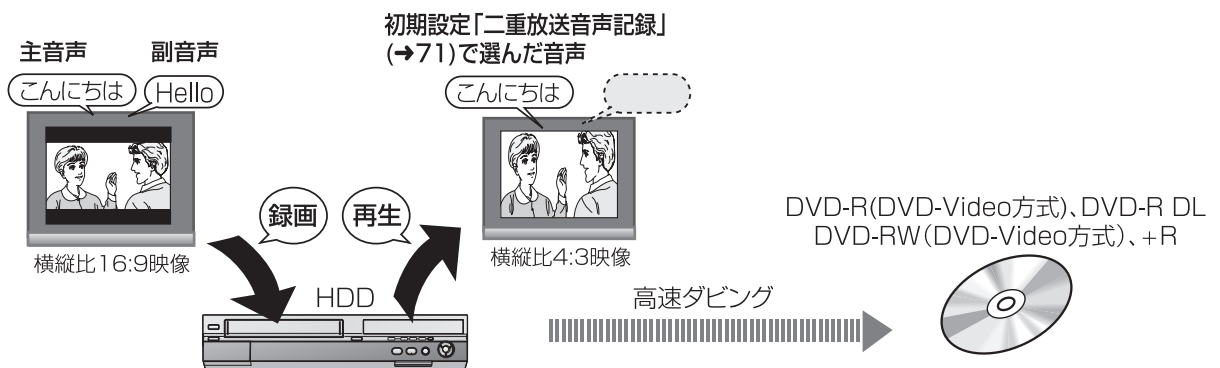
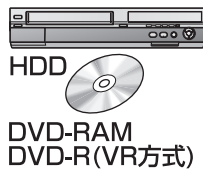
○○お知らせ○○

- 「1回だけ録画可能」の番組をカセットにダビングする場合、マクロビジョン(著作権保護技術)信号により正常にダビングできないことがあります。

「高速ダビング用録画」について

◆高速ダビング用録画とは

初期設定「高速ダビング用録画」(**➜70**)を「入」にして HDD に録画すると **(お買い上げ時は「入」に設定されています)**、録画した番組を HDD から DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R へ高速でダビングすることができます。設定の「入」、「切」によって以下のような違いがありますので、目的に合わせた設定をしてください。

	初期設定「高速ダビング用録画」の設定 **「入」**の場合 お買い上げ時は「入」に設定されています。	初期設定「高速ダビング用録画」の設定 **「切」**の場合
短時間でダビングしたい	○ 高速ダビングができます。 [例:LP モードで録画した 1 時間番組を 8× 高速記録対応の DVD-R(DVD-Video 方式) にダビングする場合、約 1.9 分でダビングできます]	× 録画した番組の時間分のダビング時間またはそれ以上の時間がかかります。 [例:録画した 1 時間番組をダビングする場合、録画モードに関係なく 1 時間かけてダビングします]
画質を変えずにダビングしたい	○ 画質を変えずにダビングできます。	× 録画モードを選択してダビングできます。
放送受信中の二重放送音声 (主音声、副音声、主 / 副音声) の切り換えがしたい	× 音声の切り換えができません。 **初期設定**「二重放送音声記録」(**➜71**)で選んだ音声が聞こえます。	○ **[音声]** ボタンで切り換えができます。
二重放送音声を両方記録したい	× 二重放送音声を両方記録できません。 **初期設定**「二重放送音声記録」(**➜71**)で選んだ音声のみ記録します。	○ 主音声、副音声を両方記録します。
ワイド放送などの画面サイズが 16:9 映像の番組をそのまま録画したい	× 4:3 映像で録画されます。 テレビ側の画面モードを変更して、画面サイズを調整できる場合があります。	○ 16:9映像のまま録画できます。

お知らせ

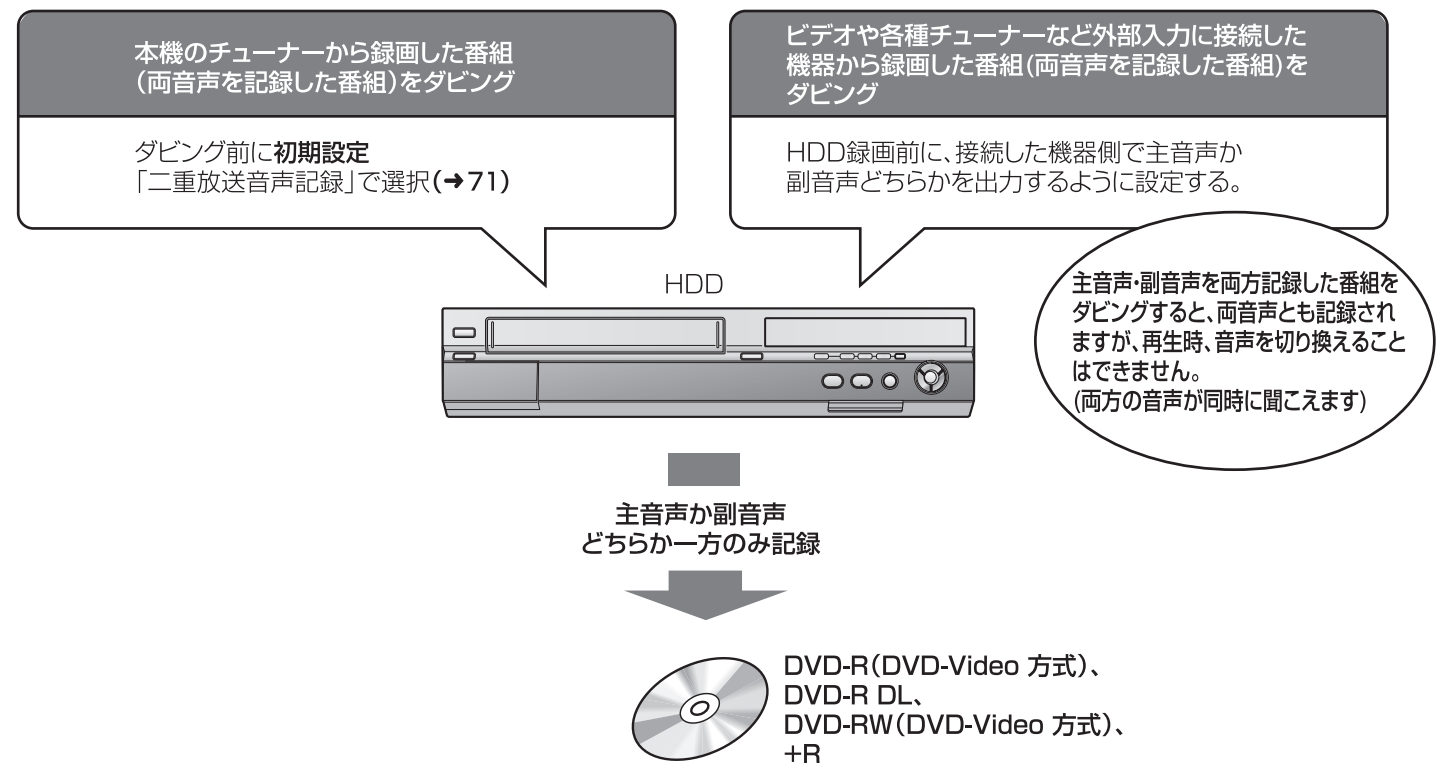
- DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R への記録時には、「高速ダビング用録画」の設定の入 / 切にかかわらず下記のように記録されます。
  - ・**二重放送音声は主音声か副音声どちらか一方のみを記録します。**
  - ・**ワイド放送などの画面サイズが 16:9 映像の番組は 4:3 映像で記録します。**(テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください)
- HDD と DVD-RAM、DVD-R(VR 方式) 間のダビング時には「高速ダビング用録画」の設定の「入」、「切」にかかわらず高速でダビングできます。

二重放送の録画とダビングについて

海外ドラマやスポーツ中継などの主音声と副音声を含む放送を「二重放送」といいます。HDDまたはディスクに二重放送を録画・ダビングするときは、設定やディスクにより記録される音声が異なります。以下の表を参考にして正しく記録してください。

録画

ディスク・設定	記録される音声	録画のしかた	設定
DVD-R、DVD-RW、+R（DVD-Video方式）初期設定「高速ダビング用録画」の「入」「切」に関係なし HDD、DVD-RAM、DVD-R(VR方式) ＋ 初期設定「高速ダビング用録画」(➔70) **入**（お買い上げ時）	主音声か副音声どちらか一方のみ記録	本機のチューナーで受信した番組を録画	➡ 録画前に**初期設定**「二重放送音声記録」で選択(➔71)
		他のビデオや各種チューナーなど外部入力に接続した機器から録画(➔38,100)	➡ 録画前に接続した機器側で、記録したい音声を出力するように設定
HDD、DVD-RAM、DVD-R(VR方式) ＋ 初期設定「高速ダビング用録画」(➔70) **切**	主音声・副音声を両方記録	本機のチューナーで受信した番組を録画	(録画後、再生時に[**音声**]ボタンで音声の切り換えができます)
		他のビデオや各種チューナーなど外部入力に接続した機器から録画(➔38,100)	➡ 録画前に接続した機器側で、主音声と副音声の両方を出力するように設定(録画後、再生時に[**音声**]ボタンで音声の切り換えができます) ●HDDに録画する場合、録画後にDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングする予定のときは、HDDに録画する前に、接続した機器側で主音声または副音声のどちらか一方のみを出力する設定にしてください。主 / 副両音声を出力するように設定すると、ダビング後再生したとき、主 / 副両音声が同時に聞こえます。

HDD から DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R へのダビング

お知らせ

●HDDまたはカセットとDVD-RAM、DVD-R(VR方式)間のダビングは主音声、副音声を両方記録した番組を両音声とも記録でき、再生時に[**音声**] ボタンで音声の切り換えができます。

各部のはたらき

リモコン（本書ではリモコンでの操作を中心に説明しています）

Ⓐ 操作先切換ボタン

操作する対象（HDD、DVD、SDまたはVHS）に合わせて、リモコンと本機の操作モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、本体のランプの点灯が切り換わり、ランプ点灯の約１秒後、点灯している先へ操作モードが切り換わります。（電源「切」のときは、切り換えることはできません）
本機を操作するときは、操作モードが操作する対象に合っているか確認してください。

HDDの操作をする前には

●必ず本体の[HDD] ランプを点灯させてください。

DVDの操作をする前には

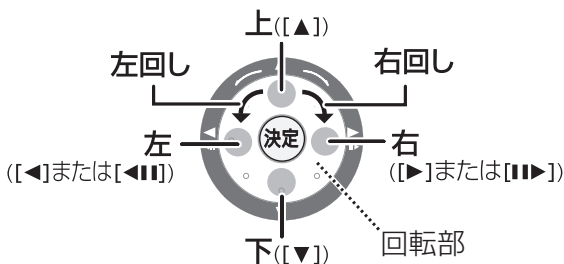
●必ず本体の[DVD] ランプを点灯させてください。

SDの操作をする前には

●必ず本体の[SD] ランプを点灯させてください。

VHSの操作をする前には

●必ず本体の[VHS] ランプを点灯させてください。

Ⓑマルチジョグ

HDD DVD SD VHS

● **メニュー画面での選択/決定:**
　選択: **上下左右([▲][▼][◀][▶])を押す**
　（左右に回して選ぶこともできます）
　決定: 決定 **を押す**

HDD DVD VHS

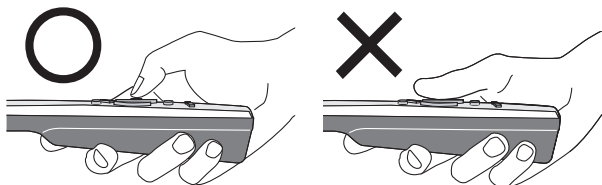
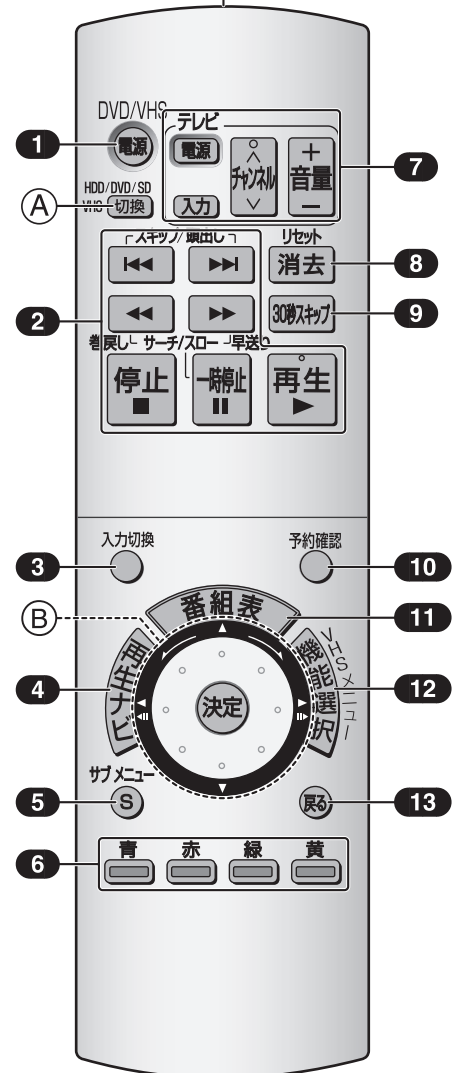
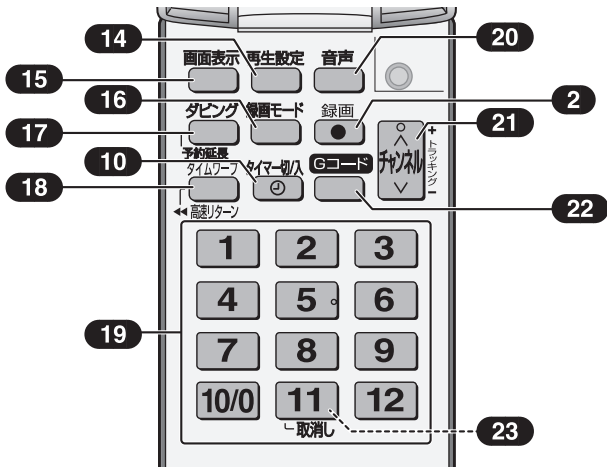
● **コマ送り/コマ戻し:**
　（一時停止中）**左右([◀II][II▶])を押す**
　[VHS はコマ送り（[II▶]）のみ]

● **早送り/早戻し:**
　（再生中）**右(送り)または左(戻し)に回す**※

● **スロー再生:**
　（一時停止中）**右(送り)または左(戻し)に回す**※

※1クリック回すごとに速度が速くなります。
　速度を遅くすることはできません。

お知らせ

誤操作を避けるために、以下のことにお気を付けください。
●マルチジョグを回すときは、あまり強く押さないでください。
●[決定] を押すときは、周囲の回転部を一緒に押さないように、指を立てて軽く押してください。

■ふたをひらいたところ

1 HDD DVD SD VHS :
電源を切/入する (➔19,28,33,35)

2 HDD DVD SD VHS :
再生や録画時の基本操作 (➔24,40,46,48)

3 HDD DVD SD VHS :入力を切り換える (➔38,101)

4 HDD DVD SD :
録画した番組や記録した写真などを探す/
編集する (➔27,41,46,54,62)
DVD :ディスクメニューを表示する (➔40,45)

5 HDD DVD SD :
サブメニューを表示する (➔30,47,54,60,62)

6 HDD DVD SD :
入力する文字や一覧画面を切り換える (➔41,67)
HDD DVD VHS :番組表(Gガイド)を操作する (➔29)

7 テレビ :テレビを操作する (➔25)

8 HDD DVD SD :
不要な番組や写真などを消去する (➔53)
VHS :テープカウンターをリセットする (➔51)

9 HDD DVD :約30秒先へ飛び越す (➔42)
VHS :CMをとばして再生·録画する (➔25,50)

10 HDD DVD VHS :予約録画時の基本操作 (➔34,36)

11 HDD DVD VHS :番組表(Gガイド)を表示する (➔28)

12 HDD DVD SD :機能選択画面を表示する (➔19,68)
VHS :メニュー画面を表示する (➔72)

13 HDD DVD SD VHS :
1つ前のメニュー画面に戻る (➔19,45,68,72)
ダビングを途中でやめる (➔80,84,89,91,98)
●市販のDVDビデオやDVDオーディオで使用する「リターン」もこのボタンで操作します。(詳しくはディスクの説明書をご覧ください)

14 HDD DVD :ディスクの再生方法を設定する (➔44)

15 HDD DVD SD VHS :
操作の状態を表示する (➔43,47,51)

16 HDD DVD VHS :録画モードを選ぶ (➔24,39)

17 HDD DVD SD VHS :
マニュアルダビングする (➔86)
VHS :予約録画の終了時刻を延長する (➔37)

18 HDD DVD :
時間を指定して飛び越す/
子画面でテレビを見る (➔27,43)
VHS :高速で巻き戻す (➔49)

19 HDD DVD VHS :
チャンネルの数字やGコード予約などの
番号を入力する (➔24,32)
DVD SD :
曲番などの数字を直接入力する (➔40,42,45,46)

20 HDD DVD VHS :音声を切り換える (➔52)

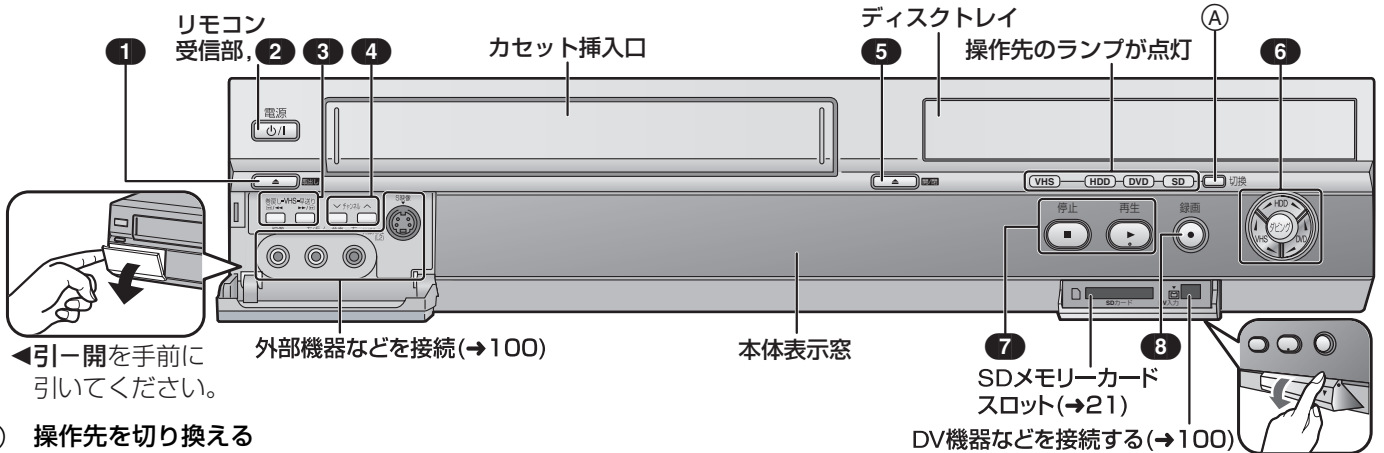
21 HDD DVD VHS :
チャンネルを順に切り換える (➔24,43)
VHS :トラッキングや垂直同期を調整する (➔51)

22 HDD DVD VHS :Gコード予約する (➔32)

23 HDD DVD SD VHS :
入力した数値などを取り消す (➔32,36)

〇〇 お知らせ 〇〇

- [録画●]ボタンと[消去]ボタンは、誤って押してしまうことを防ぐため、他のボタンよりも凹凸が少なくなっています。
- 本書では、ボタン名を[再生▶]などで示し、“ボタン”を省略しています。
- リモコンでのテレビの操作は、テレビメーカーの設定(接続・設定編 P.26)後に行えるようになります。

本体（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています）

Ⓐ 操作先を切り換える

●ボタンを押すごとに操作先のランプの点灯が切り換わり、ランプ点灯の約１秒後、点灯している先へ操作モードが切り換わります。（電源「切」のときは、切り換えることはできません）

❶ カセットを取り出す .... (➜21)

❷ 電源を切/入する .... (➜19,28,33,35)

節電のため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れます。工場出荷時は6時間に設定されています。この時間は変更できます。(➜69)

❸ VHS 再生時の基本操作 .... (➜49)

❹ チャンネルを切り換える .... (➜24)

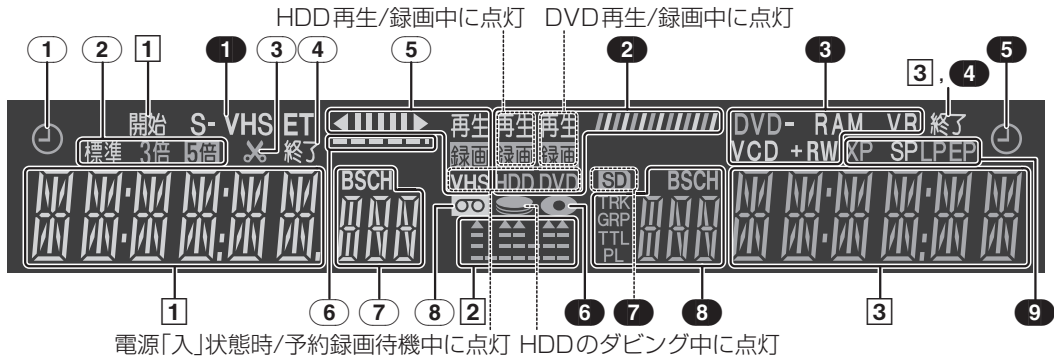
❺ ディスクトレイを開閉する .... (➜21)

❻ ワンタッチダビングする .... (➜80,82,84)

電源「入」時、ボタンの周りが青く点灯します。**初期設定**の「FLディマー」を「常時 暗」または「オート」に設定すると、消灯します。**(➜71)**

❼ 再生時の基本操作 .... (➜40,48)

❽ 録画する/録画終了時刻を指定する .... (➜24,25,39)

本体表示窓

□ HDD/DVD/SD/VHS共通

1 **メイン表示部**
●時刻　●VHS再生·録画経過時間　●テープ残量
●予約録画開始の日付/時刻　● 各種メッセージ…など。

2 **ダビング時** .... (➜80～85)

3 **メイン表示部**
●HDD/DVD再生·録画経過時間　●HDD/ディスク残量
●予約録画終了時刻　●各種メッセージ…など。

○VHS操作時

① **予約録画の待機中、実行中** .... (➜28～37)

② **録画モード** .... (➜23)

③ **CMカット録画時** .... (➜25)

④ **録画終了時刻を指定したとき** .... (➜25)

⑤ **テープ動作状態**

再生中　録画中
再生
録画
バーが繰り返し移動します※

⑥ **テープ残量** .... (➜25,51)

⑦ **チャンネル番号** .... (➜24)
●現在の受信チャンネルを表示。

⑧ **カセットが入っているとき**
●カセットが入っていないときに、録画·予約録画などの操作をすると点滅。
●ダビングするときに、ダビングができない原因になっていると点滅。

●HDD/DVD/SD操作時

❶ **S-VHSダビングの実行中** .... (➜77)

❷ **ディスク動作状態**

例）DVD-RAM
再生中　録画中　録画/再生中
再生　録画　再生 録画
バーが繰り返し移動します※

❸ **ディスクの種類**
●MP3ディスクのときは、3メイン表示部に“MP3”と表示。
●写真が記録されたディスクのときは、3メイン表示部に“JPEG”と表示。

❹ **録画終了時刻を指定したとき** .... (➜25)

❺ **予約録画の待機中、実行中** .... (➜28～37)

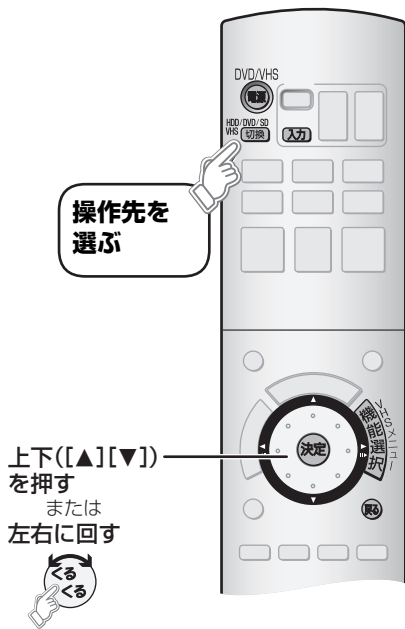
❻ **ディスクが入っているとき**
●ダビングするときに、ダビングができない原因になっていると点滅。

❼ **SDメモリーカードが入っているとき**
●3メイン表示部に“SDCARD”と表示。

❽ **チャンネル番号** .... (➜24)
●現在の受信チャンネル、およびHDD/DVD/VHSの予約録画チャンネルを表示。
番組や曲の番号と表示モード
TRK ：トラック　　GRP ：グループ
TTL ：タイトル（番組）　PL ：プレイリスト

❾ **録画モード** .... (➜23)
全点灯：FR（フレキシブルレコーディングモード）

※再生や早送りなど、動作によってバーの移動速度などが変わります。

設定を確認する

テレビに本機の画面を出す

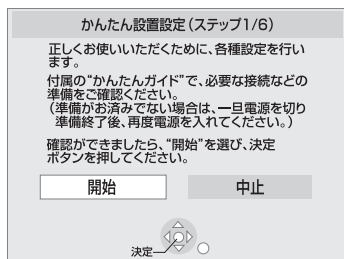
テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
HDDやDVD、SD、VHSの映像や画像を見るときも、下記の操作を行ってください。

1 テレビの入力をビデオ入力にする
[入力]を数回押す

ビデオ1

- 例えば、テレビのビデオ入力1端子に接続しているときは、「ビデオ1」にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。
- [入力]を押してもテレビの入力が切り換わらないときは、本機のリモコンでテレビの操作ができるように設定するか、テレビに付属のリモコンで操作してください。
(接続・設定編 P.26)

2 電源を入れる
を押す

下のような画面が出るとき
- お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、下のような画面が表示されます。別冊の取扱説明書 接続・設定編をご覧になり、まず「かんたん設置設定」を行ってください。

※かんたん設置設定をしない場合や、チャンネル設定を工場出荷時の状態に戻した場合は、電源を入れるたびにこの画面が表示されます。

本機HDD/DVD/SDの映像が出るか確かめる

チャンネル設定後に接続し直したときなどは、下記の操作を行って、テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
下記の操作を行っても本機の画面が映らない場合は、もう一度、接続が正しくできているか確かめてください。
(接続・設定編 P.4～)

- 左記手順*1*～*2*のあとに操作します。

3 [HDD/DVD/SD VHS 切換] **を押して「HDD」、「DVD」または「SD」を選ぶ**

- 本体のランプが点灯します。[(例)HDD]

4 本機の画面が映っているか確かめる

を押す

例）手順3で「HDD」を選んだとき

- 上のような機能選択画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。(➜20"機能選択画面について")
- またはDVDビデオソフトなどを再生してみてください。(➜40)
- 本機の画面が映らない場合は、もう一度、接続が正しくできているか確かめてください。(接続・設定編 P.4～)

■機能選択画面を消す➜ [戻る] を押す

本機VHSの映像が出るか確かめる

- 左記手順*1*～*2*のあとに操作します。

3 [HDD/DVD/SD VHS 切換] **を押して「VHS」を選ぶ**

- 本体のランプが点灯します。

4 本機の画面が映っているか確かめる
VHSの再生をしてみる(➜48)

こんなときは…

■**再生すると、映像も音声も出ない**
映像・音声コード(付属)を、本機のDVD専用出力(映像・音声)端子に接続していないか確かめてください。
➡ **本機のDVD/VHS共用出力(映像・音声)端子に接続し直してください。**(接続・設定編 P.4～)

■**再生すると、音声は聞こえるが映像が出ない**
本機のDVD専用出力(S1/S2映像)端子に接続したS映像コード(別売)を、テレビのビデオ入力1(S映像)端子に接続していないか確かめてください。
➡ **S映像コード(別売)を、本機のDVD/VHS共用出力(S1/S2映像)端子に接続し直してください。**
(接続・設定編 P.4～)

詳しくは、別冊の取扱説明書 接続・設定編をご覧ください。

機能選択画面について(HDD/DVD/SDのみ)

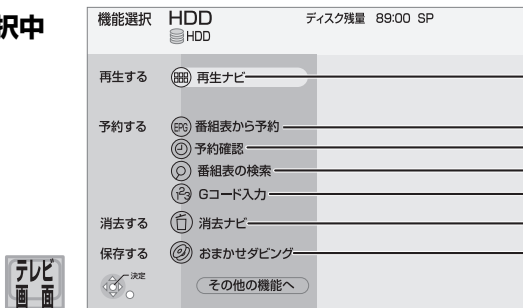
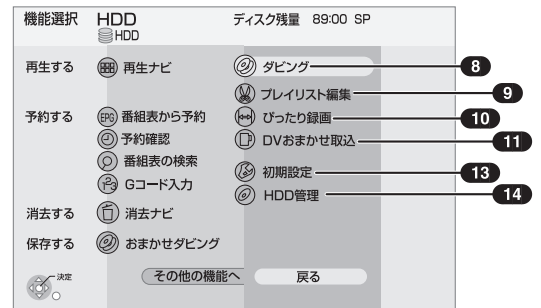
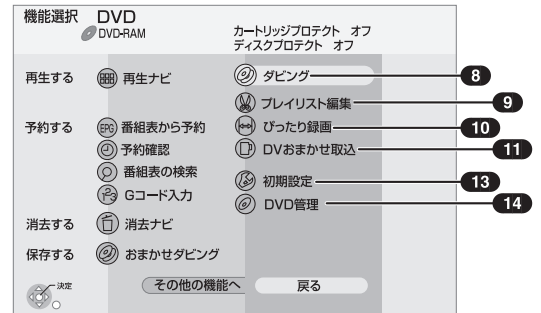
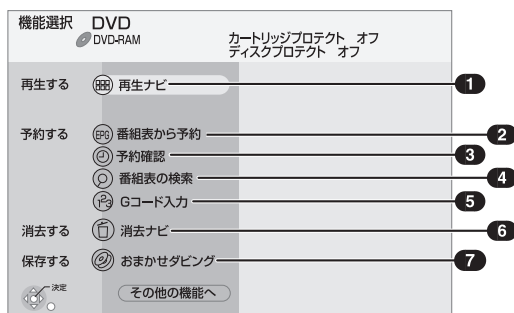
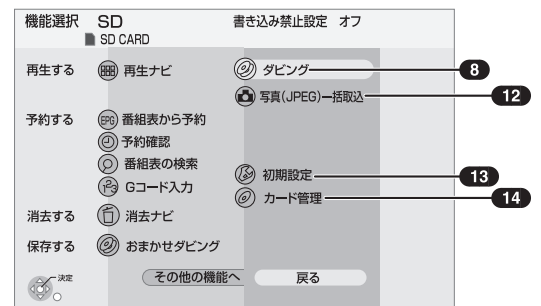
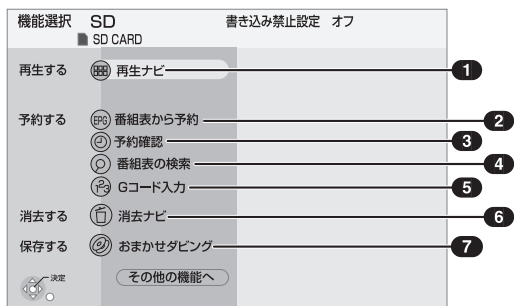
ディスクの種類に応じて、使える機能をこの画面から選ぶことができます。[HDD/DVD/SD VHS 切換]を押して「HDD」、「DVD」または「SD」を選び、を押すと表示されます。

[▲][▼]で項目を選び、(決定)で実行する

「その他の機能へ」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]で実行します。「戻る」を選び[決定]を押すと、「その他の機能へ」を選んだ前の画面に戻ります。機能選択画面を消すには、[戻る]を数回押します。

その他の機能へ を選んだとき

◆「HDD」選択中

テレビ画面

◆「DVD」選択中

◆「SD」選択中

●"プロテクトを設定している"など、条件によって選べない項目は灰色で表示されます。

機能の詳細はそれぞれのページをお読みください。

❶ 再生ナビ(➔41,46,54,62)
●録画した番組や記録済みの写真の一覧を表示させます。

❷ 番組表から予約(➔28)
●番組表を表示させます。

❸ 予約確認(➔34,36)
●録画予約の一覧を表示させます。予約の取り消しや修正ができます。

❹ 番組表の検索(➔30)
●ジャンルやキーワードで番組を探して録画予約します。

❺ Gコード入力(➔32)
●Gコード予約ができます。

❻ 消去ナビ(➔53)
●録画した番組や、記録済みの写真を消去します。

❼ おまかせダビング(➔78)
●DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするとき、他の機器での再生に必要な処理まで自動で行います。

❽ ダビング(➔86)
●ダビング設定画面を表示させます。

❾ プレイリスト編集(➔58,60)
●プレイリストの一覧を表示させます。プレイリストの作成・再生・編集ができます。

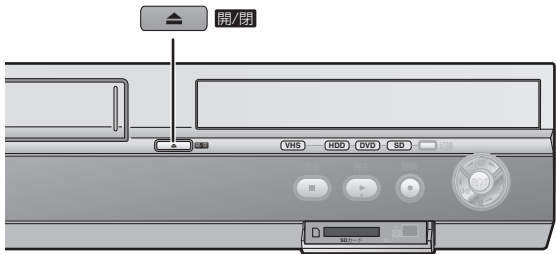
❿ ぴったり録画(➔26)
●ディスクの残量に合わせて録画できるように設定します。

⓫ DVおまかせ取込(➔101)
●デジタルビデオカメラなどをDV入力端子に接続してダビングするとき、プレイリストを自動で作成できます。

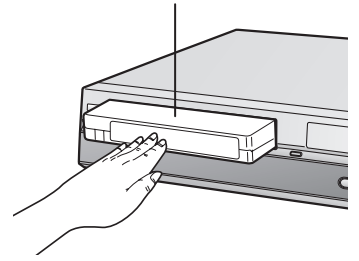
⓬ 写真(JPEG)一括取込(➔96)
●カードの写真をHDDまたはDVD-RAMに一度にダビングします。

⓭ 初期設定(➔68〜71)
●必要なときに本機の設定を変更します。

⓮ HDD管理/DVD管理/カード管理(➔64)
●ディスクやカードの状態・用途によって、録画(記録)前や録画後に必要な処理などを行います。

ディスク・カセット・SDカードを入れる

カセットを入れる

テープが見える面を上にして、ゆっくり入れる

●自動的に電源が入ります。

■カセットを取り出す

➡【本体】 取出し を押す

【リモコン】「VHS」選択中、 を約3秒以上押す

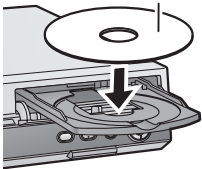
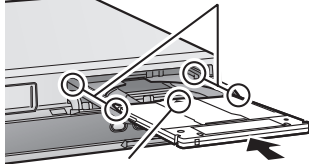
●VHS側が予約録画の待機中のときは働きません。(➜37)

ディスクを入れる

本体の［▲］開/閉 を押してトレイを開き、ディスクを入れる

●もう一度［▲開/閉］を押すと、トレイが閉まります。

●電源が切れていても取り出せます。

(カートリッジなし)

(カートリッジあり)

フォーマット確認画面が表示されたとき(➜25)

お知らせ

●8 cm DVD-RAMや8 cm DVD-Rの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。

■操作先の自動切換機能

● RAM ［誤消去防止(➜65)を設定したディスクのみ］
DVD-V DVD-A CD VCD
停止中または HDD、VHS に録画中、ディスクを入れると自動的に操作先が「DVD」に切り換わります。ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めると自動的に「HDD」が選ばれます。

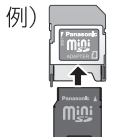
● SD 停止中、SDカードをスロットに入れると、「SDカードの操作」画面が表示されます。そのとき画面操作(➜46,96)を行うと、操作先が「SD」に切り換わります。

● VHS 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“OFF”になっているカセットを入れると、自動的に操作先が「VHS」に切り換わります。

SDカードを入れる

●本体表示窓の“SD”点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

●miniSD™カードは、必ず専用のminiSD™アダプターに装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例)

入れかた

❶ スロットのふたを開ける

❷ カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

❸ スロットのふたを閉じる

出しかた

❶ スロットのふたを開ける

❷ カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

❸ スロットのふたを閉じる

録画について

録画するディスクについて

本機ではいろいろなディスクに録画することができます。目的に合ったディスクに録画してください。**(詳しくは➜5)**
- ディスクに残量がある限り自動的に未記録の部分に録画を行いますので、カセットのように未記録部分を探す必要がありません。上書きは行いませんので、不要な番組がある場合は消去**(➜53,55)**してください。

1枚のディスクに録画できる番組数

HDD 最大500番組
[長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます]

RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) 最大99番組

+R 最大49番組

- DVD-R DL に番組を直接録画することはできません。

デジタル放送を録画するとき

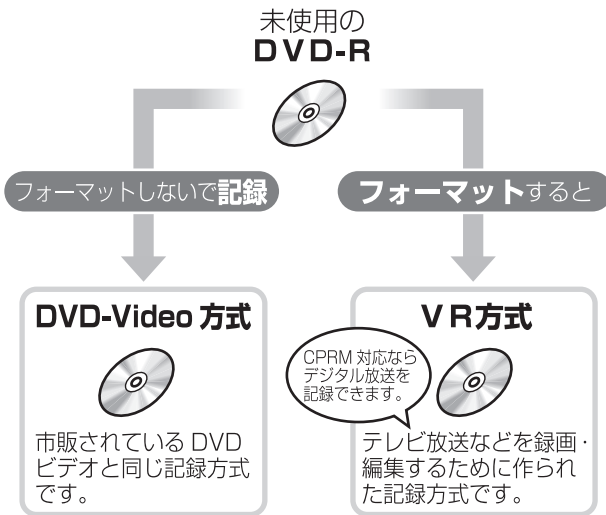
HDD RAM -R(VR) **に録画できます。**
ただし、DVD-RAM、DVD-R(VR方式)※については、CPRM対応であることが必要です。**(詳しくは➜12)**
※録画前にフォーマットが必要です。

録画したあとは

-R(V) -RW(V) +R
他の機器で再生するには、録画後にファイナライズ**(➜66,104)**が必要です。

-R(VR)
DVD-R(VR 方式)に対応した他の DVD 機器で再生するには、録画後にファイナライズ**(➜66,104)**が必要になる場合もあります。

■DVD-R の記録方式とフォーマットについて

本機では、DVD-Rをフォーマットせずに使用した場合、DVD-Video 方式で録画します。V R 方式で録画したい場合は、録画前にDVD管理でフォーマットを行ってください。**(➜65)**

DVD-Video 方式	特長	V R方式
×	二重放送の主・副音声を両方記録	○※1
× 4：3 映像で記録	16：9映像をそのまま記録	○※1
×	「1 回だけ録画可能」なデジタル放送の番組の記録	CPRM 対応ディスクのみ ○
×	プレイリストの作成・編集	○
ファイナライズ後に可能	他のＤＶＤ機器で再生	DVD-R(VR 方式) 対応機器でのみ可能 ※2

※1 **初期設定**「高速ダビング用録画」が「切」のとき
※2 ファイナライズが必要な場合があります。
2005 年 7 月以降に発売される当社製 DVD レコーダーで再生することができます。

いったん録画またはフォーマットすると、あとで記録方式を変えることはできません。

録画する番組の映像・音声の記録について

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

- **16:9映像の番組**
  ➡ 4:3映像で記録します。**(➜14)**

- **海外ドラマなどの二重放送**
  ➡ 主、副音声のどちらか一方のみ記録します。**(➜15)**
  初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」または「副音声」を選ぶ(➜71)

◆ 16:9映像の番組、二重放送の番組をそのまま録画するには※

HDD RAM -R(VR)

➡ **初期設定「高速ダビング用録画」を「切」に設定する(➜70)**
二重放送を録画する場合、音声を選ぶ必要はありません。主、副音声が両方記録され、再生時に選ぶことができます。

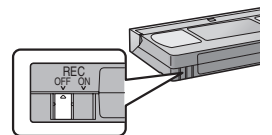
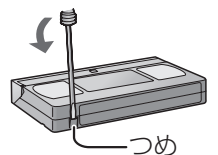
※録画後、HDDからDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速ダビングすることはできなくなります。(1倍速でダビングします)

録画するカセットについて

VHS、S-VHS、D-VHS マークの付いたカセットが使えます。

■録画済みの番組を誤って消さないために

- 誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
- 再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)

- 誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて "OFF" にしてください。
  "ON" に戻すと、再び録画できます。
  カセットの説明書もよくご覧ください。

録画の画質と時間について(録画モード)

HDD、DVD に録画するとき

録画モード ＼ ディスク	HDD(内蔵)(200 GB)	DVD-RAM 片面(4.7 GB)	DVD-RAM 両面※1(9.4 GB)	DVD-R/DVD-RW/+R (4.7 GB)	DVD-R DL (片面2層)※3 (8.5 GB)
XP(高画質)	約44時間	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分
SP(標　準)	約89時間	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分
LP(長時間)	約177時間	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分
EP(長時間)	約355時間(約266時間※2)	約8時間(約6時間※2)	約16時間(約12時間※2)	約8時間(約6時間※2)	約14時間20分(約10時間45分※2)
FR(自動調整)	最大355時間	最大8時間	片面あたり最大8時間	最大8時間	最大約14時間20分

※1 両面の連続録画・再生はできません。

※2 **初期設定**の「EP時の記録時間」(➜70)で設定できます。
- ●EPモードの音質は「EP(6H)モード」の方が高音質です。
- ● RAM EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6H)モードで録画してください。

※3 DVD-R DLに直接録画することはできません。表はダビングでの記録時間です。

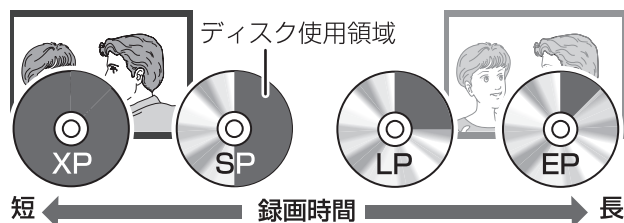
■記録時間の残量について

上記の表の数値はめやすです。記録する内容によっては変化することがあります。

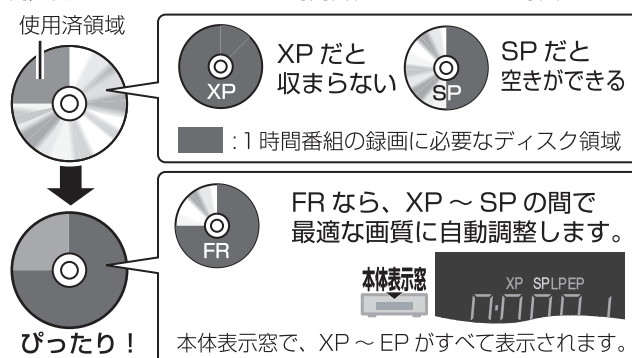
本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に録画できる時間が異なることがあります。
(HDD と DVD-R DL では、特にその差が著しくなります)
残量表示が少ないときは、あらかじめ不要な番組を消去し、余裕がある状態で録画してください。(プレイリストを消去しても残量は増えません)

XP(高画質録画)～EP(長時間録画)

録画モードを高画質にするほど、録画番組の画質は向上しますが、ディスクの容量を多く使い、録画できる時間は少なくなります。

例) 1時間番組を 4.7GB ディスクに録画した場合

FR(フレキシブルレコーディング)

ディスクの残量に合わせて、XP～EP(8H)の間で画質を自動調整します。HDD録画時に選ぶと、4.7 GBのディスクにぴったりダビングができるように調整します。

例) 使いかけのディスクに 1 時間番組を FR モードで録画すると…

- ●ぴったり録画やダビング、予約録画時にのみ設定できます。
- ●ディスクの残量によっては、予約した番組を最後まで録画できない場合があります。

VHS に録画するとき

標準:カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍:標準に対して3倍の録画ができます。
5倍:標準に対して5倍の録画ができます。

■5倍モードについて

- ●録画を始めたあとの約8秒間、本体表示窓の"5倍"が点滅します。
- ●本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。
  カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- ●他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。

標準3倍(ぴったり録画)

予約録画時にのみ設定できます。
"標3"(標準3倍)を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

予約内容	1番目(30分)	2番目(60分)		
実際の録画状態	"標準"で30分録画	"標準"で15分録画	"3倍"で45分録画	60分カセットを使ったとき

- ●テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
- ●番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- ●5倍モードでは働きません。
- ●以下のときは正しく働かないことがあります。
  - ・**VHSメニュー**の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき

録画する

見ている番組を録画する

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜21)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜21)

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、録画先を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。[(例)HDD]

フォーマット確認画面が表示されたとき(➜ 右ページ)

2 録画したいチャンネルを選ぶ

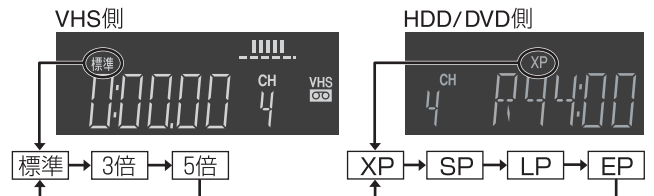
(ふた内部)または 1 ～ 12 を押す

例)HDD

- [1]～[12]は、市外局番チャンネル設定一覧(接続・設定編 P.28)に記載されているチャンネルポジション1～12 の放送局を選ぶことができます。(市外局番チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)

3 録画モード(➜23)を選ぶ

録画モード を数回押す

- 押すごとに切り換わります。

- 「XP」で録画する場合は、記録する音声の設定を変更できます。(**記録音声モードの設定〔XP時〕➜71**)

4 録画を始める

録画 を押す

例)HDD

- 本体表示窓に経過時間が表示されます。

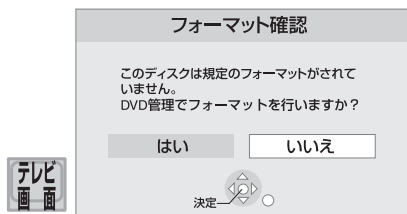
お知らせ

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R
- HDDとDVDに、同時に録画することはできません。
- 両面ディスクは、両面にまたがって録画することはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
- 録画中にチャンネルや録画モードを変えることはできません。(一時停止中は変えることができますが、別番組として録画されます)
- 番組表(Gガイド)(➜28)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。(3分以上録画した番組のみ)
- -R(V) -RW(V) +R 他の機器で再生するには、録画後にファイナライズ(➜66,104)が必要です。

VHS
- 録画中にチャンネルや録画モードを変えることはできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止を5分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。

BSアナログ放送を VHSに録画することはできません。

フォーマット確認画面が表示されたとき

DVD-RAM または DVD-RW を入れたとき

新品のDVD-RW、パソコンや他の機器などで記録した DVD-RAM、またはDVD-RW(DVD-Video方式)を入れたときなどに表示されます。ご使用になる場合は、画面に従ってディスクをフォーマットしてください。ただし記録していた内容はすべて消去されます。

➡ [◀]で「はい」を選び、(決定) を押す

- 引き続き操作が必要です。
  (➜65“ディスクやカードを初期化する”)

残量表示について

ディスクやテープの残量は、本体表示窓では下のように表示されます。

VHS側　テープ残量　HDD/DVD側

本体表示窓 標準 0:00.00 CH 4 VHS

残量(「R」: Remain(リメイン)、「44:00」: 44時間)

- 「DVD」選択時に表示される残量は、本機におけるものです。他の機器では表示が異なることがあります。
- テープ残量のめやすを示すバーは、テープ残量が少なくなるにつれて減っていきます。(カセットを入れた直後は、各動作を始めてからバーが表示されるまでに多少時間がかかります)

■一時停止する➡ [一時停止 ❚❚] を押す

- もう一度押すと録画を続けます。[録画 ●] を押しても再開できます。(番組は分割されません)

■録画をやめる➡ [停止 ■] を押す

- 録画開始した位置から停止した位置までを1番組として記録します。
- -R(V) -RW(V) +R 録画停止には約30秒かかります。

■録画中に操作先を切り換えて再生・録画する

➡ [HDD/DVD/SD VHS 切換] を押して他の操作先に切り換え、各種操作を行う

- HDDとDVDに、同時に録画することはできません。

■録画中にテレビで別番組を見る

➡ **1** [入力] を数回押して、テレビが受信しているチャンネルに切り換える

2 テレビ操作部の [チャンネル ∧∨] を数回押して、見たいチャンネルを選ぶ

- 録画に影響はありません。
- 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

録画の終了時刻を指定する(終了時刻予約録画)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます。

[HDD/DVD/SD VHS 切換] で録画中の操作先を選択し、本体の [録画 ●] を押す

押すごとに30分単位で録画終了時刻が変わります。

-- --:-- --(OFF)→30分後 →60分後 →90分後 →120分後

- 本体表示窓は下図のように変わります。

本体表示窓

例)HDD/DVD 側

■解除する

➡ 本体の [録画 ●] を数回押し、録画終了時刻を“-- --:-- --”にする

- 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。

■録画をやめる➡ [停止 ■] を押す

お知らせ

- リモコンの[録画●]では働きません。
- ぴったり録画時(➜26)や予約録画中(➜28～37)は働きません。
- 録画の一時停止中にチャンネルや録画モードを変更した場合、録画終了時刻の設定は解除されます。
- 録画終了時には、自動的に電源は切れません。

CMをとばして録画する(CMカット録画)

VHS

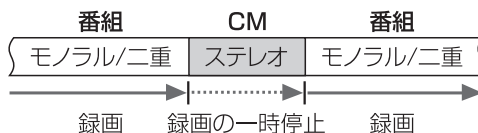
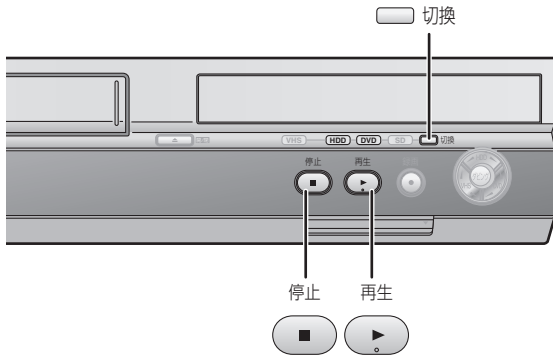
VHSに録画中、[30秒スキップ]を押して、本体表示窓に“✂”を表示させる

- CM中に押したときは、そのCMの間はとばすことができません。

■解除する➡もう一度、[30秒スキップ]を押す

- “✂”が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

お知らせ

- 番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。(CMの前後が少し切れた状態で録画されます)

- 次のようなときは、正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき
  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき
    (このようなときは、次のCMからはCMカットは働きません)
  - ・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  - ・外部入力チャンネルを録画するとき
- 予約録画中は働きません。

設定した時間に合わせて自動的に最適な画質(**録画モード➜23**)で録画できます。

■こんなとき「ぴったり録画」を使うと便利です。

RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

ディスク1枚にぴったり収めたいときや残量が気になるディスクに録画したいとき

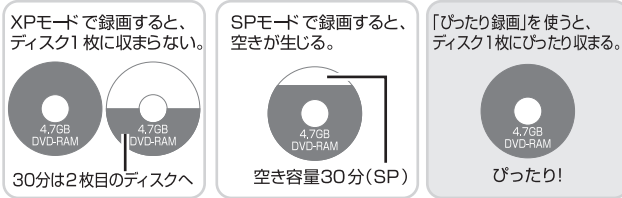
例)1時間30分の番組を4.7 GBのDVD-RAMに録画する

XPモードで録画すると、ディスク1枚に収まらない。

30分は2枚目のディスクへ

SPモードで録画すると、空きが生じる。

空き容量30分(SP)

「ぴったり録画」を使うと、ディスク1枚にぴったり収まる。

ぴったり!

HDD

4.7 GBディスクへのダビング時にぴったり収まるようHDDに録画したいとき

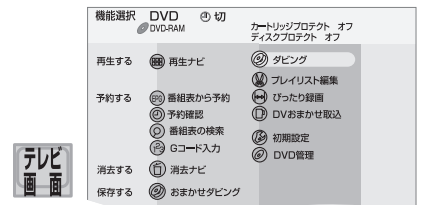
ディスクの容量に合わせるために、録画した番組を編集したり、ダビング時に録画モードを変更したりする必要はありません。

ディスクの残量に合わせて録画する
(ぴったり録画)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、録画先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜16)
- 録画したいチャンネルを選ぶ。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜21)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜25)

1 停止中に、[機能選択]を押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

例)DVD-RAM

3 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、[決定]を押す

最大録画時間
EP(8H)モードで録画した場合の時間です。

ぴったり録画	
最適な録画レートで記録します。	
最大録画時間	8時間00分
録画時間設定	8時間00分
録画開始	キャンセル

4 [◀][▶]で“時間”または“分”を選び、[▲][▼]で録画したい時間を設定する

- [1]～[10/0]も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

5 [◀][▶]で「録画時間設定」に戻り、[▼][◀]で「録画開始」を選んで、[決定]を押す

- 録画が始まります。

ぴったり録画	
最適な録画レートで記録します。	
最大録画時間	8時間00分
録画時間設定	1時間00分
録画開始	キャンセル

- 本体表示窓の録画モードがすべて点灯します。

■ぴったり録画の画面を消す➡ [戻る] を押す

■録画をやめる➡ [停止] を押す

■残りの録画時間を確認する➡ [画面表示] を押す

- 残りの録画時間を表示します。

録画しながら再生する

HDD RAM

本機では、録画を続けながら、録画中の番組や録画済みの番組を再生することができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、録画中の操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜16)

録画中の番組を頭から見る(追っかけ再生)

録画を続けながら、番組の先頭から再生します。

録画中に、[再生▶]を押す

●早送り(早戻し)中、音声は出ません。

■再生をやめる➜[停止■]を押す

●もう一度[再生▶]を押すと、停止した位置から再生します。

■録画をやめる
➜再生停止後、約2秒以上待って[停止■]を押す

録画中に他の録画済みの番組を見る(同時録画再生)

録画を続けながら、すでに録画してある別番組を再生します。
●操作先を切り換えて再生することもできます。
[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押してください。(➜16)

1 録画中に、[再生ナビ]を押す

●番組一覧(➜41)が表示されます。

2 [▲][▼][◀][▶]で再生したい番組を選び、[決定]を押す

■再生をやめる➜[停止■]を押す

■番組一覧を消す➜[再生ナビ]を押す

■録画をやめる
➜1 再生停止後、[再生ナビ]を押す
2 (操作先を切り換えて再生していた場合)
[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、録画中の操作先を選ぶ
3 [停止■]を押す

録画中の番組を戻して見る(タイムワープ)

録画を続けながら、録画中の番組や録画済みの番組で、見たい場面を時間を指定して、2画面で見ることができます。

1 録画中に、[タイムワープ]を押す

●30秒前に戻って再生を始めます。

●飛び越し時間表示は、約5秒たつと自動的に消えます。
●子画面に録画中の映像が表示されます。
●再生画面の音声が出ます。

2 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、[決定]を押す

●[▲][▼] を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。

■子画面を消す➜[タイムワープ]を押す

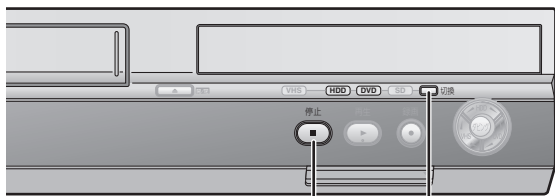
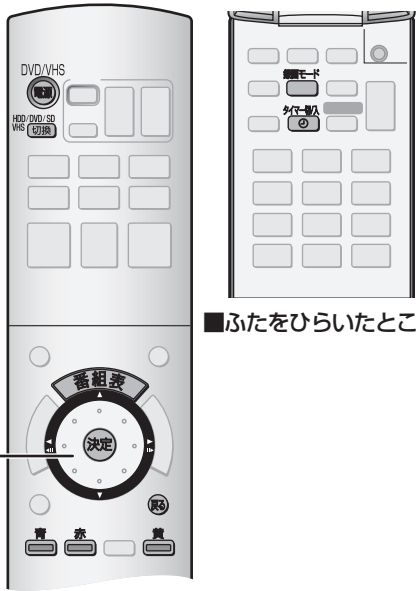
●もう一度[タイムワープ]を押すと、子画面が表示されます。

■再生をやめる➜[停止■]を押す

■録画をやめる
➜再生停止後、約2秒以上待って[停止■]を押す

予約録画(➜28〜37)をやめる

[タイマー切/入]を押す
●操作先を切り換えて再生していた場合は、まず予約録画中の操作先を選択してください。
●本体の[停止■]を約3秒以上押しても止まります。
●予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入]を押すと予約録画が再開されます。

予約録画する

予約録画について

1カ月以内の番組を予約できます。

予約可能な番組数
HDD/DVD　:32 番組 (HDDとDVD の合計)
VHS　:16 番組
[毎週/毎日予約(➜34)は1番組として数えます]

3通りの予約方法があります

番組表(Gガイド)予約(➜右記)

Gコード予約(➜32)

タイマー予約(➜34)
録画日、録画時間などを手動で設定する予約方法です。

リリーフ(代替)録画

以下のような場合、録画先が"DVD"の予約番組は、自動的に録画先を"HDD"に変更して録画されます。

- ディスク残量が足りない場合(トレイにディスクがない場合や録画できないディスクが入っている場合も含む)
- 高速ダビング中に予約録画が実行された場合
- リリーフ録画された番組には、HDDの番組一覧(➜41)で""が表示されます。
- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

番組表(Gガイド)を使って予約録画する

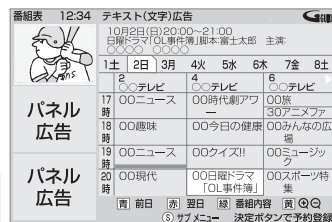
HDD　RAM　-R(VR)　-R(V)　-RW(V)　+R　VHS

予約したい番組を、番組表(Gガイド)から選ぶだけで予約できます。

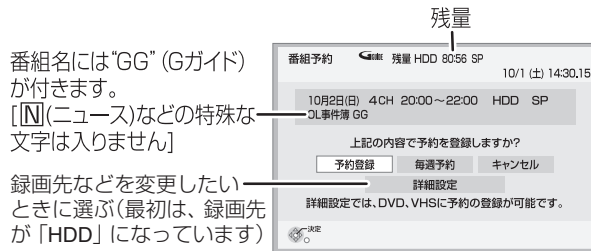
番組表(Gガイド)はお買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。**詳しくは、別冊の取扱説明書 接続・設定編をご覧ください。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(接続・設定編 P.27)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜21)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜25)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜21)

1 番組表 **を押す**

- 画面が、HDD/DVD側に切り換わります。

☞**番組表(Gガイド)の見かた(➜右ページ)**

2 [▲][▼][◀][▶]で予約したい番組を選び、決定を押す

- 予約内容を確認し、必要なときは各種項目を設定してください。

☞**毎週予約を設定するには**
HDD [▶]で「毎週予約」を選ぶ(➜ 手順 3 へ)
- HDD以外の録画先に毎週予約を設定する場合は、詳細設定を変更してください。

☞**各種項目を設定するには**
[▲][▼]で「詳細設定」を選び、[決定]を押す
(➜右ページ"予約内容の設定"へ)

3 決定 **を押す**

- 予約した番組に" 予 "が表示されます。

予約録画の待機状態になります。(本体表示窓の" ⌚ "が点灯)
- 予約録画待機中でも、以下の録画・再生をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
  - ・HDD/DVD側が予約待機中のとき:HDD/DVDの録画・再生およびVHSの録画または再生
  - ・VHS側が予約待機中のとき:HDD/DVDの録画・再生

- 続けて予約する場合は手順2へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます)

4 他の再生・録画などをしないときは、電源を切る

を押す

- 電源の切/入に関わらず予約録画は実行されます。

BSアナログ放送をVHSに録画予約することはできません。

予約内容の設定

◆詳細設定を変更する

残量
録画先が"DVD"で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。
[リリーフ(代替)録画 ➜左ページ]

録画を毎週 / 毎日予約するには

[◀][▶]で"録画日"を選び、[▲][▼]で設定する

- HDD 自動更新 (オートリニューアル) 録画するには(➜35)

録画先を変更するには

[◀][▶]で"録画先"を選び、[▲][▼]で設定する

- BSチャンネルの場合は、「VHS」は選べません。HDD または DVDに録画してください。

録画モードを変更するには

[◀][▶]で"モード"を選び、[▲][▼]で設定する

- **[録画モード]** を数回押しても選べます。
- 録画モードについて(**➜23**)
- HDD または DVD へ予約する場合、あらかじめ録画モードを"XP"に設定していても、残量不足による録画の失敗を防ぐために、"FR"(**➜23**)で設定されます。"XP"で録画する場合は、録画モードを選び直してください。

番組名を変更するには

[◀][▶]で「番組名入力」を選び、(決定) を押す

- 文字入力について(**➜67**)
- VHS 録画先がVHSの場合は選べません。

その他予約内容を変更するには

[◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で設定する

設定が終了したら

左ページ手順 *3* へ進む

■前の画面に戻る➜ (戻る) を押す

■番組表(Gガイド)を消す➜ (番組表) を押す

■予約録画を途中でやめる

➜ **1** (操作先を切り換えて再生·録画していた場合)
HDD/DVD/SD VHS (切換) を押して、予約録画中の操作先を選ぶ

2 **タイマー切/入 を押す**(本体表示窓の"⊖"が消灯)

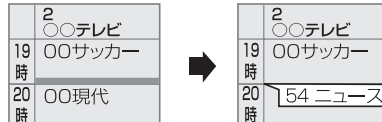
- 予約録画中の操作先を選択中、本体の **[停止■]** を約3秒以上押しても止まります。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度 **[タイマー切/入⊖]** を押すと予約録画が再開されます。
- 本体表示窓の"⊖"が消灯した状態では予約録画は始まりません。

■予約内容を取り消す

- 番組表(G ガイド)から取り消す(**➜30**)
- 予約一覧画面から取り消す(**➜36**)

■予約内容を確認する·修正する(➜36)

番組表(G ガイド)の見かた

短い番組はグレーの線で表示されます。
選ぶと、番組情報が表示されます。

■別の日の番組表(Gガイド)を見る

前日: (青) を押す　　翌日: (赤) を押す

■1 画面に表示されるチャンネル数を変更する

➜ (黄) を押す

- 押すごとに、3、5、7 チャンネル表示に切り換わります。

お知らせ

- 番組表予約では、HDDまたはDVDと、VHSで同じ番組を予約することはできません。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません)
- 予約設定画面には、ディスクやテープの残量も表示されます。選んでいる録画モードで計算されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。(VHS カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません)
- テレビ画面に"予約内容にミスがあります。"と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- 編集中はHDD/DVDへの予約録画は実行されません。
- HDD、DVD 間でダビング中でも、以下の場合は予約録画が可能です。
  - ·ファイナライズを含まない高速ダビングのとき、HDD/DVDへの予約録画 (1 倍速でのダビング中は、予約録画できません)
  - ·VHSへの予約録画
- VHSの再生·録画中は、VHSへの予約録画はできません。
- HDDとDVDで合わせて32番組予約されているときは、録画先が「VHS」しか選べません。またその場合、BS アナログ放送は予約できません。
- VHSに16番組予約されているときは、録画先が「HDD」または「DVD」しか選べません。
- HDDとDVD合わせて32番組、VHSで16番組がすでに予約されているときは、テレビ画面に"予約がいっぱいで登録できません。"と表示されます。不要な予約を取り消してください。(**➜36**)
- 録画する番組が連続する場合は、次の番組の始まりがHDD、DVD-RAMでは数秒間、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R では約30秒間録画されません。
- HDD/DVD 側、または VHS 側で予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組表予約では、予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたときでも、予約番組が野球延長対応機能の対象番組であれば、自動的に録画終了時刻を延長します。(**➜31"野球延長対応機能"**)
  VHS ただし、VHSの予約一覧画面から「録画日」「CH」「開始」「終了」を変更した場合は(**➜36**)、予約番組が野球延長対応機能の対象番組であっても、録画終了時刻は延長されません。
- VHS 録画先が「VHS」のとき、予約設定画面に番組名が表示されますが、無効になります。

番組表(Gガイド)の便利な機能

番組表にはいくつかの便利機能があります。以下の操作は、すべて番組表から行うことができます。

選んだチャンネルに切り換えてテレビを見る

[▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[停止■]を押す

- 現在放送中の番組を見ることができます。
- 録画中は、録画チャンネル以外に切り換えることはできません。

番組の詳しい内容を見る

[▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[緑](番組内容)を押す

予約を取り消す

1 [▲][▼][◀][▶]で取り消したい番組 ("予"が表示されている番組)を選び、[決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

2 「予約取消し」が選ばれた状態で、[決定]を押す

- "予"が消えます。

お知らせ

- HDDまたはDVDで予約録画中の番組は、取り消しできません。
- VHSが予約録画中のときは、VHSの予約の取り消しはできません。
- この方法で予約を取り消すと、HDDまたはDVDとVHSで、異なる方法で(番組表予約とGコード予約など)重複して録画予約された番組がある場合は、VHSの予約内容が優先的に取り消されます。

■前の画面に戻る➡ [戻る] を押す

■番組表(Gガイド)を消す➡ [番組表] を押す

ジャンル/キーワードで番組を探して予約する、トピックス(映画、音楽、スポーツなどの簡単な情報)を見る

ジャンル検索: 「ドラマ」「スポーツ」などのジャンルから番組を検索します。

キーワード検索: お客様の登録した語句(最大登録数:8)で番組を検索します。

トピックス: 番組の見どころなど、簡単な情報を見ます。トピックスから番組予約はできません。

1 [サブメニュー S] を押す

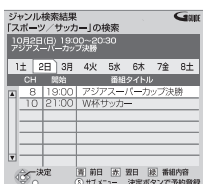
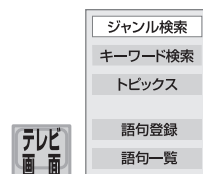
2 [▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す

3 画面指示に従って[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す

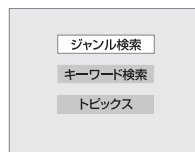
テレビ画面

- キーワードの"新規登録"を選んだ場合は、キーワードを入力します。(文字入力➜67)

4 ジャンル/キーワード検索後、[▲][▼]で予約したい番組を選び、[決定]を押す

- [青](前日)または[赤](翌日)を押すと別の日の検索結果を表示します。

例)ジャンル検索結果

機能選択画面から検索を行うこともできます

➡ 停止中に[機能選択]を押したあと、[▲][▼]で「番組表の検索」を選び、[決定]を押す(➜上記手順**2**へ)

語句を登録する/登録語句を消去する

番組表(Gガイド)上の語句を語句一覧に登録しておくと、番組名入力やキーワード検索のときに呼び出すことができ、便利です。

登録できる語句数: 20個まで

登録できる文字数(1個あたり):

半角	登録開始文字から20文字
その他	登録開始文字から10文字

■語句を登録する

➡ **1** [▲][▼][◀][▶]で登録したい語句が表示されている番組を選び、[サブメニュー S]を押す

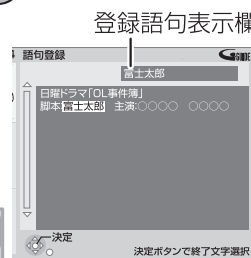
2 [▲][▼]で「語句登録」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼][◀][▶]で登録開始文字を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼][◀][▶]で登録終了文字を選び、[決定]を押す

5 [◀]で「登録」を選び、[決定]を押す

登録語句表示欄

テレビ画面

■登録語句を消去する

➡ **1** [サブメニュー S]を押す

2 [▲][▼]で「語句一覧」を選び、[決定]を押す

- 登録語句が一覧表示されます。

3 [▲][▼][◀][▶]で消去したい語句を選び、[サブメニュー S]を押す

4 「語句消去」が選ばれている状態で、[決定]を押す

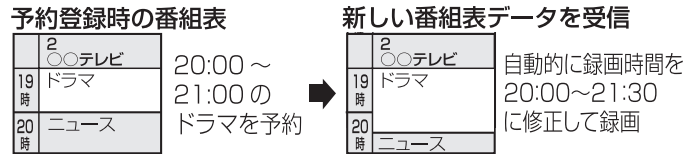
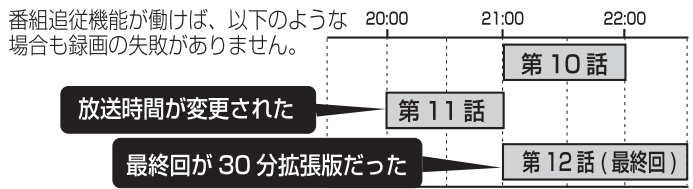
5 [◀]で「消去」を選び、[決定]を押す

予約録画の便利な機能

番組追従機能

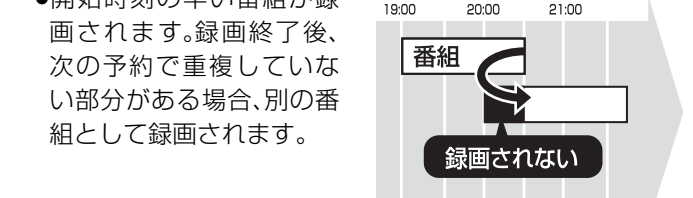
HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

番組表からHDDまたはDVDへ予約した番組にのみ働きます。

予約後に番組の放送時間が変更になっても、予約録画開始までに変更後の番組表データを受信すれば、番組追従機能が働き、録画の失敗を防ぎます。番組追従機能は、予約時の番組名をもとに番組を検索し、録画時間を自動的に変更します。

この機能は、番組を毎週 / 毎日予約した場合など特に便利です。
例）上記のドラマを毎週予約した場合

■予約番組が番組追従されるかどうか確認する

➡ 予約一覧画面で確認してください。番組追従機能の対象番組には、番組名欄に[追従]が表示されます。(➜37)

■番組追従機能によって予約の重複が起こった場合

➡ 変更後の録画時間で録画の優先順位を決めます。
- 開始時刻の早い番組が録画されます。録画終了後、次の予約で重複していない部分がある場合、別の番組として録画されます。

お知らせ

- 「CH」「開始」「終了」「番組名」を変更した番組、または「番組名」をすべて消去した場合は働きません。
- 「番組名」を著しく変更した場合、変更後の番組名で番組を検索しますので、正しく働かない場合があります。
- 録画先を「VHS」に設定した予約番組には働きません。
- 放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の時間変更があった番組には働きません。
- 番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては正しく働かない場合があります。

■番組追従機能を無効にする

➡ **初期設定**「番組追従」を「切」に設定する(➜70)
- 「切」にした場合、すでに予約した番組も延長されません。(予約登録時の設定ではなく、予約録画開始時点での設定が有効になります)

野球延長対応機能

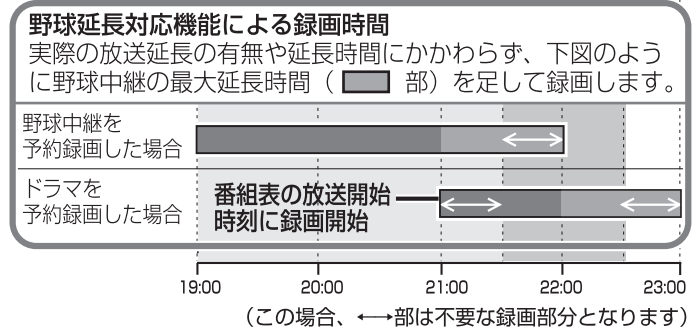
番組表から予約した番組だけでなく、HDDまたはDVDへGコード予約やタイマー予約した番組に対しても働きます。

- タイマー予約の場合、予約時間内に対象番組(またはその一部)が含まれている場合にのみ働きます。(HDD/DVD のみ)
- VHS では、番組表から予約した番組にのみ働きます。

「スポーツ中継の延長によって予約番組の放送開始時間が遅れ、最後まで録画できなかった…」野球延長対応機能は、自動的に録画時間を延長することで、このような録画の失敗を防ぎます。この機能は番組表のデータを読み取り、延長情報(「最大22時まで延長」などの延長に関係する言葉)を検出することで実現しています。

野球延長対応機能が働く条件

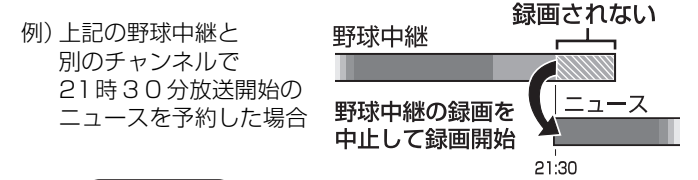
19時から21時までの間に放送される野球やサッカーなどのスポーツ番組が番組表に延長情報を含む場合、同じチャンネルの翌朝5時までの番組を自動的に延長録画します。

例）延長情報を含む野球中継、または同じチャンネルのドラマを予約録画すると…

■予約番組が延長録画されるかどうか確認する

➡ 予約一覧画面で確認してください。野球延長対応機能の対象番組には 延 が表示されます。(➜37)

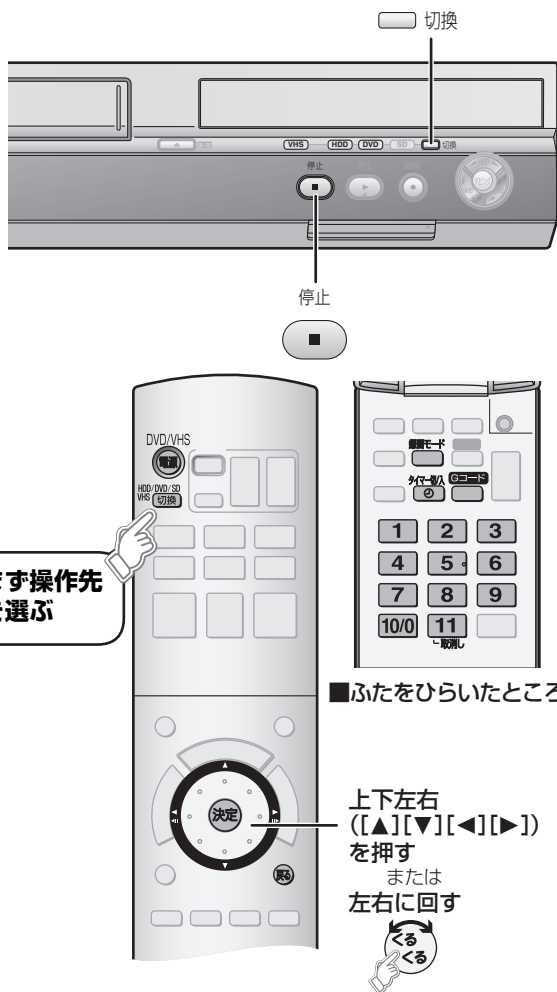
■延長録画時間が別の予約番組と重なった場合

延長部分の録画よりも新たに始まる予約録画を優先します。延長部分の録画は途中で終了します。

例）上記の野球中継と別のチャンネルで21時30分放送開始のニュースを予約した場合

お知らせ

- 最大で 120 分、録画時間を延長します。それ以上の放送延長部分は録画されません。
- 野球延長対応機能が働くと、録画後の番組に不要な録画部分が含まれる場合があります(➜上図)。編集機能でこの箇所を消去できます。(➜55)
- 延長情報に、最大何時まで延長するかの情報が含まれていない場合(例：試合終了まで放送延長の場合など)は、**初期設定**「延長時間」で設定された時間分、録画時間を延長します。(➜70)
- 本機で検出できない言葉を含んでいる場合など、番組表データの内容によっては、延長情報を含んでいても正しく働かない場合があります。

■野球延長対応機能を無効にする

➡ **初期設定**「野球延長」を「切」に設定する(➜70)
- 「切」にした場合、すでに予約した番組も延長されません。(予約登録時の設定ではなく、予約録画開始時点での設定が有効になります)

はじめに

Gコード®とは
テレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。
(最大8けた)

00 夜のワイドショー
▽私の結婚観 中渡晶子
▽あの有名選手に迫る
スティーブ・グラフ 78864
55 N天 20668

■予約を正しく行うために
- 別冊の取扱説明書 接続・設定編をご覧になり、ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。

お知らせ
- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 録画する番組が連続する場合は、次の番組の始まりがHDD、DVD-RAMでは数秒間、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは約30秒間録画されません。
- 予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。

Gコード®を使って予約録画する

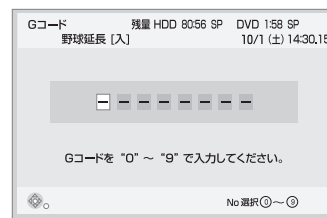
HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

Gコード®(➜下記)を入力するだけで予約できます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して操作先を選ぶ。(➜16)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(接続・設定編 P.27)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜21)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜25)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜21)

1 [Gコード]を押す

Gコード入力画面が表示されます。

HDD/DVDの入力画面

VHSの入力画面

2 Gコード®を入力する
[1]～[10/0]を押す

7 8 8 6 4 – – –

例)HDD/DVDの入力画面

Gコード®を間違えたときは
[◀]または[取消し/11]を押して、再度入力する

3 [決定]を押す

- 予約内容を確認し、必要なときは各種項目を設定してください。(➜右ページ"予約内容の設定"へ)

HDD/DVDの予約確認画面
- 最初は、録画先が「HDD」になっています。

残量
録画先が"DVD"で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。
[リリーフ(代替)録画➜28]

タイマー予約 残量 HDD 80:56 SP DVD 1:58 SP
野球延長 [入] 10/1 (土) 14:30.15

録画日	CH	開始	終了	録画先	モード
10/2(日)	4	18:00	18:30	HDD	SP

番組名入力
予約を登録するには決定ボタンを押してください。

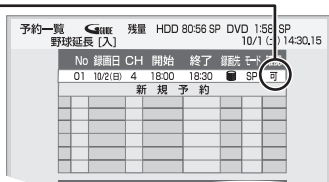
VHSの予約確認画面

残量

4 (決定)を押す

●予約一覧画面が表示されます。

HDD/DVDの予約一覧画面

「可」が表示されていないときはディスクの残量などを確認してください。

VHSの予約一覧画面

録画日	CH	開 始	終 了	CM
5［水］	8	21：00	22：00	3倍
4［火］	4	20：00	22：55	3倍
		新規予約		

●続けて予約する場合は手順*1*へ戻ります。

5 ◆HDD/DVD側で録画するとき

(タイマー切/入)を押す

◆VHS側で録画するとき

(戻る)を押す

●HDD/DVD側の映像に切り換わります。

予約録画の待機状態になります。(本体表示窓の“⏲”が点灯)

●予約録画待機中でも、以下の録画･再生をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
・HDD/DVD 側が予約待機中のとき：HDD/DVDの録画･再生および VHS の録画または再生
・VHS 側が予約待機中のとき：HDD/DVD の録画･再生

6 他の再生･録画などをしないときは、電源を切る

DVD/VHS (電源)を押す

●電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。

■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

■予約録画を途中でやめる

➡ **1**（操作先を切り換えて再生･録画していた場合）
(HDD/DVD/SD VHS 切換)**を押して、予約録画中の操作先を選ぶ**

2 (タイマー切/入)**を押す**（本体表示窓の“⏲”が消灯）

●予約録画中の操作先を選択中、本体の**[停止■]**を約3秒以上押しても止まります。
●予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度**[タイマー切/入⏲]**を押すと予約録画が再開されます。

■予約内容を確認する･取り消す･修正する(➜36)

■“CH”の項目が「G――」になっているとき

ガイドチャンネルが正しく設定されていません。

➡ **“CH”が選ばれている状態で、[▲][▼] で予約したいチャンネルに合わせる**

● VHS VHSの予約確認画面では、「G――」は点滅しています。
●予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。
(接続・設定編 P.23)

予約内容の設定

録画を毎週 / 毎日予約するには

[◀][▶]で“録画日”を選び、[▲][▼]で設定する

● HDD 自動更新 (オートリニューアル) 録画するには(➜35)

録画先を変更するには (HDD/DVD のみ)

[◀][▶]で“録画先”を選び、[▲][▼]で設定する

●「VHS」は選べません。

録画モードを変更するには

[◀][▶]で録画モードの項目を選び、[▲][▼]で設定する

●**[録画モード]**を数回押しても選べます。
●録画モード、 VHS “標準3倍”について(➜23)
●HDD または DVD へ予約する場合、あらかじめ録画モードを“XP”に設定していても、残量不足による録画の失敗を防ぐために、“FR”(➜23)で設定されます。“XP”で録画する場合は、録画モードを選び直してください。

予約する番組の「番組名入力」をするには (HDD/DVD のみ)

[◀][▶]で「番組名入力」を選び、(決定) を押す

●文字入力について(➜67)
●入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を3分以上録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。
● VHS VHS で録画する場合は、番組名は付きません。

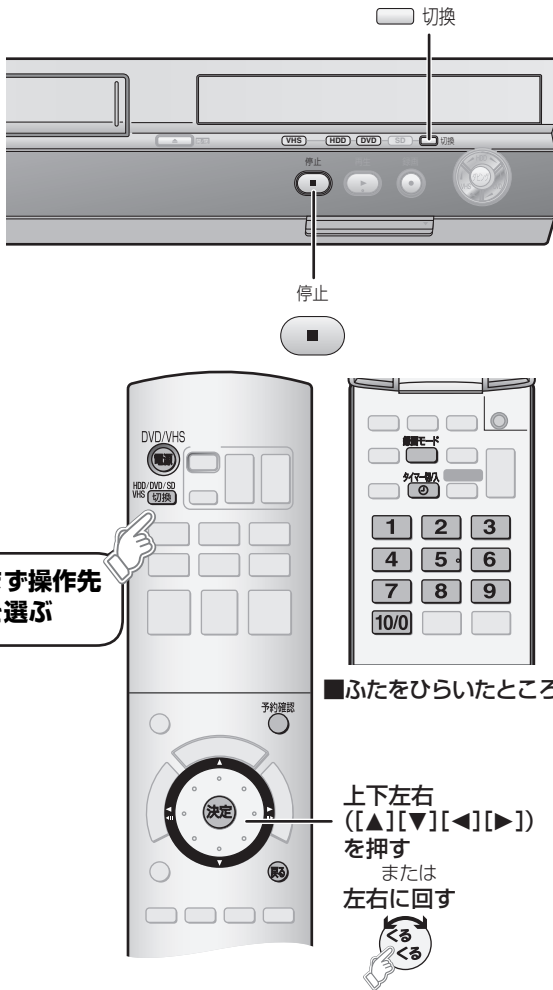
その他予約内容を変更するには

[◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で設定する

設定が終了したら

左記手順 *4* へ進む

お知らせ

●本体表示窓の“⏲”が消灯した状態では予約録画は始まりません。
●電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません)
●予約設定中に [HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押してしまったときは、他の操作先の画面に切り換わります。[HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して予約先を選び直すと、予約設定画面に戻ります。
●予約設定画面には、ディスクやテープの残量も表示されます。選んでいる録画モードで計算されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。(VHS カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません)
●テレビ画面に“予約内容にミスがあります。”と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
●本体表示窓に“PROG FULL”と表示されたときや、テレビ画面に“予約がいっぱいで登録できません”と表示されたときは、HDD/DVD側にすでに32番組、またはVHS側に16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(➜36)
●編集中はHDD/DVDへの予約録画は実行されません。
●HDD、DVD 間でダビング中でも、以下の場合は予約録画が可能です。
・ファイナライズを含まない高速ダビングのとき、HDD/DVDへの予約録画 (1 倍速でのダビング中は、予約録画できません)
・VHSへの予約録画
●予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたときでも、HDDまたはDVDへの予約番組のみ、野球延長対応機能の対象番組であれば、自動的に録画終了時刻を延長します。
(➜31“野球延長対応機能”)
VHSへの予約番組、または予約番組が野球延長対応機能の対象番組ではない場合、番組開始･終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することができません。
・ VHS 予約録画中に終了時刻を延長することはできます。**(予約延長➜37)**

日時を指定して予約録画する

(タイマー予約)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して操作先を選ぶ。(➔16)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(接続・設定編 P.27)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➔21)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➔25)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➔21)

1 予約確認 を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

HDD/DVDの予約一覧画面

VHSの予約一覧画面

録画日	CH	開 始	終 了	CM
5 [水]	8	21：00	22：00	3倍
4 [火]	4	20：00	22：55	3倍
新規予約				

2 [▲][▼] で「新規予約」を選び、決定 を押す

HDD/DVDの新規予約画面

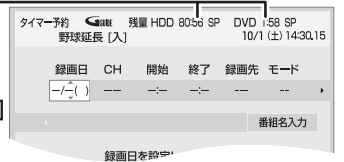
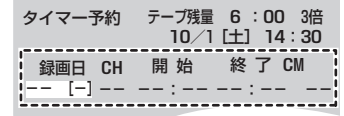
残量
録画先が“DVD”で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。
[リリーフ(代替)録画➔28]

タイマー予約 残量 HDD 80:56 SP DVD 1:58 SP
野球延長 [入] 10/1 (土) 14:30.15

録画日	CH	開始	終了	録画先	モード
--/--( )	----	--:--	--:--	---	--

番組名入力

VHSの新規予約画面

タイマー予約 テープ残量 6：00 3倍
10／1 [土] 14：30

録画日	CH	開 始	終 了	CM
-- [-]	--	--：--	--：--	--

3 予約内容を設定する
[◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で設定する

(➔右ページ“予約内容の設定”へ)

- 時刻は、[▲] [▼] を押し続けると30分単位で変わります。
- 録画モードの項目は [録画モード] でも選べます。
- 録画モードについて(➔23)
- HDD または DVD へ予約する場合、“録画日”・“CH”・時刻(“開始”・“終了”)は [1]～[10/0] でも選べます。

毎週/毎日予約と自動更新(オートリニューアル)録画

連続ドラマなどを予約登録するとき、毎週 / 毎日予約を設定すると、次回からの放送を自動的に録画することができます。このとき、次回放送分を前回放送分に自動的に上書きする設定が、自動更新 (オートリニューアル) 録画です。いずれも予約内容の修正が必要になります。

自動更新 (オートリニューアル) 録画は、HDDに毎週/毎日予約したときのみ、設定できます。
(➔右ページ)

HDD に毎週 / 毎日予約すると表示されます。

例) 連続ドラマを毎週予約しておくと…
第二回、三回と、自動的に録画されていきます。

さらに自動更新 (オートリニューアル) 録画を設定しておくと…
常に最新のドラマだけが残り、その都度前回の録画番組を消去する手間が省けるとともに、HDD の容量を効率よく使えます。

第二回録画時に第一回に上書きします
第三回録画時に第二回に上書きします

4 決定 を押す

HDD/DVDの予約一覧画面

「可」が表示されていないときはディスクの残量などを確認してください。

VHSの予約一覧画面

録画日	CH	開始	終了	CM
6 [木]	6	21:00	22:00	標準
5 [水]	8	21:00	22:00	3倍
4 [火]	4	20:00	22:55	3倍
		新規予約		

●続けて予約する場合は手順*2*へ戻ります。

5 ◆HDD/DVD側で録画するとき

タイマー切/入 を押す

◆VHS側で録画するとき

戻る を押す

●HDD/DVD側の映像に切り換わります。

予約録画の待機状態になります。(本体表示窓の"◷"が点灯)

●予約録画待機中でも、以下の録画・再生をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

・HDD/DVD 側が予約待機中のとき:HDD/DVDの録画・再生および VHS の録画または再生

・VHS 側が予約待機中のとき:HDD/DVD の録画・再生

6 他の再生・録画などをしないときは、電源を切る

DVD/VHS 電源 を押す

●電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。

■画面を消す➡ 戻る を数回押す

■予約録画を途中でやめる

➡ 1 (操作先を切り換えて再生・録画していた場合)
HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、予約録画中の操作先を選ぶ

2 タイマー切/入 を押す(本体表示窓の"◷"が消灯)

●予約録画中の操作先を選択中、本体の[停止■]を約3秒以上押しても止まります。

●予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入◷]を押すと予約録画が再開されます。

■予約内容を確認する・取り消す・修正する(➜36)

予約内容の設定

録画日を設定するには

[▲][▼]を押すごとに、

予約録画する番組を自動更新(オートリニューアル)するには

HDD (「毎週」、「毎日」予約の場合のみ)(➜ 左ページ)

[◀][▶]で「更新」を選び、[▲][▼]で「入」に設定する

HDD に毎週 / 毎日予約すると表示されます。

「毎週予約」か「毎日予約」で同じ番組を録画する場合、前回録画した番組に上書きして録画するよう設定することができます。

●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は上書きされません。(別番組として録画され、次回からそれが更新されます)

●番組が更新されると、元の番組から作られたプレイリスト(➜58)も消去されます。

●HDDの残量が少ないと番組の最後まで上書きされないことがあります。

予約する番組の「番組名入力」をするには (HDD/DVD のみ)

[◀][▶]で「番組名入力」を選び、決定 を押す

●文字入力について(➜67)

●入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を3分以上録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。

● VHS VHS で録画する場合は、番組名は付きません。

設定が終了したら

左記手順 *4* へ進む

お知らせ

●本体表示窓の"◷"が消灯した状態では予約録画は始まりません。

●電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません)

●予約設定中に[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押してしまったときは、他の操作先の画面に切り換わります。[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して予約先を選び直すと、予約設定画面に戻ります。

●予約設定画面には、ディスクやテープの残量も表示されます。選んでいる録画モードで計算されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。(VHS カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません)

●本体表示窓に"PROG FULL"と表示されたときは、HDD/DVD側にすでに32番組、またはVHS側に16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(➜36)

●編集中はHDD/DVDへの予約録画は実行されません。

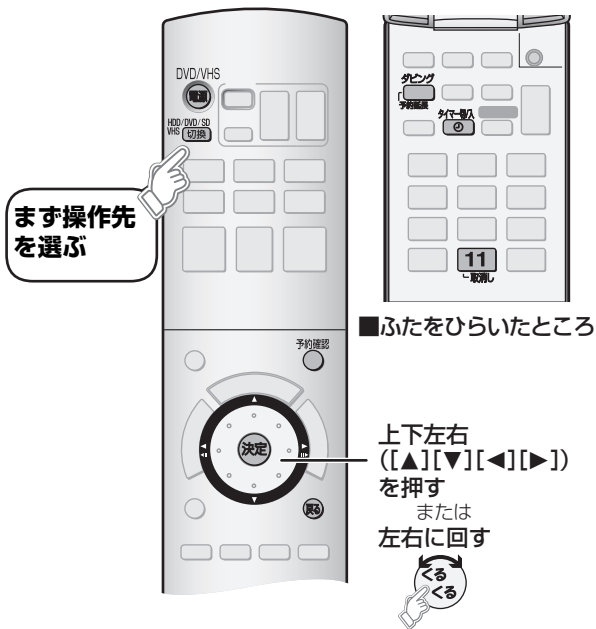
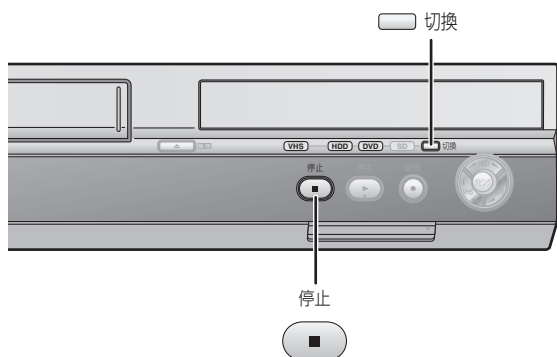
●HDD、DVD 間でダビング中でも、以下の場合は予約録画が可能です。

・ファイナライズを含まない高速ダビングのとき、HDD/DVDへの予約録画(1倍速でのダビング中は、予約録画できません)

・VHSへの予約録画

●録画する番組が連続する場合は、次の番組の始まりがHDD、DVD-RAMでは数秒間、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは約30秒間録画されません。

●予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。

●予約時間内に、野球延長対応機能の対象番組(またはその一部)が含まれている場合は、HDD または DVD に録画する場合のみ、自動的に録画終了時刻を延長します。(➜31"野球延長対応機能")

はじめに

予約済みの内容をテレビ画面で確認·取り消し·修正することができます。
また、本体表示窓で予約内容を確認することができます。
電源が入っている状態で、操作先を確認のうえ、操作してください。

お知らせ

- HDDまたはDVDで予約録画中の番組は、以下の場合を除いて予約終了時刻の変更ができます。
  ・録画モードが"FR"のとき
  ・延長部分を録画中の場合

◇◇ 予約内容を確認する·取り消す·修正する ◇◇

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

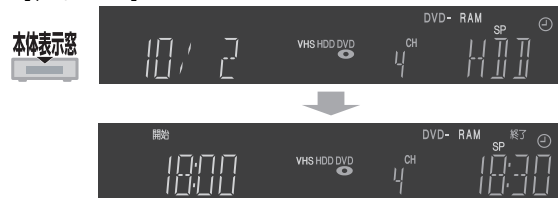
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して予約を設定している操作先を選ぶ。(➜16)

1 [予約確認] を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

2 取り消し/修正したい予約内容を選ぶ

[▲][▼] で選ぶ

- 本体表示窓にも予約一覧画面で選ばれている予約内容が表示されます。[(例)HDD]

3 ◆取り消すとき➜ [11 取消し] を押す

- 予約が取り消されます。

HDD/DVD の予約一覧画面

VHSの予約一覧画面

録画日	CH	開 始	終 了	CM
-- [–]	--	-- : --	-- : --	--
4 [火]	4	20 : 00	22 : 55	3倍
		新規予約		

◆修正するとき➜ (決定) を押す (➜ 手順*4* へ)

4 予約内容を修正する

1 [◀][▶]で修正したい項目を選び、[▲][▼]で予約内容を修正する

HDD/DVD の予約修正画面

VHSの予約修正画面

タイマー予約	テープ残量 6 : 00 3倍
	10/1 [土] 14 : 30

録画日	CH	開 始	終 了	CM
4[火]	4	20 : 00	23 : 15	3倍

2 [決定] を押す

■**予約一覧画面を消す➜ (戻る) を数回押す**
(約1分そのままにしたときは、[戻る]を押さなくても消えます)

HDD/DVDの予約一覧画面について

■確認する表示

(録画中は内容が正しく表示されない場合があります)

可: 録画が可能な番組※

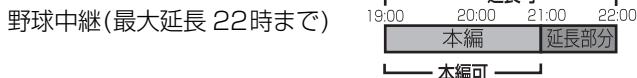
月/日迄: 毎週·毎日予約で、録画可能な予約の最終日
(最大1カ月先まで表示されます)

代替: HDDにリリーフ(代替)録画(➜28)

※ 野球延長機能対応の対象番組は次のような表示になります。

延長可: 延長部分を含む録画が可能

本編可: 延長部分の一部、または延長部分のすべてが録画されない(HDDの残量が足りない場合や、延長部分の録画時間が他の予約と重複する場合など)

例)19時から 21時まで放送の野球中継(最大延長 22時まで)

[追従]: 番組追従される番組(➜31)

[延長○○分]:
野球延長対応機能 (➜31) が働く番組
(時間は延長時間)

- 高速ダビング中は、上記の表示がすべて「−」に置き換わります。ダビング終了後、正しい内容を確認してください。

■予約一覧画面の絵表示について

録画できなかった番組
- Ⓕ 残量不足
- 録画禁止番組
- Ⓧ ディスクの汚れなどで録画失敗

その他の予約の状態
- ● 録画中
- Ⓦ 日時が他の予約と重複している番組
- 延 野球延長対応機能 (➜31) が働く番組

録画先など
- HDDに録画
- DVDに録画
- 自動で番組が上書きされる番組
[自動更新 (オートリニューアル) 録画 ➜34]
- 残量が足りないなどの理由で、DVD から HDD に録画先が変更になった番組 **[リリーフ(代替) 録画 ➜28]**
  - 録画中に表示されます。

お知らせ
- 実行できなかった予約は灰色で表示され、翌々日の午前4時には一覧から自動的に消去されます。
- 予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。実行後、次の予約で重複していない部分がある場合、別の番組として録画されます。

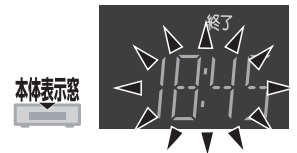
予約録画の終了時刻を延長する(予約延長)

VHS

準備 ●[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して「VHS」を選ぶ。(➜16)

予約録画中に、[ダビング/予約延長]を押す

押すごとに延長される時間が変わります

+15分→+30分→+45分→+1時間→+1時間30分→
→+2時間→延長しない

お知らせ
- 終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
- 予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。
- 予約録画の待機状態からは延長できません。
- 野球延長(➜31)部分を録画中は、延長できません。
- 野球延長対応機能(➜31)の対象番組である場合は、予約延長の操作で設定した予約終了時間に対して、野球延長機能が働きます。(野球延長機能で自動的に延長される録画時間を足して録画します)

予約待機を解除する

予約録画の待機中に他の操作をしたいとき、予約録画の解除が必要な場合があります。電源が入っている状態で、操作先を確認のうえ、操作してください。

準備
- [DVD/VHS 電源]を押して本機の電源を入れる。
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して予約を設定している操作先を選ぶ。(➜16)

予約待機中に、[タイマー切/入]を押す

- 本体表示窓の“⊕”が消えます。[(例)HDD]

- もう一度押すと予約録画の待機状態に戻ります。(本体表示窓の“⊕”が表示)

お知らせ
- 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
- 予約録画中に行うと、予約録画が止まります。
- 予約録画中の操作先を選択中、本体の[停止■]を約3秒以上押しても、予約録画の待機状態を解除することができます。

BSデジタル放送などを録画する

■ふたをひらいたところ

はじめに

本機はデジタル放送に対応していません。録画するには、以下の機器と接続してください。接続方法については、別冊の取扱説明書 接続・設定編をご覧ください。

●BSデジタルチューナー内蔵テレビ
●地上デジタル・BS・CSデジタルチューナー
●CATVホームターミナル

■録画する番組の映像・音声の記録について

（詳しくは➜14,15）

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

●16：9 映像の番組
➡ 4：3 映像で記録します。

●海外ドラマなどの二重放送
➡ 主、副音声のどちらか一方のみ記録してください。両音声を記録すると、再生時に、主音声と副音声の両方が混ざって聞こえます。
接続する機器側で、「主音声」または「副音声」のどちらか一方のみを出力する設定にする
（接続した機器側で音声を選べない場合 ➜ 下記）

16:9映像の番組、二重放送の番組をそのまま録画するには※ HDD RAM -R(VR)

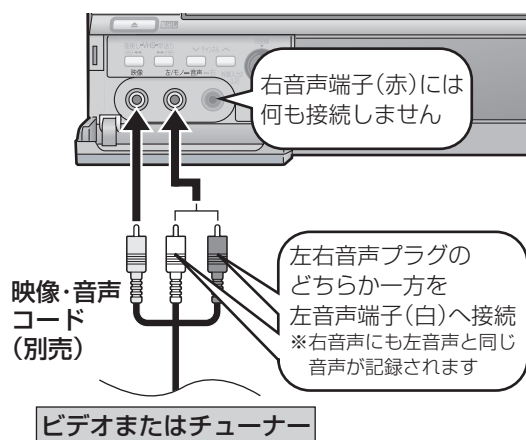
➡ **1** 初期設定「高速ダビング用録画」を「切」に設定する（➜70）
2 （二重放送を録画する場合のみ）
接続した機器側で、「主音声」と「副音声」の両方が出力されるように設定する
●主、副音声が両方記録され、再生時に選ぶことができます。

※録画後、HDDからDVD-R（DVD-Video方式）、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rにダビングする予定の場合は、この操作を行わないことをおすすめします。
・高速でダビングできなくなります。（1倍速でダビングします）
・**主、副音声の両方を記録した番組をダビングすると、ディスクに両音声とも記録され、ディスク再生時に、主音声と副音声の両方が混ざって聞こえます。**

外部入力からの録画のしくみ

●デジタル放送を録画するときは、HDDまたはCPRM対応のDVD-RAM、DVD-R（VR方式）を使用してください。DVD-R（DVD-Video方式）、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video 方式）、＋R には録画できません。（➜12）

接続した機器側で音声を選べない場合

録画前に、ビデオやチューナーなどからの映像・音声コードを本機前面のL2端子に接続し直す

●左右の音声プラグからそれぞれ主または副音声が出力されます。接続後、両方のスピーカーから記録したい音声が出るか確認してください。
●L2端子以外の端子で上記接続を行うと、再生時、片方のスピーカーからしか音声が出ません。

BSデジタルチューナー内蔵テレビなどから録画する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

準備
- 本体の外部入力(L1～L3)にBSデジタルチューナー内蔵機器などを接続する。(接続・設定編 P.8,10)
  外部入力 3(L3)/BS デコーダー入力端子に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定する。(➜71)
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して、録画先を選ぶ。(➜16)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(接続・設定編 P.27)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜21)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜25)
- VHS に録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜21)

1 BSデジタルチューナー内蔵機器などを接続した外部入力チャンネルを選ぶ

(ふた内部) を押す

L1: 外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2: 外部入力2端子(前面)に接続したとき
L3: 外部入力3端子(後面)に接続したとき

2 VHS
録画開始点を探す

(HDD/DVD側で録画する場合、この操作は不要です)

1 [再生▶]を押して、カセットを再生する
2 [一時停止❚❚]を押して、録画の開始点で静止画にする
3 [録画●]を押して、録画の一時停止にする

3 録画モード(➜23)を選ぶ
[録画モード] **を数回押す**

4 テレビ側またはチューナー側で、
録画したいチャンネルを選ぶ

5 録画を始める

◆**HDD/DVD側で録画するとき**
[録画●] **を押す**

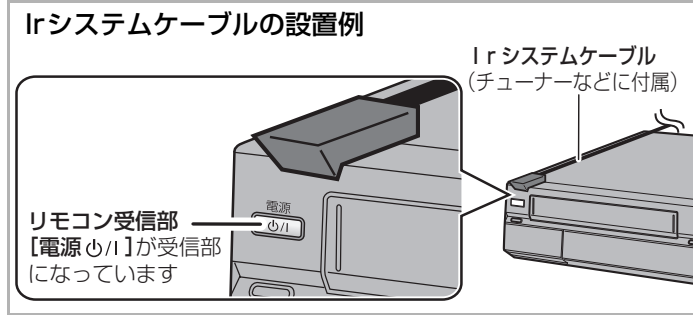
◆**VHS側で録画するとき**
[一時停止❚❚] **を押す**

■ 録画をやめる➡ [停止■] を押す

■ディスクの残量に合わせて録画する
➡ ぴったり録画(➜26)

お知らせ
- テレビのモニター出力(接続・設定編 P.8)から録画する場合は、録画が終わるまでテレビの電源を切らないでください。
- デジタルハイビジョン画質での録画はできません。
- 地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送などには、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。コピー禁止処理されている信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

Ir(アイアール) システムを使って録画する

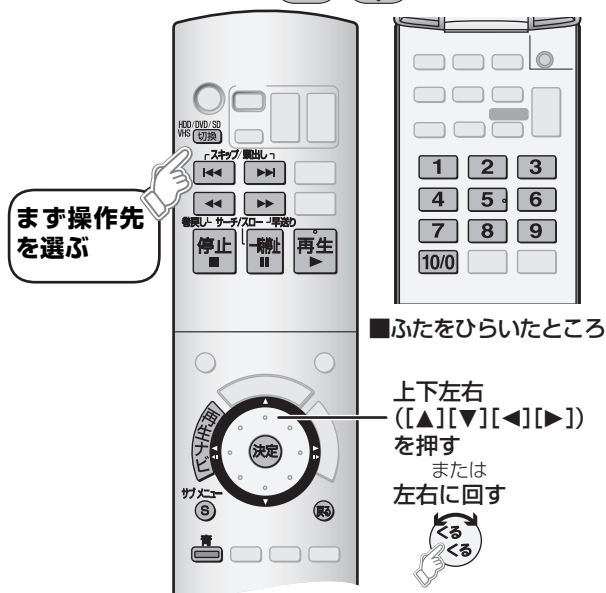
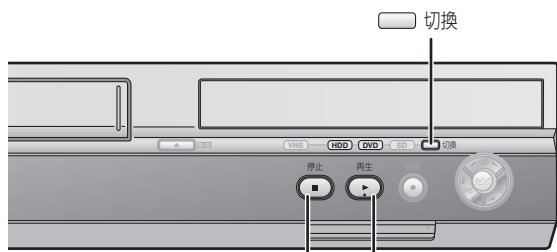
本機は、当社製チューナー、またはチューナー内蔵テレビのIrシステム(➜105)に対応しています。チューナーなどから予約録画の信号を、本機のリモコン受信部に送ることで、予約録画(連動予約またはタイマー予約)ができます。

Irシステムケーブルの設置例

1 本機の外部入力端子 (L1 ～ L3) とチューナーなどの出力端子を接続し、Ir システムケーブルを接続する(➜ 上記)
2 チューナー側で Ir システムの設定を行う
3 チューナー側で予約の設定を行う
4 予約方法に合わせて、本機の操作と確認を行う
   - チューナーなどから予約録画の信号を受けたときに、正しい録画先に録画できない場合がありますので、あらかじめ[HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して、録画先を選んでおいてください。(➜16)

連動予約のとき
- 予約待機状態でないこと(本体表示窓の"⏲"消灯)を確認する。(本機が予約待機状態の場合、連動予約が正しく働かない場合があります)
- [録画モード] で録画モードを設定する。
- チャンネル[∧][∨](ふた内部)で接続した外部入力端子(L1 ～ L3) を選び、本機の電源を切る。

タイマー予約のとき
- 予約待機状態であること(本体表示窓の"⏲"点灯)を確認する。
- 予約時刻になると録画が開始されます。詳しくは、チューナーなどの説明書をご覧ください。
- 録画先、録画モードの変更や、予約内容を確認するには(➜36)

お知らせ
- チューナーなどの Ir システムが DVD レコーダーまたはビデオに対応していることをご確認ください。
- Irシステムの設置·設定·操作はチューナーなどの説明書をご覧ください。
- VHS が予約録画の待機中のときは、VHS への Ir予約は受け付けません。
- テレビ側のIrシステムの設定が、「ビデオ1」、「ビデオ2」、「ビデオ3」のいずれかになっていることをご確認ください。詳しくは、テレビの説明書をご覧ください。

HDD・ディスクを再生する

再生の基本操作

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➔19)
●DVDを再生する場合は、ディスクを入れる。(➔21)

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、操作先(「HDDまたは「DVD」)を選ぶ

●本体のランプが点灯します。[(例)DVD]

2 再生を始める
再生▶ を押す

DVD-RAM
再生 ▶
音声 L R

例)DVD-RAM

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)：
最後に録画された番組から再生します。

DVD-V DVD-A CD VCD：
ディスクの先頭から再生します。

メニュー画面が表示されたとき

➡ 画面表示に従って操作してください。

DVD-V DVD-A
[▲][▼][◀][▶]で項目を選び、決定 を押す
●[1]～[10/0]で項目を選べるディスクもあります。(**選びかた➔下記**)

VCD
[1]～[10/0](2けた)で項目を選ぶ
例） 5の場合…[10/0]→[5]
15の場合…[1]→[5]

再生の途中でメニュー画面を表示させるには
DVD-V：[再生ナビ]または[サブ メニュー]を押す
DVD-A：[再生ナビ]を押す
VCD：[戻る]を押す

■映像が縦に引き伸ばされているとき

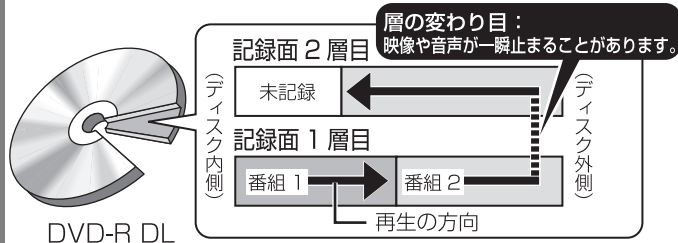
以下のように録画した場合、16:9 映像は 4:3 映像で記録されます。
● HDD RAM -R(VR) に**初期設定**「高速ダビング用録画」(➔70)を「入」にして録画した場合(お買い上げ時の設定は「入」です)
● -R(V) -RW(V) +R に録画した場合
● -R DL にダビングした場合

テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

はじめに

DVD-V DVD-A CD VCD
ディスクを入れると、自動的に再生が始まります。

■ -R DL DVD-R DL ディスクを再生するとき

DVD-R DL ディスクは、下図のように記録面が片面に 2 層あります。1 層目に収まりきらなかった番組は、引き続き 2 層目に記録され、2 つの層にまたがって記録されます。(➔ 下図「番組 2」)このような番組を再生する場合、層の切り換えは本機が自動的に行いますので、通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。

お知らせ
● 録画中でも、操作先を切り換えて再生できます。[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して操作先を切り換え、[再生▶]を押してください。
●両面ディスクは、両面にまたがって再生することはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
●カートリッジ付きディスクの場合、プロテクト(➔65)を設定しているときは、ディスクを入れると自動的に再生が始まります。
●ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
●メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[停止■]を押して停止させてください。

番組を選んで再生する(再生ナビ)

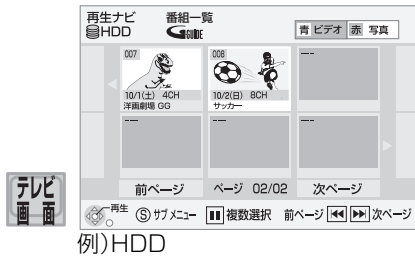
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

見たい番組を一覧表から簡単に探すことができます。

●テレビに本機の画面を出す。(➔19)
●[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➔16)

1 **再生ナビ を押す**

●番組一覧が表示されます。

例)HDD

HDD RAM

写真(JPEG)一覧が表示されたとき

青(ビデオ)を押して、番組一覧に切り換える

2 **[▲][▼][◀][▶]で番組を選び、決定 を押す**

●選んだ番組の再生が始まります。

前後のページを表示する

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

●[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■**番組一覧を消す➡** 再生ナビ を押す

再生ナビ画面について

■**番組一覧の絵表示について**

- :書き込み禁止(プロテクト)を設定した番組
- :録画禁止信号により録画できなかった番組(デジタル放送など)
- X :HDDにダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組
- :録画中の番組
- :HDDにリリーフ(代替)録画された番組(➔28)
- :本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組(➔12)
- P :PAL方式で録画された番組(再生できません)

■**他の画像への切り換え表示** HDD RAM

再生ナビ画面では、録画した番組のほかに、SD カードなどからダビングした写真も別々に管理されています。それぞれを再生するには、画面の切換が必要です。

●「ビデオ」: 録画した番組
●「写真」: SD カードなどからダビングした写真
[➔46"写真(JPEG/TIFF)を再生する"]

青 ビデオ 赤 写真

再生中のいろいろな操作

停止

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

停止■ を押す

止めた位置を一時的に記憶します。

●本体表示窓の"再生"が点滅します。(再生ナビ画面表示中やプレイリストの場合は点滅しません)
"再生"点滅中に[再生▶]を押すと、止めた位置から再生します(続き再生メモリー機能)
●止めた位置は、以下の場合解除されます。
・数回[停止■]を押す。("再生"の点滅が消えます)
・トレイを開ける。(HDDを除く)
・DVD-A CD VCD 電源を切る。
・録画や予約録画を行った場合。("再生"は点滅したままです)
●[停止■]を押すと下のような画面が表示されることがあります。このあと、もう一度[停止■]を押すと、本機で受信しているテレビ放送を見ることができます。

一時停止(静止画)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

一時停止 を押す

●もう一度押す、または[再生▶]を押すと、再生を再開します。

早送り/早戻し(サーチ)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

◀◀(巻戻し・サーチ/スロー) または ▶▶(サーチ/スロー・早送り) を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります(5段階)。

●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します(CD、ビデオCDでは動作しません)。1クリック回すごとに速度が速くなります(5段階)。速度を遅くすることはできません。
●[再生▶]で通常再生に戻ります。
●早送り1速時のみ音声が出ます。DVDオーディオ(動画部以外)、CDではすべての速度で音声が出ます。
●ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。

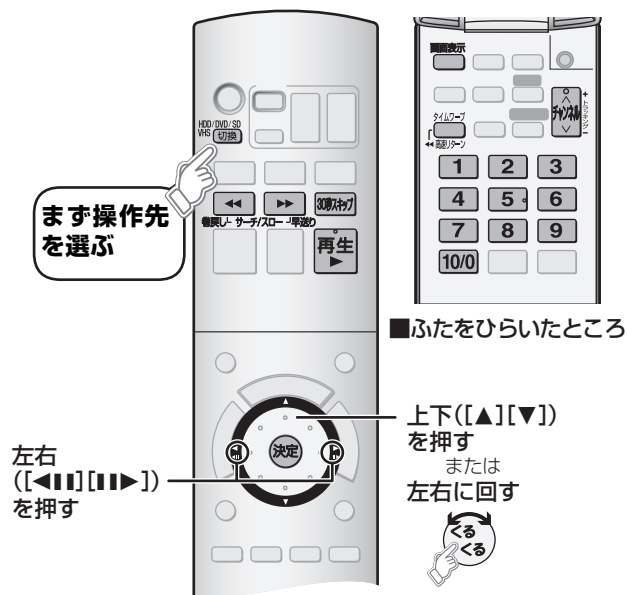
スキップ

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

再生中または一時停止中に、

|◀◀(スキップ/頭出し) または ▶▶|(スキップ/頭出し) を押す

押した回数だけ番組、場面や曲を飛び越して再生します。

次ページへつづく

再生中のいろいろな操作(つづき)

ダイレクト再生

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

1 ～ 10/0 を押す

番組や曲の番号を入力して再生します。
●停止中(下の画面表示中)のみ働くディスクもあります。

HDDやMP3、写真(JPEGやTIFF)が入っているディスクは3けたで入力
例)5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
15の場合…[10/0]→[1]→[5]

●MP3や写真(JPEG/TIFF)を再生するには(➜45,46)

DVDオーディオのグループは停止中(上の画面表示中)に1けたで入力
例)5の場合…[5]

それ以外のディスク、DVDオーディオのトラックは2けたで入力
例)5の場合…[10/0]→[5]　15の場合…[1]→[5]

●プレイバックコントロール(➜105"PBC")付きビデオCDでは、停止中(上の画面表示中)にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。(本体表示窓の"PBC"が消えます)

早見再生(1.3倍速)

HDD RAM

再生▶ を約1秒以上押し続ける

通常の再生よりも速い速度で再生します。

●もう一度[再生▶]を押すと、通常の再生に戻ります。
●早見再生中は、自動CM早送り再生(➜44)は働きません。

スロー再生

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A(動画部) -RW(VR) VCD

一時停止中に、◀◀(巻戻し―サーチ/スロー) または ▶▶(サーチ/スロー―早送り) を押す

押すごとに速度が速くなります(5段階)。

●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します(ビデオCDでは動作しません)。1クリック回すごとに速度が速くなります(5段階)。速度を遅くすることはできません。
●[再生▶]で通常再生に戻ります。
●ビデオCDは送り方向[▶▶]にのみ働きます。
●スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。(DVD-V DVD-A VCD を除く)

コマ送り/コマ戻し

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A(動画部) -RW(VR) VCD

一時停止中に、[◀❚❚]または[❚❚▶]を押す

押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。

●押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。
●[再生▶]で通常再生に戻ります。
●ビデオCDは送り方向[❚❚▶]にのみ働きます。

30秒先へスキップする

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

30秒スキップ を押す

押すごとに、約30秒飛びこして再生します。

●自動CM早送り再生(➜44)が働かないときなどに使うと便利です。

時間を指定して飛び越す(タイムワープ)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

1 [タイムワープ] **を押す**

- 飛び越し時間表示は、約5秒たつと自動的に消えます。
- 子画面にテレビの受信映像が表示されます。
- 再生画面の音声が出ます。
- もう一度 [**タイムワープ**] を押すと子画面が消えます。

2 **飛び越し時間の表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、(決定) を押す**

- [▲][▼]を押すごとに 1 分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。

子画面でテレビを見る

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

を押す

- 子画面にテレビの受信映像が表示されます。
- 再生画面の音声が出ます。
- もう一度 [**タイムワープ**] を押すと子画面が消えます。
- **チャンネル** [∧][∨](ふた内部)で子画面のチャンネルを切り換えることができます。(録画中は切り換えることができません)
- 子画面はブルーバック(➜**71**)にはなりません。

操作の状態を確認する(情報表示)

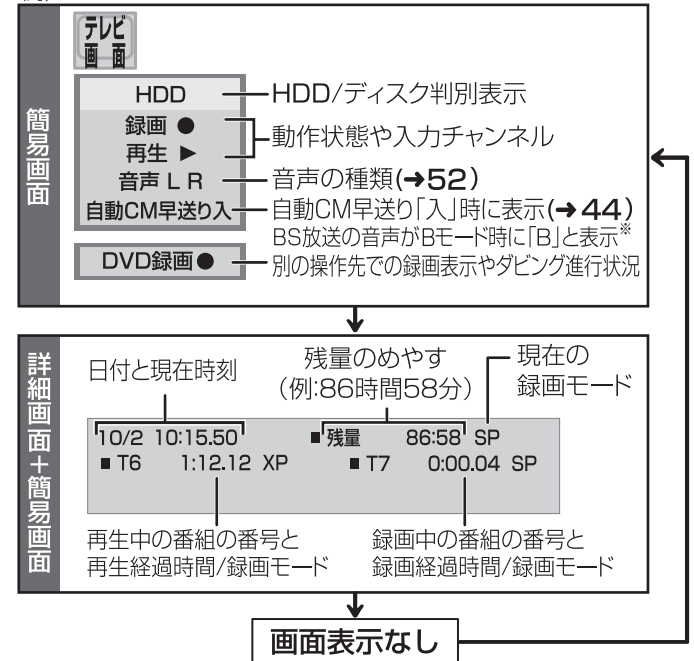
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

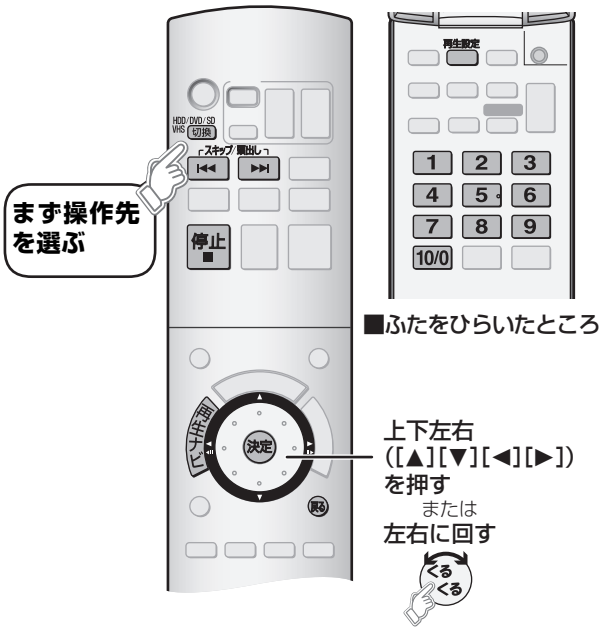
本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜**19**)
- [**HDD/DVD/SD/VHS 切換**]を押して、操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜**16**)

[画面表示] **を押す**

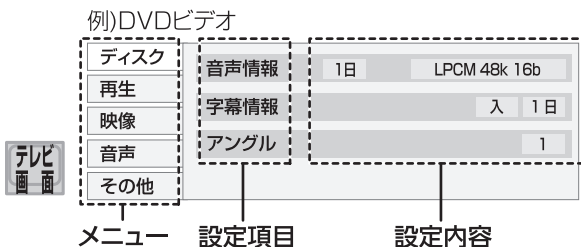
押すごとに切り換わります。
- 残量の数字は目安です。

例)HDD

※ BS(アナログ)放送受信時(接続・設定編 P.19)

HDD・ディスクの再生設定

設定の基本操作

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜19)
●[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜16)

●マルチジョグの左回し/右回しで選ぶことはできません。

1 [再生設定]を押す
- 再生設定画面が表示されます。
- ディスクによりメニューは異なります。

2 [▲][▼]で設定したいメニューを選び、[▶]を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す

4 [▲][▼]で設定を変える
- [決定]を押して設定変更を実行するものもあります。

■設定を終了する➜ [再生設定] を押す

ディスク独自の機能を設定する(ディスク)

音声情報※ DVD-V DVD-A
音声や言語を選びます。(音声属性/言語➜下記)
- HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)
 音声属性表示のみ

字幕情報※ DVD-V DVD-A
字幕表示の入/切や、言語を選びます。(言語➜下記)
- HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)
 入/切のみ(字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ。本機では記録していません)

音声チャンネル HDD RAM -R(VR) -RW(VR) VCD
音声(L/R)を切り換えます。

アングル※ DVD-V DVD-A
アングルを選びます。

静止画 DVD-A
静止画の再生方法を選びます。
- スライドショー:決められた順番で再生
- ページ:静止画を選んで再生
 ・ランダム:順不同に再生
 ・リターン:決められた静止画を再生

PBC(プレイバックコントロール)(➜105) VCD
PBC付きビデオCDでメニューの「入」、「切」が確認できます。(変更はできません)

※ディスクに収録されているメニュー画面(➜40)でのみ切り換えできるものもあります。
- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

〈音声属性〉
LPCM/PPCM/DDDigital/DTS/MPEG:信号タイプ
ch:チャンネル数　k:サンプリング周波数(kHz)　b:ビット数(bit)
〈言語〉

日:日本語	英:英語	仏:フランス語	独:ドイツ語
伊:イタリア語	西:スペイン語	蘭:オランダ語	中:中国語
露:ロシア語	韓:韓国語	*:その他	

再生方法を設定する(再生)

リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
- オール:ディスク全体　●番組:番組全体
- タイトル:タイトル全体(DVDビデオなど)
- チャプター:チャプター　●プレイリスト:プレイリスト
- グループ:グループ全体　●トラック:トラック

自動CM早送り HDD RAM -R(VR) (音声が下記の場合のみ)
CMを自動的に飛ばして再生します。

- 早見再生中(➜42)は働きません。
- 外部入力から録画した番組では働きません。
- 設定した内容は電源を切っても保持されます。
- 録画内容により、正しく働かないことがあります。
 例:上記図のCM部分が5分以上の場合など

MP3を再生する

画質を設定する(映像)

画質選択

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
DVD-V DVD-A -RW(VR)

映像ディスク再生時の画質を選びます。

- **ノーマル**:標準
- **ソフト**:ざらつきの少ない柔らかな画質
- **ファイン**:輪郭の強調されたくっきりした画質
- **シネマ**:映画鑑賞向け
- **ユーザー**:さらに画質を調整

  [◀][▲][▼]で「詳細画質設定」を選び、**[決定]**を押す
  - ・コントラスト(白黒の強弱) ・ブライトネス(画面全体の明るさ)
  - ・シャープネス(鮮やかさ) ・カラー(色の濃さ)
  - ・ガンマ(暗くて見えにくい映像の輪郭)
  - ・インテグレイティッドDNR(動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正)

MPEG-DNR(画質選択が「ユーザー」以外の場合のみ)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
DVD-V DVD-A -RW(VR)

「入」を選ぶと、ノイズや文字周りのもやの補正をします。

プログレッシブ(➜104)

[**初期設定**「接続するTV」で「プログレッシブ(525p)対応」を選んだ場合のみ(**➜71**)]

映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード[「プログレッシブ」(**➜上記**)が「入」の場合のみ]

プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- Auto1(標準):24コマ/秒のフィルム素材を自動判別
- Auto2:Auto1に加えて、30コマ/秒のDVDビデオにも対応(ソフトによって映像にぶれが生じることがあります)
- Video:Auto1またはAuto2でぶれが生じるとき

外部入力NR(「L1」「L2」「L3」「TP」を選局しているときのみ)

テープからのダビング時に、ノイズを減らして高画質で記録します。

- **自動**(標準):テープからの入力かどうかを自動判別して映像処理を行うとき
- **入**:テープ以外も含む外部入力に対して常に映像処理を行うとき
- **切**:映像処理を行わず、入力信号のまま記録するとき

音声効果を設定する(音声)

サラウンド(アドバンスドサラウンド)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
DVD-V DVD-A -RW(VR)

(ドルビーデジタル2チャンネル以上の音声のみ)

フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- 接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
- 本機で録音した二重音声には働きません。

シネマボイス

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
DVD-V DVD-A -RW(VR)

(ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ)

セリフを聞き取りやすくします。

設定画面の表示位置を変更する(その他)

表示位置

- 1(標準位置)〜5:設定値が大きいほど、画面が下に移動します。

再生の基本操作

CD

はじめに

- パソコンなどでMP3を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。
- "CDに記録されている MP3や写真(JPEG/TIFF)について"(**➜7**)もご覧ください。
- 停止中にMP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクを入れると、下図のような画面が表示されます。
  [決定]を押してから、下記手順を行ってください。

テレビ画面

準備
- テレビに本機の画面を出す。(**➜19**)
- **[HDD/DVD/SD/VHS 切換]**を押して、「DVD」を選ぶ。(**➜16**)
- MP3 が記録されたディスクを入れる。(**➜21**)

1 [ビデオナビ] を押す

G:グループ番号
T:グループ内のトラック番号
トータル:ディスク全体のトラック番号

選んだグループ

テレビ画面

- フォルダやファイルに付けた名前(S-JIS第1水準)がそれぞれグループ名、トラック名として表示されます。

2 [▲][▼]でトラックを選び、(決定)を押す

- 選んだトラックの再生が始まります。
- [1]〜[10/0]でもトラックを選べます。

  例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
  15の場合…[10/0]→[1]→[5]

☞前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

☞別のグループを選ぶには(➜下記)

■停止する➡ [停止 ■] を押す

■ひとつ前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■メニュー画面を消す➡ を押す

別のグループを選ぶ

1 [▶]を押す

テレビ画面

G: グループ番号/総グループ数

再生できるMP3が入っていないグループ

2 [▲][▼]でグループを選び、(決定)を押す

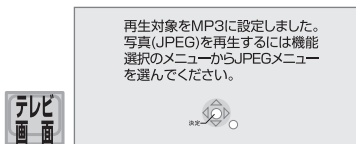
- 選ばれたグループのメニュー画面が表示されます。

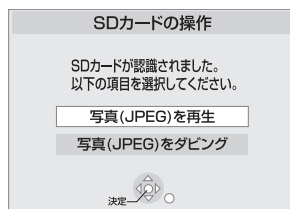
写真(JPEG/TIFF)を再生する

はじめに

●本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜7)
● HDD RAM SD "HDD、DVD-RAM、SDカードに記録されている写真(JPEG/TIFF)について"(➜7)もご覧ください。
●録画中やダビング中は写真の再生はできません。

■ CD について

●"CDに記録されているMP3や写真(JPEG/TIFF)について"(➜7)もご覧ください。
●パソコンなどで写真(JPEG/TIFF)を記録したCD-R、CD-RW が再生できます。
●停止中にMP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクを入れると、下図のような画面が表示されます。右記の手順の前に、JPEG メニューを選んでください。
(➜ 右ページ"JPEGメニューを選ぶ")

■ SD カードについて

停止中にSDカードをスロットに入れると、右図のような画面が表示されます。「写真(JPEG)を再生」が選ばれた状態で、[決定]を押してください。あとは、右記手順2の操作で見たい写真を選ぶだけで再生できます。

ブロードバンドレシーバー(別売:DY-NET2)を接続し、「写真ポケットサービス」(有料)に登録すると、HDDに「公開写真」フォルダが自動的に作成されます。パソコンや携帯電話からこの「公開写真」フォルダに写真をインターネット経由で送付したり、また、「公開写真」フォルダ内の写真を外出先からパソコンや携帯電話で閲覧することができます。
詳しくは、サポートページをご覧ください。
(http://panasonic.jp/support/bbr/)

再生の基本操作

HDD RAM SD CD

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜19)
●[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜16)
●ディスクに記録されている写真を再生する場合は、ディスクを入れる。(➜21)
●SDメモリーカードに記録されている写真を再生する場合は、カードをスロットに入れる。(➜21)

1 [ビデオナビ] を押す

●写真一覧が表示されます。

例)SDメモリーカード

HDD RAM

☞**番組一覧が表示されたとき**
[赤](写真)を押して、写真(JPEG)一覧に切り換える

2 [▲][▼][◀][▶]で見たい写真を選び、[決定]を押す

●選んだ写真が画面に表示されます。
●[1]～[10/0]でも写真を選べます。
・ HDD RAM SD :4けたで入力
例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[10/0]→[5]
15の場合…[10/0]→[10/0]→[1]→[5]
・ CD :3けたで入力
例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
15の場合…[10/0]→[1]→[5]

☞**別のフォルダを選ぶには(➜右ページ)**

☞**前後のページを表示するには**
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■停止する➡ [停止■] を押す

●止めた写真の位置を一時的に記憶します。
SD CD 電源を切ると記憶した位置は解除されます。

■再生中に前後の写真を見る➡[◀][▶]を押す

■再生ナビ / メニュー画面を消す➡ [ビデオナビ] を押す

再生ナビ画面について

■写真一覧の絵表示について

:書き込み禁止(プロテクト)を設定された写真やフォルダ

:プリント枚数(DPOF)が設定された写真

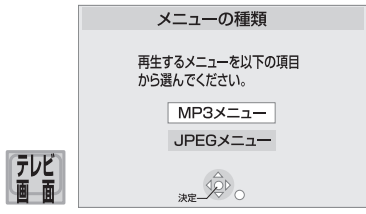
写真再生のいろいろな操作

JPEGメニューを選ぶ

CD

1 決定 を押す

2 機能選択（VHSメニュー） を押す

3 「メニュー」が選ばれている状態で、決定 を押す

4 [▲][▼]で「JPEGメニュー」を選び、決定 を押す

（➜左ページ"再生の基本操作"手順*2*へ）

■選択画面を消す➡ 戻る を押す

別のフォルダを選ぶ

HDD RAM SD CD

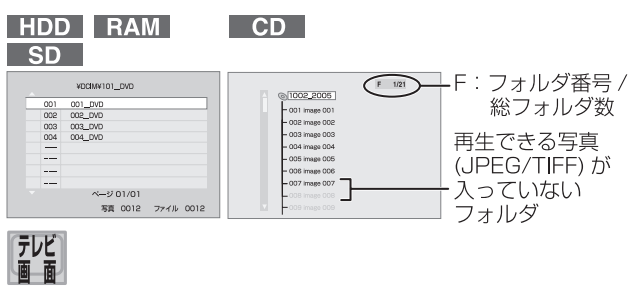
（本機で表示されるフォルダ構造例➜104）

●左ページ手順*1* のあとに操作します。

2 [▲]で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

●フォルダ選択画面が表示されます。

HDD RAM SD　CD

3 [▲][▼]でフォルダを選び、決定 を押す

●選ばれたフォルダのメニュー画面が表示されます。

■上位フォルダを切り換える RAM SD

（上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ）

➡ **1** フォルダ選択画面上で、サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼]で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

3 [◀][▶]でフォルダを選び、決定 を押す

■フォルダ選択画面からメニュー画面に戻る➡ 戻る を押す

写真を連続して再生する（スライドショー）

HDD RAM SD CD

●左ページ"再生の基本操作"手順*1*のあとに操作します。

2 [▲]で「フォルダ選択」を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

例）HDD

HDD RAM（➜63"番組一覧画面に切り換える"）

3 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、決定 を押す

■表示間隔を変える

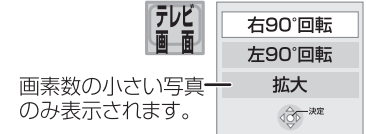
➡ **1** [▲][▼]で「スライドショーの表示間隔」を選び、決定 を押す

2 [◀][▶]で表示間隔[0秒〜30秒]を変更し、決定 を押す

■スライドショーを停止する➡ 停止■ を押す

写真を回転、拡大する

HDD RAM SD CD

1 再生中に、サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す

■回転した写真を元に戻す

➡ サブメニュー Ⓢ を押して逆方向への回転を選び、決定 を押す

■拡大した写真を元に戻す

➡ サブメニュー Ⓢ を押して「縮小」を選び、決定 を押す

○○ お知らせ ○○

●回転、拡大の情報は保存されません。
●拡大すると写真の一部が欠けることがあります。

写真の情報を見る（情報表示）

HDD RAM SD CD

再生中に、画面表示 を2回押す

例）SD

■情報表示を消す➡ 画面表示 を押す

VHSを再生する

◇◇ 再生の基本操作 ●テレビに本機の画面を出す。(➜19)
●録画済みのカセットを入れる。(➜21)

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、「VHS」を選ぶ

●本体のランプが点灯します。

2 再生を始める

再生▶ を押す

■ 停止する➜ 停止■ を押す

プログレッシブ対応テレビで高画質に楽しむとき

VHSの再生時も、DVDのプログレッシブ回路をとおして、本機後面のD1/D2映像出力端子からVHSの再生映像を出力し、プログレッシブ対応テレビで高画質の映像をお楽しみいただけます。(プログレッシブ ➜104)
このときは同時にHDDまたはDVDで地上波放送・外部入力の録画を行うことはできません。

以下の接続・設定を行ってください。

1 本機とテレビをD端子ケーブル(別売)、またはD端子ピンケーブル(別売)を使って接続する(接続・設定編 P.9)

2 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選び、初期設定「接続するTV」で「4:3プログレッシブ(525p)対応」、または「16:9プログレッシブ(525p)対応」を選ぶ(➜71)

3 HDD/DVD/SD側で"TP"チャンネルを選ぶ(➜94)
(VHS側の映像が映ります)

上記の準備・設定のあと、[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押してVHS側に切り換え、VHS側の再生操作を行ってください。

お知らせ

●誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが"OFF"になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
●カセットが入っているときは、電源が切れていても、[再生▶]を押すだけで再生を始めます(電源を切る前に、操作先に「VHS」を選んでいたときのみ)。
●5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
このときは、手動でトラッキングを調整してください。(➜51)

SQPB(S-VHS 簡易再生)機能について

(SQPB= S-VHS Quasi Playback)
(エスブイエッチエス クワジ プレイバック)

●S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットも再生することができます。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
●デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。

◇◇ 再生中のいろいろな操作

早送り／巻き戻し

停止中に、[巻戻し・サーチ/スロー] または [サーチ/スロー・早送り] を押す

- テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。
- 早送り（巻き戻し）は高速で行うため、動作音が大きくなります。
- また、[停止■]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。

高速リターン

を押す

高速で巻き戻しします。

- テープカウンター表示は出ません。
- 高速で巻き戻すため、動作音が大きくなります。
- また、[停止■]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
- カセットや使用環境によっては速度が多少変わります。
- 始端まで巻き戻すと、テープカウンターは"0:00.00"になります。
- 途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。

早送り／巻き戻し再生

[巻戻し・サーチ/スロー] または [サーチ/スロー・早送り] を短く押す（または押し続ける）

短く押すごとに速度が切り換わります。

標準のとき　　　：約9倍速⟷約13倍速
3倍・5倍のとき：約27倍速⟷約43倍速

- マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります（3段階）。速度を遅くすることはできません。再生速度は、録画モード（➔23）によって異なります。
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- [◀◀ 巻戻し][▶▶ 早送り]を押し続けるときは、指を離すと通常再生に戻ります。

お知らせ
- 音声は出ません。
- 13倍速（43倍速）にすると映像が乱れることがあります。
- 5倍モードで録画された部分は、43倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
- テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
- 約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。

一時停止（静止画）

[一時停止 II] を短く押す

- もう一度押すと、再生を再開します。
- 音声は出ません。
- 5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
- 静止画再生を約5分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

スロー再生

[一時停止 II] を約2秒以上押し続ける

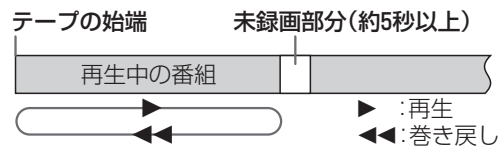
- 一時停止中に、マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります。速度を遅くすることはできません。
- 右回し：スロー再生（3段階）
- 左回し：逆再生（逆スロー再生はできません）
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- 音声は出ません。
- 5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
- スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

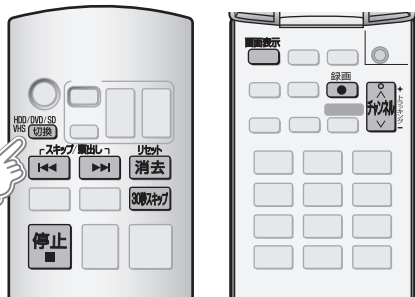
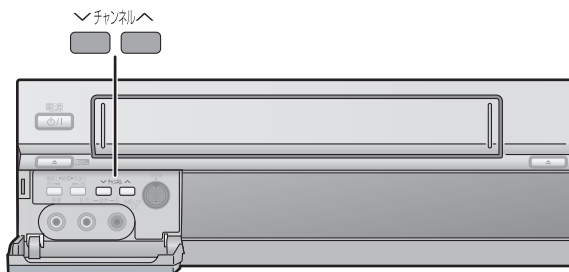
自動巻戻し再生

同じ番組を繰り返し再生します。

[再生 ▶] を約5秒以上押し続ける

- もう一度[再生▶]を押すと通常再生に戻ります。
- 停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。
- この機能は解除するまで働き続けます。

お知らせ
- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。（未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されてしまいます）

- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。
- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

次ページへつづく

■ふたをひらいたところ

再生中のいろいろな操作(つづき)

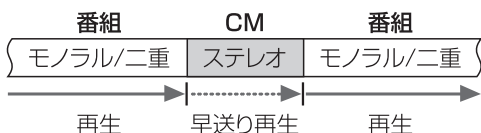
自動CM早送り再生

CMを自動的に早送りして再生します。

再生前または再生中に、[30秒スキップ]を押す

- "自動CM早送り 入"を表示させます。
- CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。
- 解除するには[**30 秒スキップ**]を押し、"自動CM早送り 切"を表示させます。
- 電源を切っても解除されます。

お知らせ

- 番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
  (CMの前後が少し切れた状態で再生されます)

- 次のようなときは正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき(CMも通常どおり再生されます)
  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき
  - ・CM以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  - ・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
  - ・外部入力録画したカセットを再生するとき

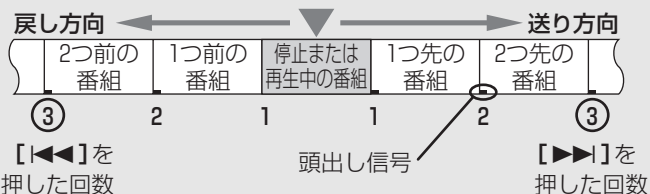
頭出し

本機でカセットに録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

[スキップ/頭出し ⏮] または [スキップ/頭出し ⏭] を押す

早送り(巻き戻し)を始め、押した回数だけ先の(前の)番組を再生します。

早送り方向…[▶▶|]
巻戻し方向…[|◀◀]

頭出しする番組の指定のしかた

- 最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - ・[**録画●**]を押して録画を始めたとき。
    (録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
  - ・予約録画が始まったとき。
  - ・録画中に、リモコンの[**録画●**]を押したとき。
- 次のときは、正しく探せないことがあります。
  - ・頭出し信号どうしの間隔が短いとき。
    録画は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。

きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るときは、次の3つの要素が考えられます。

① トラッキングがずれている
（白い帯状のノイズが出るときなど）

② ビデオヘッドが汚れている
（画面全体にノイズが出るときなど）

③ テープがいたんでいる
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となる恐れがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

●[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、「VHS」を選ぶ。(➔16)

① トラッキングを調整するには

再生中に、チャンネル（ふた内部［∧］または［∨］）を押し続ける

●ノイズが消えるまで押し続けてください。
●**チャンネル**[∧]と[∨]を同時に押すと、自動調整に戻ります。
●通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別の機器で録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

お知らせ

●調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
●テープによっては、調整しきれないことがあります。
●静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
●本体の**チャンネル**[∨][∧]でも調整できます。

② ビデオヘッドをクリーニングするには

再生中、本体表示窓に"U11"が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。
またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。

乾式のビデオヘッドクリーナー（別売）(➔117)を入れ、録画を押して約10秒間録画する

●約10秒後に[停止■]を押してください。
●このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。
●3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるときは

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

静止画再生中に、チャンネル（ふた内部［∧］または［∨］）を押し続ける

●ゆれが止まるまで押し続けてください。
●**チャンネル**[∧]と[∨]を同時に押すと、元の状態に戻ります。

お知らせ

●本体の**チャンネル**[∨][∧]でも調整できます。
●テレビの垂直同期も調整してみてください。（テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください）

時刻、テープカウンター、テープ残量を確認する

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

●テレビに本機の画面を出す。(➔19)
●[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、「VHS」を選ぶ。(➔16)

画面表示を押す

5秒以内に押すごとに、下図のように表示が切り換わります。
●ボタンを押して5秒以上たつと自動的に消えます。

テレビ画面

日付/現在時刻表示

●自動時刻合わせ機能（接続・設定編 P27）が働いているときは、秒まで表示されます。

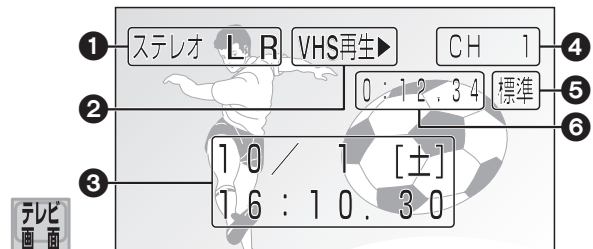
テープカウンター表示

●テープカウンター表示になっているときに[**リセット/消去**]を押すと、値が"0：00．00"になります。

テープ残量表示

●テープ残量の表示は目安です。
●カセットを入れた直後などは表示されません。テープ残量表示にすると、すぐに計算を始めます。多少時間がかかることがあります。
●次のときは、正しい表示になりません。
・VHSメニュー(➔72)の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
・品質の悪いカセットを使ったとき

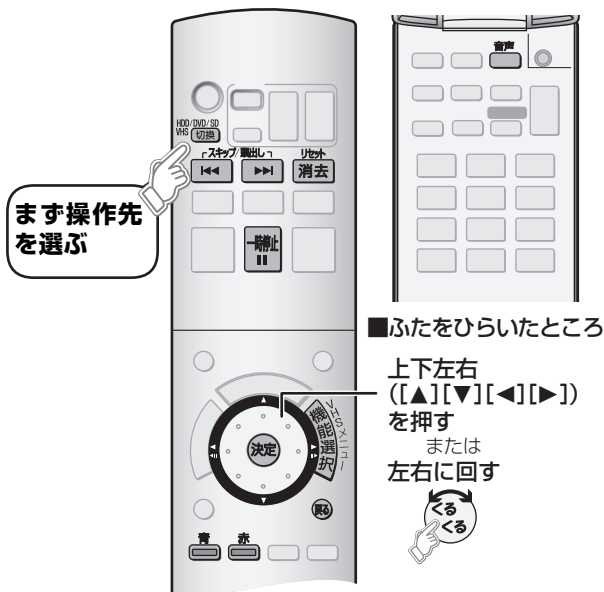
画面表示について（オンスクリーン）

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。

画面表示の一例

❶ **音声**(➔52)/**自動CM早送り**(➔ 左ページ)
❷ **動作表示**　:再生、早送りなど、本機の動作状態。
❸ **日付/現在時刻表示**(➔上記)
❹ **チャンネル表示**:チャンネル切り換え時、録画開始時。
❺ **録画モード表示**:録画開始時、テープ残量表示時など。
❻ **テープカウンター/テープ残量表示**(➔上記)

お知らせ

●次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
・静止画、スロー再生中
・VHSメニュー(➔72)の「オンスクリーン」を「切」にしているとき
●テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

音声を切り換える

HDD RAM -R(VR) DVD-V DVD-A -RW(VR) VCD VHS

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。
- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

2カ国語オート再生機能について

- 次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
  - ・[音声]を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)
  - ・HDD RAM -R(VR) 外部入力録画または"TP"チャンネル(➜94)で録画したディスクを再生中
  - ・VHS 外部入力録画または、本機で"DC"チャンネル(➜94)で録画したカセットを再生中
  - ・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中
  - ・番組の途中から再生を始めたとき
    この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは[音声]で音声を選んでください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、操作先を選ぶ。(➜16)

放送受信時

HDD/DVD側は、初期設定「高速ダビング用録画」(➜70)が「切」になっていないと音声を切り換えることができません。(お買い上げ時の設定は「入」です)

[音声]を押す

押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

例)二重放送
二重L(主)→二重R(副)→二重LR(主+副)

お知らせ
- HDD RAM -R(VR) VHS 録画中に[音声]を押しても、記録される音声に影響はありません。
- VHS 選んだ音声だけを録音することはできません。
- 外部入力から録音する場合、入力した音声(L/R)のまま出力されます。
- 次のときはHDD/DVDの音声を選ぶことができません。
  - ・「DVD」選択中、ディスクトレイにDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rが入っているとき
  - ・録画モードが「XP」で、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜71)が「LPCM」になっているとき
  - ・HDDまたはDVDからVHSへのワンタッチダビング(➜80,84)の実行中
- 音響機器と光デジタルケーブルのみで接続した場合、**初期設定**の「Dolby Digital」が「Bitstream」になっていると、HDD/DVD側で二重音声などを切り換えできません。
  以下のどちらかの方法で切り換えできるようになります。
  - ・「Dolby Digital」を「PCM」にする。(➜71)
  - ・音声コード(別売)も音響機器に接続し、音響機器側で入力を切り換える。(**接続方法は、別冊の取扱説明書 接続・設定編をご覧ください**)

再生時

[音声]を押す

- HDD RAM -R(VR) DVD-V DVD-A -RW(VR) VCD :
  押すごとに、収録されている内容によって切り換わります。

HDD RAM -R(VR) -RW(VR) VCD
音声L→音声R→音声LR

DVD-V DVD-A

(➜44"言語")

- VHS :録画したテレビ番組の音声が切り換わります。
  ステレオの番組:
  ステレオ音声→左音声→右音声→ノーマル音声(左+右)
  二重放送:
  主音声+副音声→主音声→副音声→ノーマル音声(主音声)
  モノラルの番組:
  左音声+右音声→左音声→右音声→ノーマル音声(モノラル)

HDD RAM -R(VR) -RW(VR) VHS
二重放送の主、副両音声を録画した場合は、主音声が"L"、副音声が"R"に記録されています。
押すごとに切り換わります。

お知らせ
- モノラル放送の音声を再生する場合、切り換えに関わらずすべてモノラルとなります。

番組や写真を消去する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R SD
(ファイナライズしたディスクではできません)

はじめに

番組や写真を消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。
録画中やダビング中は消去できません。

■消去後のディスク、カードの残量について

HDD RAM:
録画した番組または記録した写真を消去すると、消去した分、ディスク残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます

番組または写真 1	番組または写真 2	·····	最後に録画した番組または最後に記録した写真	残量

-RW(V):
最後に録画した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

消去しても残量は増えません / 消去すると残量が増えます

番組 1	番組 2	·····	最後に録画した番組	残量

SD:
記録した写真を消去すると、消去した分、カード残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます

写真 1	写真 2	·····	最後に記録した写真	残量

-R(VR) -R(V) -R DL +R :消去しても残量は増えません。

- HDD RAM -RW(V) -RW(VR) SD
  フォーマット(➜65)すると、一度に未記録状態にすることができます。

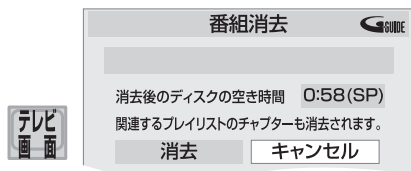
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、消去したい映像が入っている操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜16)
- RAM ディスクやカートリッジ付きディスクの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜65)

再生中に消去する

番組または写真を再生中に消去します。

1 番組または写真を再生中に、リセット 消去 を押す

例)番組を消去する
(HDD)

テレビ画面

2 [◀]で「消去」を選び、決定 を押す

お知らせ
- チャプター再生中(➜57)は働きません。チャプターを消去するには、「チャプター消去」で消去してください。(➜57)

消去ナビを使って消去する

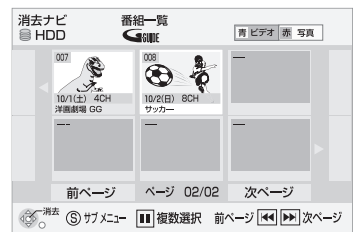
音声ガイドに従って、番組や写真を一覧画面から選ぶだけで簡単に消去できます。

1 停止中に、 を押す

- 機能選択画面が表示されます。

テレビ画面

2 [▲][▼]で「消去ナビ」を選び、決定 を押す

- 消去ナビ画面が表示されます。
  [(例)HDD の番組一覧]

HDD RAM

☞他の画像一覧に切り換えるには
番組一覧に切り換えるときは、青(ビデオ)を押す
写真(JPEG)一覧に切り換えるときは、赤(写真)を押す

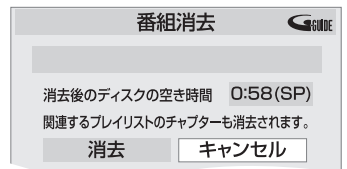
3 [▲][▼][◀][▶]で消去したい番組または写真を選び、決定 を押す

☞前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

☞複数の番組または写真をまとめて編集するには
[▲][▼][◀][▶]で番組または写真を選び、
[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

☞(写真一覧のみ)別フォルダの写真を選ぶには(➜47)

4 [◀]で「消去」を選び、決定 を押す

例)番組を消去する

■前の画面に戻る➡ 戻る を押す

■画面を消す➡ 戻る を数回押す

■音声ガイドをやめる
➡初期設定「音声ガイド出力」を「切」にする(➜69)

消去ナビ画面上で、サブメニューを使って内容確認などの便利な操作を行うことができます。
- 番組一覧のサブメニュー操作については(➜54 手順 *3*)
- 写真一覧のサブメニュー操作については(➜62"写真手順 *3*)

録画した番組を編集する

はじめに

録画した番組の不要部分を消去したり、番組名を付けたりすることができます。

- ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。お気を付けください。
- 録画中(➜24〜27)やダビング中(➜78〜101)などは編集できません。
- VHS側でカセットに録画された番組は表示されません。

■番組 / チャプターについて

番組を録画すると、1つのチャプターからなる番組として記録されます。

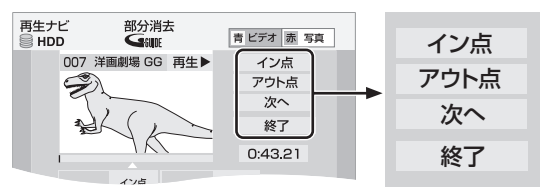
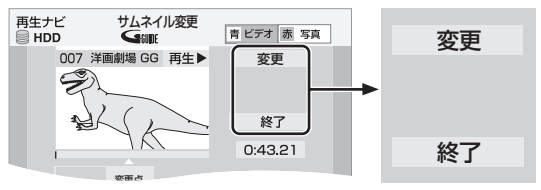
HDD RAM -R(VR)

好みの位置に区切り点を入れることができます。この区切り点で分けられた範囲1つ1つが1チャプターとなります。

(➜57"チャプターを作成する")

最大記録数

番組　　　：HDD 500
　　　　　　RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) 99
　　　　　　+R 49
チャプター：HDD （1番組あたり）約1000
　　　　　　RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) 約1000
　　　　　　+R 約250
　　　　　　（記録状態によって変化します）

お知らせ

- 二重放送の番組のCM部分など、自動的に複数のチャプターが作成される場合があります。
- -R(V) -RW(V) +R ファイナライズ(➜66,104)すると自動的に約5分ごとのチャプターが作成されます。
- -R DL ファイナライズ(➜66,104)してもチャプターは自動的に作成されません。高速ダビングした場合のみ、ダビング元のチャプターが複製されます。

■DVD-R(VR方式)の編集について

編集を行うと、編集情報がディスクに書き込まれます。DVD-R(VR方式)ディスクでは、一度書き込まれた部分に上書きはされません。編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集は HDD上で行い、そのあと DVD-R(VR 方式)にダビングすることをおすすめします。

番組編集の基本操作

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

[ファイナライズしたディスクでは編集できません。ただし、DVD-R(VR 方式)、DVD-RW(VR 方式) は、ファイナライズ後でも「内容確認」のみできます]

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜16)
- RAM ディスク(➜65)やカートリッジ付きディスク(➜65)の誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。

1 再生中または停止中に、[再生ナビ] を押す

- 番組一覧が表示されます。

例）HDD

テレビ画面

HDD RAM

写真(JPEG)一覧が表示されたとき

[青](ビデオ)を押して、番組一覧に切り換える

2 [▲][▼][◀][▶]で編集する番組を選ぶ

前後のページを表示するには

[⏮](前ページ)または[⏭](次ページ)を押す

- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

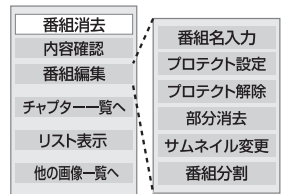
複数の番組をまとめて編集するには

[▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[一時停止❚❚] を押す

操作を繰り返す(複数選択)

- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

3 [サブメニュー] を押す

例）HDD

4 [▲][▼]で編集する項目を選び、[決定] を押す

- 「番組編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

以下、"番組編集項目一覧"(➜右ページ)に進み、それぞれの編集を行ってください。

"チャプター一覧へ"を選んだ場合は

チャプター一覧画面に切り換わります。

(➜57 手順5へ)

■前の画面に戻る➜ [戻る] を押す

■画面を消す➜ を押す

番組編集項目一覧

●左ページ手順*1*～*4*のあとに操作します。

番組を消す
番組消去

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

消去すると元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

● -R(VR) -R(V) -R DL +R 消去しても残量は増えません。
● -RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみディスク残量が増えます。

内容を確認する
内容確認

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

番組名、録画日、チャンネルなどが表示され、確認できます。

画面を消すには➡［決定］を押す

番組名を付ける
番組名入力

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

●文字入力について(**➜67**)

誤消去防止の設定／解除
プロテクト設定／解除

HDD RAM -R(VR)

大切な録画内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定)を押す

●プロテクト設定すると🔒が表示されます。解除すると消えます。

番組の不要な部分を消す
部分消去

HDD RAM -R(VR)

録画した番組の消したい部分を指定して消去します。

1 消去する部分の開始点(イン点)で、(決定)を押す
●編集中の便利な機能(➜下記)

2 消去する部分の終了点(アウト点)で、(決定)を押す

3 [▼]で「終了」を選び、(決定)を押す

再生ナビ HDD 部分消去 青 ビデオ 赤 写真
007 洋画劇場 GG 再生▶
イン点 / アウト点 / 次へ / 終了
0:43.21

続けて別の不要な部分を消去するには
「次へ」を選んで［決定］を押す(手順4を行ったあと、手順 1へ)

4 [◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

番組一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する
サムネイル変更

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

1 (再生▶)を押す

2 お好みの場面で、(決定)を押す
●編集中の便利な機能(➜下記)

再生ナビ HDD サムネイル変更 青 ビデオ 赤 写真
007 洋画劇場 GG 再生▶
変更 / 終了
0:43.21

場面を選び直すには
① [▲][▼] で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
② お好みの場面で、[決定]を押す

3 「終了」が選ばれている状態で、(決定)を押す

編集中の便利な機能
●早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜41 ～ 43)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
●スキップを使ってチャプターを飛び越すことで、番組の終わりにも飛ぶことができます。

番組編集項目一覧(つづき)

●54 ページ手順*1*～*4*のあとに操作します。

編集中の便利な機能
- 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜41 ～ 43)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
- スキップを使ってチャプターを飛び越すことで、番組の終わりにも飛ぶことができます。

番組を 2 つに分割する
番組分割

HDD RAM -R(VR)

分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

1 分割する場面で、決定を押す

●編集中の便利な機能(➜上記)

分割する場面を確認するには
「プレビュー」が選ばれている状態で、[決定] を押す
●分割する場面の前後 10秒間が再生されます。

分割する場面を選び直すとき
① [▲][▼] で「分割」を選ぶ
② [再生▶] を押して、再生を始める
③ 分割する場面で、[決定] を押す

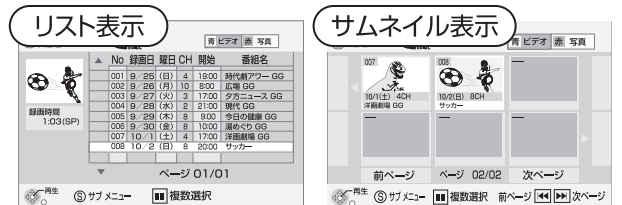
2 [▲][▼] で「終了」を選び、決定を押す

3 [◀] で「分割」を選び、決定を押す

●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」(➜上記)で確認のうえ、実行してください。
●番組名(➜55)や番組の録画制限(➜12)などの情報は、分割した番組の両方に反映されます。

番組一覧の表示方法を変更する
リスト表示
サムネイル変更

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

番組一覧の表示方法の設定ができます。
(電源を切っても保持されます)

項目ごとに番組を並べ替える
並び替え

HDD [リスト表示(➜上記)のみ]

たくさんの番組の中から再生したい番組を探すときなどに便利です。再生ナビ画面を消したり、写真の再生ナビ画面に切り換えると取り消されます。

[▲][▼] で項目を選び、決定を押す

●それぞれの項目に並べ替えられます。
●「No」以外の項目で並べ替えているときは
・選んだ番組の再生が終わると再生ナビ画面に戻ります。(連続再生はできません)
・スキップやタイムワープ(➜41,43)は、再生中の番組内でのみ働きます。

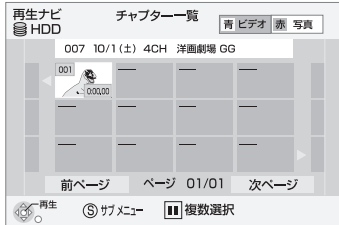
写真一覧画面に切り換える
他の画像一覧へ

HDD RAM

「写真」が選ばれている状態で、決定を押す

チャプターを再生 / 編集する

HDD RAM
-R(VR) (ファイナライズ後は再生のみ)
-RW(V) (再生のみ)
●54ページ手順*1*～*4*のあとに操作します。

5 [▲][▼][◀][▶]で再生または編集するチャプターを選ぶ

前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
●[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

複数の番組をまとめて編集するには
[▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[一時停止❚❚] を押す
操作を繰り返す(複数選択)
●☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

6 ◆再生する➡ 決定 を押す

●選んだチャプターの再生が始まります。

◆編集する➡ サブメニュー Ⓢ を押す(➜手順7へ)

7 サブメニュー Ⓢ を押した場合のみ
[▲][▼]で編集する項目を選び、決定 を押す

例)HDD

番組一覧に戻る

以下、"チャプター編集項目一覧"(➜右記)に進み、それぞれの編集を行ってください。

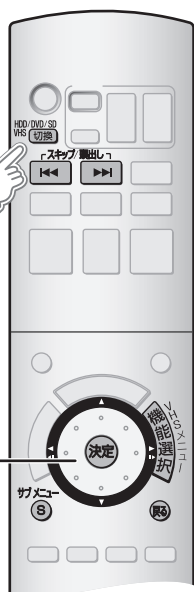
■前の画面に戻る➡ 戻る を押す

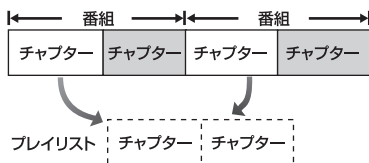
■画面を消す➡ ビデオ番組 を押す

チャプター編集項目一覧

●左記手順*7*のあとに操作します。

チャプター部分を消す (部分消去) チャプター消去	HDD RAM -R(VR) 指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。実行すると元に戻すことができませんので、消去してよいか確認してから行ってください。 ●チャプターの区切り点のみ消去したい場合は、「チャプター結合」を行ってください。(➜ 下記) **[◀]で「消去」を選び、決定 を押す**
チャプターを作成する チャプター作成	HDD RAM -R(VR) 映像を見ながら区切りたい部分を指定します。 **1 チャプターを区切る位置で、決定 を押す** ●編集中の便利な機能(➜左ページ) ●繰り返して複数の位置を指定できます。 **2 [▲][▼]で「終了」を選び、決定 を押す**
チャプターをつなぐ チャプター結合	HDD RAM -R(VR) 選択中のチャプターと次のチャプターの区切り点をなくし、1 つにつなぎます。録画内容は消去されません。 **[◀]で「結合」を選び、決定 を押す**

プレイリストを作成・再生・編集する

はじめに

■プレイリストについて
チャプター作成(➜57)で作成した好みのチャプターを集めて、再生したい順に並べたものです。

- ダビング(➜80,84,86)すると、ダビング先では番組になります。(8時間を超えるプレイリストはダビングできません)
- プレイリストは再生順を登録するだけなので、ディスク容量はほとんど使いません。ただし、DVD-R(VR方式)でプレイリスト編集を行う場合は、残量の減少にお気を付けください。(➜ 下記)
- プレイリストやプレイリストのチャプターは、消したり新たに作成しても元の番組やチャプターには影響しません。

HDD RAM -R(VR)
最大記録数
プレイリスト:99
プレイリストのチャプター:約1000(記録状態によって変化します)
- 最大記録数を超えるプレイリスト、チャプターは、すべて登録されません。

■DVD-R(VR方式)のプレイリスト編集について
プレイリスト編集を行うと、編集情報がディスクに書き込まれます。DVD-R(VR 方式)ディスクでは、一度書き込まれた部分に上書きはされません。編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。
編集はHDD上で行い、そのあとDVD-R(VR方式)にダビングすることをおすすめします。

プレイリストを作成する

HDD RAM
-R(VR) (ファイナライズしたディスクではできません)
- 録画中やダビング中は、プレイリストの作成はできません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜16)
- RAM ディスクやカートリッジ付きディスクの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜65)

1 停止中に、[機能選択]を押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

テレビ画面

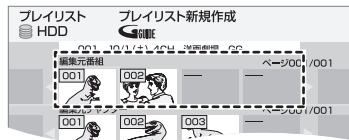
3 [▲][▼]で「プレイリスト編集」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼][◀][▶]で「新規作成」を選び、[決定]を押す

- はじめてプレイリストを作成するときは、そのまま[決定]を押してください。
- プレイリスト新規作成画面が表示されます。

前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

5 1行目の操作

[◀][▶]でプレイリストに加えたいチャプターの入っている編集元番組を選び、[▼]を押す

☞編集元番組内のチャプターをすべて選ぶには
編集元番組を選んだあと、[決定]を押す（➜手順*7*へ）

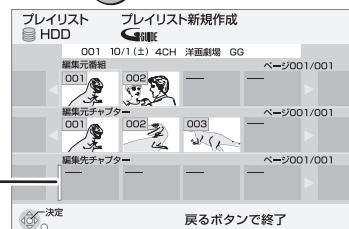
6 2行目の操作

[◀][▶]でプレイリストに加えたい編集元チャプターを選び、(決定)を押す

☞編集元チャプターを選び直すには
[▲]を押す

☞別の編集元番組を選ぶには
[▲]を数回押して編集元番組の行を選び、手順*5* に戻る

7 3行目の操作

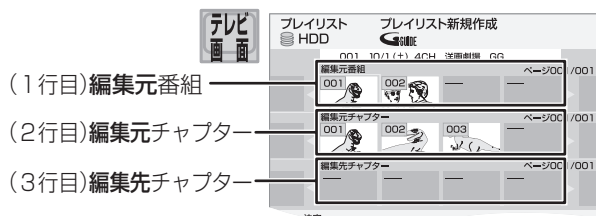
手順*6*で選んだ編集元チャプターの挿入位置を [◀][▶]で選び、(決定)を押す

☞続けて編集元チャプターを追加するには
手順*6*～*7*を繰り返す

8 作成が終わったら、(戻る) を押す

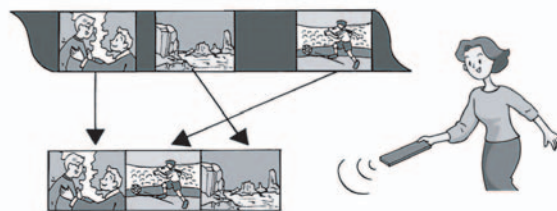
●選んだシーンの集まりがプレイリストとなります。

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

プレイリスト新規作成画面について

1行目、2行目は、録画した番組とその番組に含まれるチャプターの一覧です。これらをお好みの順番で3行目に登録し、プレイリストを作成します。

お知らせ

●プレイリスト新規作成画面から、編集元番組のチャプターを新たに作成することもできます。作成するには、編集元番組や編集元チャプターを選んで、[サブ メニュー]を押し、“チャプター作成”を表示させて[決定]を押します。
（操作方法は➜57“チャプターを作成する”）

◇◇ プレイリストの再生/編集の基本操作 ◇◇

HDD RAM -R(VR) -RW(VR)

[DVD-RW(VR 方式)、ファイナライズしたDVD-R(VR 方式)では、再生と「内容確認」のみできます]

- プレイリストのチャプターを編集しても、元の番組やチャプターには影響しません。
- 録画中やダビング中は、プレイリストの編集はできません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜16)
- RAM ディスクやカートリッジ付きディスクの誤消去防止設定(プロテクト)を解除(➜65)し、プレイリスト作成(➜58)済みのディスクを入れる。

1 停止中に、[機能選択] を押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼]で「プレイリスト編集」を選び、(決定)を押す

4 [▲][▼][◀][▶]で再生または編集するプレイリストを選ぶ

前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

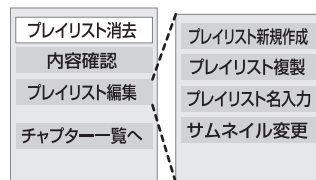
複数のプレイリストをまとめて編集するには
[▲][▼][◀][▶]で選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

5 ◆再生する➡ (決定) を押す

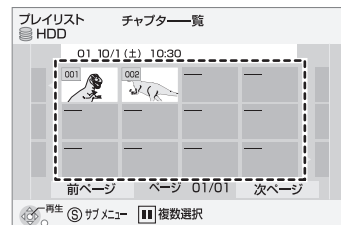
- 選んだプレイリストの再生が始まります。

◆編集する➡ (サブメニュー S) を押す(➜手順*6*へ)

6 (サブメニュー S) を押した場合のみ [▲][▼]で編集する項目を選び、(決定)を押す

- "プレイリスト編集"を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

以下、"プレイリストの編集項目一覧"(➜右ページ)に進み、それぞれの編集を行ってください。

"チャプター一覧へ"を選んだ場合は
チャプター一覧画面に切り換わります。(➜手順*7*へ)

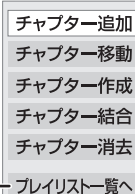
7 [▲][▼][◀][▶]で再生または編集するチャプターを選ぶ

前後のページを表示するには(➜上記手順*4*)
複数のチャプターをまとめて編集するには(➜上記手順*4*)

8 ◆再生する➡ (決定) を押す

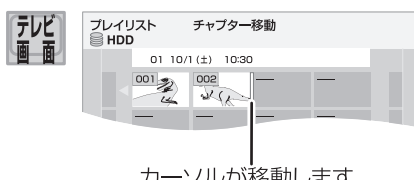
- 選んだチャプターの再生が始まります。

◆編集する➡ (サブメニュー S) を押す(➜手順*9*へ)

9 (サブメニュー S) を押した場合のみ [▲][▼]で編集する項目を選び、(決定)を押す

プレイリスト一覧に戻る

以下、"プレイリストのチャプター編集項目一覧"(➜右ページ)に進み、それぞれの編集を行ってください。

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す
■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

プレイリスト編集項目一覧

プレイリストの編集項目一覧

●左ページ手順*1*～*6*のあとに操作します。

項目	操作
プレイリストを消す プレイリスト消去	HDD RAM -R(VR) 消去すると、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀]で「消去」を選び、決定を押す**
内容を確認する 内容確認	HDD RAM -R(VR) -RW(VR) 作成日などが表示され、確認できます。 **画面を消すには➡**[決定]を押す
プレイリストを新しく作成する プレイリスト新規作成	HDD RAM -R(VR) (操作方法は➜59“プレイリストを作成する”手順*5*～*7*)
プレイリストを複製する プレイリスト複製	HDD RAM -R(VR) 複製されたプレイリストは、最も新しいプレイリストとして複製されます。 **[◀]で「複製」を選び、決定を押す**
プレイリスト名を付ける プレイリスト名入力	HDD RAM -R(VR) ●文字入力について(➜67)
プレイリスト一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する サムネイル変更	HDD RAM -R(VR) **1 再生▶を押す** **2 お好みの場面で、決定を押す** ●編集中の便利な機能(➜右記) **場面を選び直すには** ① [▲][▼]で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める ② お好みの場面で、[決定]を押す **3「終了」が選ばれている状態で、決定を押す**

プレイリストのチャプター編集項目一覧

●左ページ手順*1*～*9*のあとに操作します。

項目	操作
チャプターを追加する チャプター追加	HDD RAM -R(VR) (操作方法は➜59“プレイリストを作成する”手順*5*～*8*)
チャプターの順番を変える チャプター移動	HDD RAM -R(VR) **[▲][▼][◀][▶]で移動先を選び、決定を押す** カーソルが移動します
チャプターを作成する チャプター作成	HDD RAM -R(VR) 映像を見ながら区切りたい部分を指定します。 **1 チャプターを区切る位置で、決定を押す** ●編集中の便利な機能(➜ 下記) ●繰り返して複数の位置を指定できます。 **2 [▲][▼]で「終了」を選び、決定を押す**
チャプターをつなぐ チャプター結合	HDD RAM -R(VR) 選択中のチャプターと次のチャプターの区切り点をなくし、1 つにつなぎます。録画内容は消去されません。 **[◀]で「結合」を選び、決定を押す**
チャプター部分を消す(部分消去) チャプター消去	HDD RAM -R(VR) チャプターをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。 **[◀]で「消去」を選び、決定を押す**

編集中の便利な機能

●早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜41 ～ 43)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。

●スキップを使ってチャプターを飛び越すことで、番組の終わりにも飛ぶことができます。

写真を編集する

はじめに

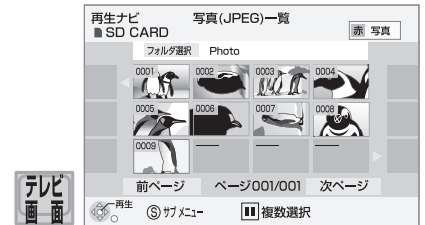
- 写真単位、またはフォルダ単位で編集することができます。
- 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜7)
- CD-RやCD-RWに記録された写真は編集できません。

写真編集の基本操作

HDD RAM SD

準備
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、編集したい写真が入っている操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜19)
- ディスク、カートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜65)

1 を押す

テレビ画面

例)SDメモリーカード

HDD RAM

番組一覧が表示されたとき

赤 (写真)を押して、写真 (JPEG) 一覧に切り換える

2 [▲][▼][◀][▶]で編集したい写真を選ぶ

前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

複数の写真をまとめて編集するには

[▲][▼][◀][▶]で写真を選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)

- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

別フォルダの写真を選ぶには(➜ 右ページ)

3 サブメニュー Ⓢ を押す

例)SDメモリーカード

写真の消去
写真のプロテクト設定
写真のプロテクト解除
写真のDPOF設定

4 [▲][▼]で編集する項目を選び、決定 を押す

以下、"写真編集項目一覧"(➜右ページ)に進み、それぞれの編集を行ってください。

■前の画面に戻る➡ 戻る を押す

■画面を消す➡ ビナ操作 を押す

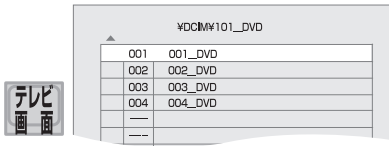
別のフォルダを選ぶ

1 [▲]で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す
●フォルダ選択画面が表示されます。

テレビ画面

¥DCIM¥101_DVD

001	001_DVD
002	002_DVD
003	003_DVD
004	004_DVD

---	

2 [▲][▼]でフォルダを選び、(決定)を押す
●選ばれたフォルダのメニュー画面が表示されます。

フォルダごと編集する

●左ページ手順 *1* のあとに操作します。

2 [▲]で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す

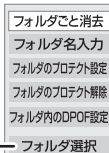
3 [▲][▼] で編集したいフォルダを選ぶ

前後のページを表示するには(➜左ページ手順 *2*)
複数のフォルダをまとめて編集するには(➜左ページ手順 *2*)

4 サブメニュー(S) を押す

例)SDメモリーカード

フォルダごと消去
フォルダ名入力
フォルダのプロテクト設定
フォルダのプロテクト解除
フォルダ内のDPOF設定
フォルダ選択

RAM SD
上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ表示されます。

上位フォルダを切り換えるには(➜下記)

5 [▲][▼] で編集する項目を選び、(決定)を押す

以下、"写真編集項目一覧"(➜右記)に進み、それぞれの編集を行ってください。

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■画面を消す➡ (ビデオ/写真) を押す

■上位フォルダを切り換える RAM SD
(上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ)

➡ **1** [▲][▼]で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す
2 [◀][▶]でフォルダを選び、(決定)を押す

写真編集項目一覧

●左ページ"**写真編集の基本操作**"手順*1*～*4*のあと、または左記"**フォルダごと編集する**"手順 *1*～*5*のあとに操作します。

項目	内容
消去する 写真の消去 フォルダごと消去	HDD RAM SD 消去すると、元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す** ●フォルダを消去する場合は、フォルダ内の写真以外のファイルも消去されます。(フォルダ内の下位フォルダは除く)
フォルダ名を付ける フォルダ名入力	HDD RAM SD ●文字入力について(➜67) ●本機で入力したフォルダ名は、他の機器では表示されないことがあります。
誤消去防止の設定 / 解除 写真のプロテクト設定 / 解除 フォルダのプロテクト設定 / 解除	HDD RAM SD **[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定)を押す** ●プロテクトを設定すると"🔒"が表示されます。解除すると消えます。 ●本機でフォルダにプロテクトを設定していても、他の機器では解除されることがあります。
番組一覧画面に切り換える 他の画像一覧へ	HDD RAM **「ビデオ」が選ばれている状態で、(決定)を押す**
プリンターや写真店でプリントする枚数を設定する 写真の DPOF 設定 フォルダ内の DPOF 設定	SD **[◀][▶]で枚数(0枚～9枚)を選び、(決定)を押す** ●DPOFマークが表示されます。(「フォルダ内の DPOF設定」では設定したフォルダの中の写真に表示されます) **設定を解除するには「0枚」に設定する** ●本機での設定は他の機器で見られない場合があります。 ●本機で設定すると、他の機器で行った設定は解除されます。 ●写真やフォルダがDCF規格 [➜7"HDD、DVD-RAM、SDカードに記録されている写真(JPEG/TIFF)について"] でない場合や、カードに残量がない場合は設定できません。

HDD・ディスクやカードを整理する

はじめに

操作先によって、機能選択画面に表示されるメニューは異なります。それぞれ以下のメニューを選んでください。
- 操作先が「HDD」の場合：「HDD 管理」
- 操作先が「DVD」の場合：「DVD 管理」
- 操作先が「SD」の場合：「カード管理」

HDD管理/DVD管理/カード管理では、ディスクやカードのフォーマット(初期化)やファイナライズを行うことができます。

■フォーマットについて

フォーマットとは

新品、または他の機器で使っていたディスクやカード

フォーマット すると

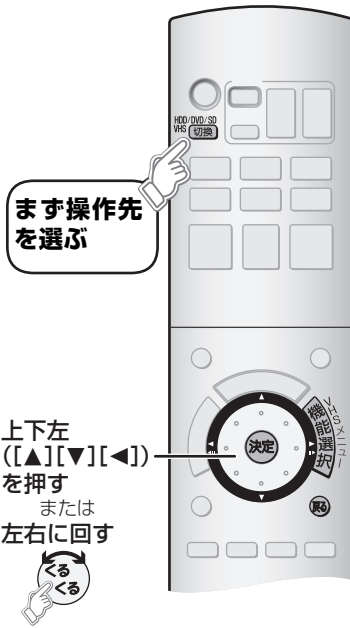
そのままでは本機で記録できない場合があります。

本機で記録できるようになります。

■ファイナライズについて

ファイナライズとは

そのままでは他の DVD 機器で再生できません。

他の DVD 機器で再生できるようになります。

HDD/DVD/カード管理の基本操作

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) -RW(VR) +R SD

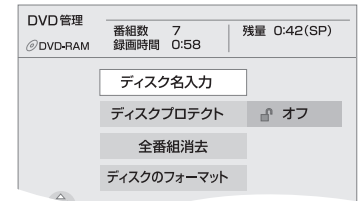
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜16)
- RAM SD ディスクやカートリッジ付きディスク、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜右ページ)

1 停止中に、[機能選択] を押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

例)DVD-RAM

3 [▲][▼]で「HDD 管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、(決定)を押す

■前の画面に戻る➜ (戻る) を押す

■画面を消す➜ (戻る) を数回押す

ディスクに名前を付ける(ディスク名入力)

RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

(ファイナライズしたディスクにはできません)
- 上記手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 「ディスク名入力」が選ばれている状態で、(決定)を押す

- 文字入力について(➜67)
- 未使用の DVD-R にディスク名を入力すると、DVD-Video 方式となり、VR 方式としてフォーマットできなくなります。

入力したディスク名は、[機能選択]を押すと表示されます。

例)DVD-RAM

-R(V) -R DL -RW(V) +R

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

■前の画面に戻る➜ (戻る) を押す

■画面を消す➜ (戻る) を数回押す

誤消去防止の設定/解除(ディスクプロテクト)

RAM -R(VR) (ファイナライズしたディスクにはできません)
ディスクの内容を誤って消去しないように設定できます。

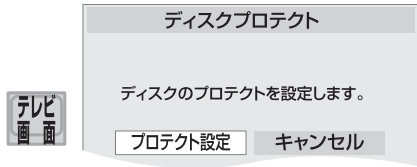
●左ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。

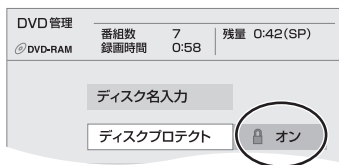
4 [▲][▼]で「ディスクプロテクト」を選び、決定を押す

テレビ画面

ディスクプロテクト

ディスクのプロテクトを設定します。

プロテクト設定　キャンセル

5 [◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

●プロテクト設定すると“🔒 オン”が表示されます。

■前の画面に戻る➡ 戻る を押す
■画面を消す➡ 戻る を数回押す

■カートリッジ付きDVD-RAMやカードの場合

本機で上記の設定をしなくても、ディスクやカードで誤消去防止設定(プロテクト)ができます。

カートリッジ付きディスク　SDメモリーカードなど

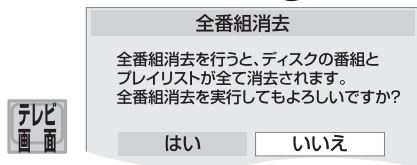
設定すると、本機に入れたとき自動的に再生します。

スイッチを「LOCK」側にする。

番組をすべて消去する(全番組消去)

HDD RAM -R(VR) (ファイナライズしたディスクではできません)
●左ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 [▲][▼]で「全番組消去」を選び、決定を押す

テレビ画面

5 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

6 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

●**実行すると元に戻すことはできません。**よく確認してから実行してください。

■前の画面に戻る➡ 戻る を押す
■画面を消す➡ 戻る を数回押す

お知らせ

●番組を全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
●プロテクトを設定した番組がある場合は、働きません。
● HDD RAM 写真は消去されません。
● -R(VR) 消去しても残量は増えません。

ディスクやカードを初期化する (HDDのフォーマット/ディスクのフォーマット/カードのフォーマット)

HDD RAM -RW(V) -RW(VR) SD
-R(V) (未使用のディスクのみ)

●DVD-R の記録方式とフォーマットについては(➜22)
● SD 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜7)

フォーマット(➜104)を実行すると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません(パソコンのデータなども含む)。すべて消してよいか確認してから行ってください。(番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます)

●左ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。(カードの場合は、手順*3* で「カード管理」を選んでください)

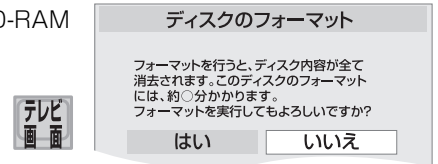
4 [▲][▼]で「ディスクのフォーマット」を選び、決定を押す

例)DVD-RAM

テレビ画面

ディスクのフォーマット

フォーマットを行うと、ディスク内容が全て消去されます。このディスクのフォーマットには、約○分かかります。
フォーマットを実行してもよろしいですか?

はい　いいえ

●別の操作先やディスクで行う場合は、それぞれ以下のメニューを選んでください。
・操作先が「HDD」の場合:「HDDのフォーマット」
・操作先が「SD」の場合:「カードのフォーマット」
・未使用の DVD-R:「フォーマット (VR 方式)」

5 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

6 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

●フォーマットが始まります。通常は数分、DVD-RAMでは最大約70分かかります。

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

■フォーマットを中止する➡ 戻る を押す
● RAM フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

■前の画面に戻る➡ 戻る を押す
■画面を消す➡ 戻る を数回押す

お知らせ

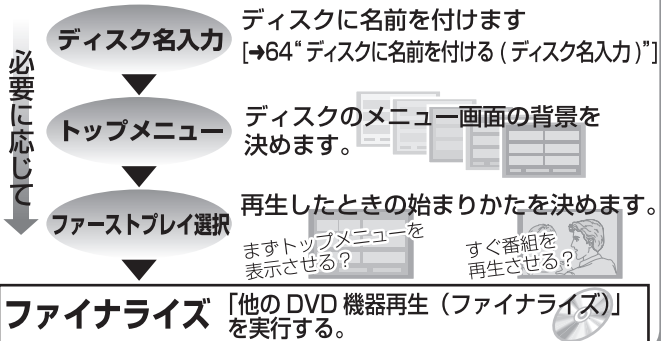
●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
●DVD-R DL、+R、+RW、CD-R/RW、録画済みのDVD-Rはフォーマットできません。
●本機ではDVD-RWをフォーマットすると、DVD-Video方式になります。
●本機では未使用のDVD-Rをフォーマットすると、VR方式になります。(フォーマットすると、DVD-Video 方式では記録できなくなります)

次ページへつづく

HDD/DVD/カード管理の基本操作（つづき）

他の機器で再生できるようにする[トップメニュー/ファーストプレイ選択/他のDVD機器再生(ファイナライズ)]

-R(V) -R DL -RW(V) +R 録画後に他のDVD機器で再生するには、ファイナライズをする必要があります。ただし、それぞれの機器がファイナライズしたディスクの再生に対応している必要があります。他の機器との互換性は5ページをご覧ください。

-R(VR) VR方式のDVD-R対応機器で再生できますが、ファイナライズが必要になる場合があります。

●64ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。
（-R(VR) 以下の「トップメニュー」「ファーストプレイ選択」の設定はできません。手順*8*から行ってください）

トップメニュー -R(V) -R DL -RW(V) +R

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。（設定しないときは、手順*6*に進む）

4 [▲][▼]で「トップメニュー」を選び、決定を押す

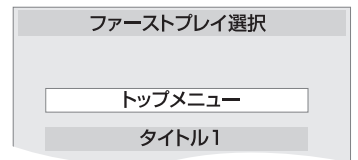
5 [▲][▼][◀][▶]でお好みの背景を選び、決定を押す

●トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。[➜55"番組一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する"]

ファーストプレイ選択 -R(V) -R DL -RW(V) +R

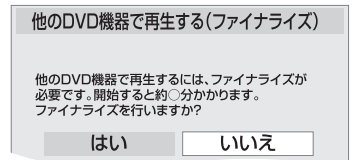
ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。（設定しないときは、手順*8*に進む）

6 [▲][▼]で「ファーストプレイ選択」を選び、決定を押す

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

7 [▲][▼]で「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、決定を押す

トップメニュー：再生時、メニュー画面を表示する
タイトル1　　：再生時、ディスクの先頭から再生する

他のDVD機器再生（ファイナライズ）

8 [▲][▼]で「他のDVD機器再生(ファイナライズ)」を選び、決定を押す

9 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

10 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

●ファイナライズが始まります。実行中は中止できません。
●ディスクの残量が少ない場合は数分、最大約15分かかります。（-R DL の場合は最大で60分かかります）

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

■**前の画面に戻る➜ 戻る を押す**
■**画面を消す➜ 戻る を数回押す**
■**ファイナライズすると…**

● -R(VR) -R(V) -R DL +R **再生専用となり、録画（ダビング）や編集はできなくなります。**
● -RW(V) 再生専用となりますが、フォーマット(➜65)すると、繰り返して録画や編集ができます。ただし録画していた番組などはすべて消去されます。
● -R(V) -R DL -RW(V) +R
・高速モードでダビングした番組では、ダビング時に複製されたチャプターがファイナライズ後も保持されます。
・直接録画した番組や、高速モード以外でダビングした番組では、約5分ごとのチャプターが自動的に作成されます。（-R DL は除く。実際に作成されるチャプターの長さは、録画状態や録画モードによって大きく変化します）
・番組やチャプターのつなぎ目が数秒間静止するようになります。

お知らせ

●本機以外の機器で録画したディスクはファイナライズできないことがあります。
●本機でファイナライズされたディスクは、記録状態により他のDVDプレーヤーでは再生できない場合があります。
再生互換などのDVD関連情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)
●高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(約4倍)

文字入力

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R SD

録画した番組などに名前を付けたり、番組表(Gガイド)で検索するキーワードを入力します。

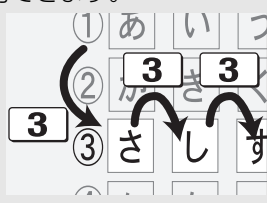
入力できる文字数

	種類	半角英数	その他
HDD RAM -R(VR)	番組名※	64	32
	プレイリスト名	64	32
	フォルダ名(-R(VR) を除く)	36	18
	ディスク名(HDD を除く)	64	32
-R(V) -R DL -RW(V) +R	番組名	44	22
	ディスク名	40	20
SD	フォルダ名	36	18
番組表(Gガイド)	キーワード	30	15

※予約録画時　半角英数:44文字　　その他:22文字

お知らせ
- 予約録画時の番組名など、入力したすべての文字が表示されない画面もあります。

[1]～[10/0]、[12]でも文字を入力できます。
例:ひらがな「す」を選ぶ場合
1 [3]を押す
- 「さ」行に移動します。

2 [3]を2回押し、[決定]を押す
- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。

1 入力画面を表示する

予約録画する番組に名前を付けるには
「番組名入力」を選ぶ
(➜29"詳細設定を変更する"、➜32手順3、➜34手順3)

録画した番組に名前を付けるには
「番組名入力」を選ぶ(➜54手順4)

プレイリストに名前を付けるには
「プレイリスト名入力」を選ぶ(➜60手順6)

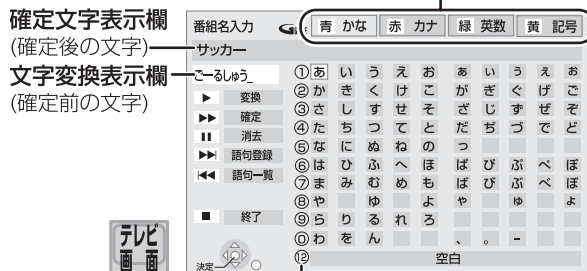
ディスクに名前を付けるには
「ディスク名入力」を選ぶ(➜64手順4)

写真のフォルダに名前を付けるには
「フォルダ名入力」を選ぶ(➜63手順5)

番組表(Gガイド)で検索するキーワードを入力するには
(➜30"ジャンル/キーワードで番組を探して予約する"手順3)

2 入力する文字の種類を選ぶ

青(かな)、赤(カナ)、緑(英数)、黄(記号)を押して、決定を押す

- [▲][▼][◀][▶]で文字の種類を選んで、[決定]を押しても、文字の種類が選べます。
- 漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

3 入力する文字を選ぶ

[▲][▼][◀][▶]で選び、決定を押す

- 確定文字表示欄では"_"の部分に文字が挿入されます。
- この手順を繰り返し、複数の文字を入力します。

◆ **ひらがなを入力する**➜[▶▶早送り](確定)を押す

◆ **ひらがなを漢字変換する**
➜ 1 [再生▶](変換)を押す
- 変換候補選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で変換したい漢字の候補を選び、[決定]を押す
- [|◀◀]または[▶▶|]を押すと、前ページまたは次ページの文字候補選択画面が表示されます。
- [戻る]を押すと、入力画面に戻ります。

◆ **よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出す**(➜68)

◆ **消去する**➜[一時停止❚❚](消去)を押す

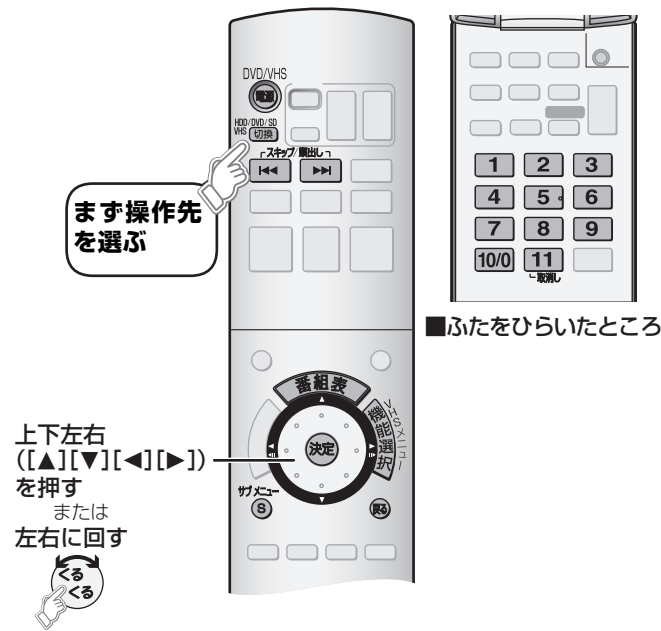
4 入力が終わったら、

停止■(終了)を押す

- "書き込み中です…"と表示されたあと、番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

■途中で終わる➜ **戻る を数回押す**(文字は入力されません)

次ページへつづく

■ふたをひらいたところ

よく使う語句を登録する

登録できる語句数:20個まで
登録できる文字数(1個あたり): 半角英数　先頭から20文字
その他　先頭から10文字

1 登録したい語句を入力後、[▶▶I](スキップ/頭出し)(語句登録)を押す

2 [◀]で「登録」を選び、(決定)を押す

■登録を中止する➡ (戻る) を押す

■番組表(Gガイド)上の語句を登録する➡ (➜30)

登録した語句を呼び出す

1 [I◀◀](スキップ/頭出し) (語句一覧)を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で呼び出す語句を選び、(決定)を押す
●確定文字表示欄に選んだ語句が入力されます。

登録した語句を消去する

1 [I◀◀](スキップ/頭出し) (語句一覧)を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で消去する語句を選び、(S)(サブメニュー)を押す

3 「語句消去」が選ばれている状態で、(決定)を押す

4 [◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

本機の設定を変える

はじめに

初期設定一覧(➜69〜71)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定変更の基本操作

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜19)
●[HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」のいずれか)を選ぶ。(➜16)

例)「自動電源〔切〕」の設定を変える場合

1 停止中に、(機能選択/VHSメニュー)を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

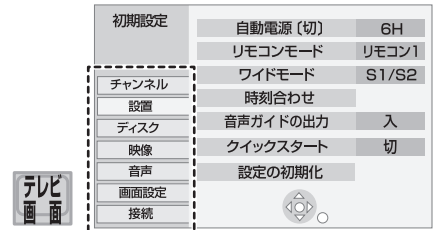
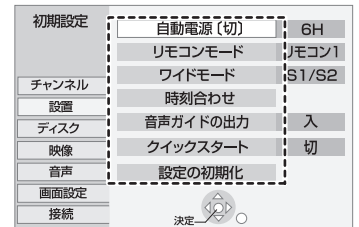
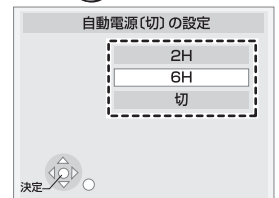
3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、(決定)を押す
●初期設定画面が表示されます。

4 [▲][▼]でメニュー(「設置」)を選び、[▶]を押す

テレビ画面

初期設定
チャンネル / 設置 / ディスク / 映像 / 音声 / 画面設定 / 接続
自動電源〔切〕 6H
リモコンモード リモコン1
ワイドモード S1/S2
時刻合わせ
音声ガイドの出力 入
クイックスタート 切
設定の初期化

5 [▲][▼]で設定項目(「自動電源〔切〕」)を選び、(決定)を押す

初期設定
チャンネル / 設置 / ディスク / 映像 / 音声 / 画面設定 / 接続
自動電源〔切〕 6H
リモコンモード リモコン1
ワイドモード S1/S2
時刻合わせ
音声ガイドの出力 入
クイックスタート 切
設定の初期化
決定

6 [▲][▼]で設定内容を選び、(決定)を押す

■ひとつ前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■初期設定画面を消す➡ (戻る) を数回押す

お知らせ
●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

(初期設定一覧)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
チャンネル	市外局番チャンネル設定(接続・設定編 P.22)	▶市外局番入力
	マニュアルチャンネル設定(接続・設定編 P.23)	▶CH ▶表示 ▶放送局名 ▶ガイド ▶微調整
	BSアンテナ設定(接続・設定編 P.19)	▶BS電源 ▶ウェザーポジション ▶BSチャンネル ▶BSシステム
	番組表設定(接続・設定編 P.25)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●Gガイド地域(接続・設定編 P.25)	お住まいの地域を設定します。
	●ホスト局(接続・設定編 P.25)	番組表(Gガイド)データの送信局を設定します。
	●データ受信時刻(接続・設定編 P.25) 通常は変更しないでください。	→[決定]を押して、確認画面で「設定」を選んで[決定]を押し、さらに設定します。 ●自動 ●時/分:[取消し/11]を押した場合やデータ受信後は、「自動」に戻ります。
	かんたん設置設定(接続・設定編 P.17)	▶ する ▶しない
設置	自動電源〔切〕 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2H ▶6H ▶切 ●時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード(接続・設定編 P.26)	▶リモコン1 ▶リモコン2 ▶リモコン3
	ワイドモード テレビのS映像入力に合わせて出力を設定します。 (接続・設定編 P.4) (S映像出力 ➜105)	▶S1 :テレビの端子が「S」または「S1」のとき。 ▶S1/S2 :テレビの端子が「S1」または「S2」のとき。 ▶ 切 :テレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき。
	時刻合わせ(接続・設定編 P.27)	▶(年/月/日/時/分) ▶自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「入」に設定すると、「かんたん設置設定」、「消去ナビ」、「おまかせダビング」の実行時に音声で操作ガイダンスを行います。	▶入 ▶切
	クイックスタート 「入」に設定すると、電源「切」状態から以下の操作がすばやく行えるようになります。 ●[番組表]を押して約1秒後に、番組表(Gガイド)を表示します。(➜28) ●[DVD/VHS電源]を押して約1秒後にHDD、DVD-RAMへの録画が可能な状態になります。(➜24)	▶入 ▶切 「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時、または午前4時ごろ(1週間に1回程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に"PLEASE"、"WAIT"が交互に表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、内部から動作音がしますが、故障ではありません)
	設定の初期化 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 (チャンネルの設定、時刻と視聴制限は除く)	▶ する ▶しない 設定の初期化を行うと、本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。本体表示窓に"U30"と表示され、リモコンが操作できなくなった場合は、リモコンモードを変更してください。 (接続・設定編 P.26)

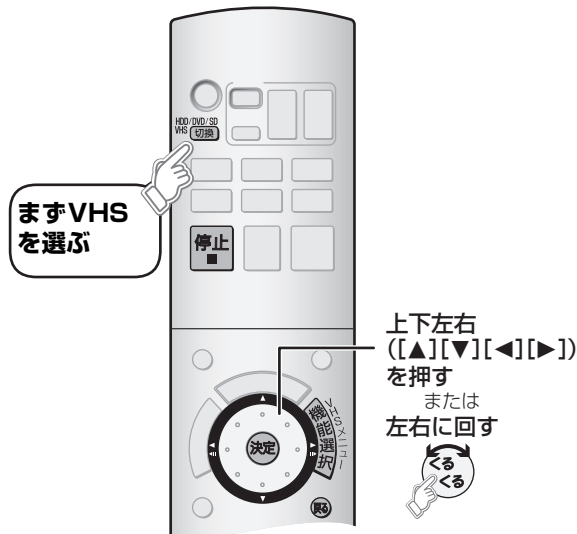
言語番号一覧

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	オーリヤ	7982	シンド	8368	トルクメン	8475	ヘブライ	7387
アイマラ	6589	オランダ	7876	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベトナム	8673
アイルランド	7165	カザフ	7575	ジャワ	7487	トンガ	8479	ベロルシア(白ロシア)	6669
アゼルバイジャン	6590	カシミール	7583	スウェーデン	8386	ドイツ	6869	ベンガル(バングラ)	6678
アッサム	6583	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アファル	6565	ガリチア	7176	スロベニア	8376	日本語	7465	ポーランド	8076
アフリカーンス	6570	韓国(朝鮮)語	7579	スワヒリ	8387	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アブハジア	6566	カンナダ	7578	スンダ	8385	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アムハラ	6577	カンボジア	7577	スペイン	6983	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アラビア	6582	キルギス	7589	ズールー	9085	ハンガリー	7285	マライ(マレー)	7783
アルバニア	8381	ギリシャ	6976	セルビア	8382	バシキール	6665	マラッタ	7782
アルメニア	7289	クルド	7585	セルボクロアチア	8372	バスク	6985	マラヤーラム	7776
イタリア	7384	クロアチア	7282	ソマリ	8379	パシュト	8083	マルタ	7784
イディッシュ	7473	グアラニー	7178	タイ	8472	パンジャブ	8065	マダガスカル	7771
インターリングア	7365	グジャラト	7185	タタール	8484	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
インドネシア	7378	グリーンランド	7576	タミル	8465	ビハール	6672	モンゴル	7778
ウェールズ	6789	グルジア	7565	タガログ	8476	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
ウォロフ	8779	ケチュア	8185	タジク	8471	フィジー	7074	ラオ	7679
ヴォラピュック	8679	ゲール		チェコ	6783	フィンランド	7073	ラテン	7665
ウクライナ	8575	(スコットランド)	7168	中国語	9072	フェロー	7079	ラトビア(レット)	7686
ウズベク	8590	コーサ	8872	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウルドゥー	8582	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	フリジア	7089	リンガラ	7678
英語	6978	サモア	8377	テルグ	8469	ブータン	6890	ルーマニア	8279
エストニア	6984	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
エスペラント	6979	ショナ	8378	トウイ	8487	ブルターニュ	6682	ロシア	8285

本機の設定を変える(初期設定一覧)(つづき)

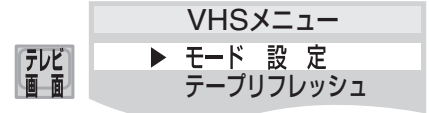
メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
ディスク	**再生設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 ・暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。 ・**暗証番号は忘れないでください。**	▶レベル8 すべて視聴可 :すべてのディスクが視聴可。 ▶レベル7～1 :制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可。 ▶レベル0 すべて視聴不可 :すべてのディスクが視聴不可。 ▶ロック解除 ▶暗証番号変更 ▶レベル変更 ▶一時解除
	●DVD-AudioのVideoモード再生 DVDオーディオに収録されたDVDビデオ映像を再生します。	▶入(電源「切」または本体の[▲開/閉]で「切」に戻ります) ▶切
	●音声言語 DVDビデオ再生時の音声を選びます。	▶日本語 ▶英語 ▶オリジナル(ディスクの最優先言語で再生) ▶その他＊＊＊＊
	●字幕言語 DVDビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶オート: 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶日本語 ▶英語 ▶その他＊＊＊＊
	●メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶日本語 ▶英語 ▶その他＊＊＊＊ (音声言語・字幕言語・メニュー言語共通)＊には[1]～[10/0]で言語番号(➜69)を入力(選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面(➜40)でのみ切り換えるものもあります)
	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。(録画モード➜23)	▶EP(6H):4.7 GBディスクに6時間記録 ▶EP(8H):4.7 GBディスクに8時間記録
	●高速ダビング用録画 HDDに録画後、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速ダビングできるようになります。ただし録画される番組は画面サイズなどが制限されます。(➜右記) 「切」に設定していると、右記の制限はかかりませんが、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへの高速ダビングはできなくなります。	▶入:高速ダビング対応にする→[決定]を押して、さらに「はい」を選びます。 ・録画される番組には以下の制限がかかります。 - 画面サイズは4:3になります。 - 二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜右ページ)で選んだほうの音声のみ記録されます。 ・本機を接続した入力(ビデオ1など)でテレビを視聴中、音声を切り換えることはできなくなります。(二重放送の音声は、「二重放送音声記録」で選ばれている方が出力されます) ▶切
	野球延長設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●野球延長 「入」に設定すると、番組表に延長情報を含む番組と、同じチャンネルのそれ以降に放送される番組を予約録画する際、自動的に録画時間を延長します。(➜31)	▶入 ▶切 予約時の設定ではなく、予約録画開始時点での設定が有効となります。
	●延長時間 延長録画を何分行うかを設定します。	▶30分 ▶60分 ▶120分 通常は、番組の最大延長時間に合わせて最大120分、録画を延長します。番組表に最大何分延長するかの情報が含まれていない場合(例:試合終了まで放送延長の場合など)のみ、ここで設定された時間分、延長録画を行います。
	番組追従 「入」に設定すると、番組表からの予約後に番組の放送時間が変更になっても、録画開始までに変更後の番組表データを受信すれば、その変更内容に合わせて予約を変更し、録画の失敗を防ぎます。(➜31)	▶入 ▶切 ●番組表からHDDまたはDVDへ予約登録した番組にのみ働きます。(毎週／毎日予約を含む) ただし、「CH」「開始」「終了」を変更した番組、または「番組名」をすべて消去した番組には働きません。 ●番組名を著しく変更した場合、変更後の番組名で番組を検索しますので、正しく働かない場合があります。 ●放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 ●番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては正しく働かない場合があります。
映像	**スチルモード** 一時停止時の画像の表示方法が選べます。(フレーム/フィールド➜104)	▶オート ▶フィールド :動きのある映像や"オート"時にぶれが生じるとき ▶フレーム :"オート"時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生する状態が選べます。	▶入:なめらかに再生(早見再生中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります) ▶切:精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	S-VHSダビング設定 S-VHS方式またはS-VHS ET方式で記録されたテープからディスクへダビングするときに、S-VHS方式でダビングするか、SQPBでダビングするかを選びます。(➜77)	▶S-VHS 再生 :S-VHS方式のまま再生し、ダビングするとき。Y(輝度信号)の帯域が広いままでダビングできるので、より高画質となります。 ▶SQPB :VHS方式で再生し、ダビングするとき。(S-VHS本来の高画質にはなりません)

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶入（ドルビーデジタルの音声にのみ働きます） ▶切
	二重放送音声記録 記録する二重放送の音声を選びます。 ●DVD-R（DVD-Video 方式）、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video 方式）、+R に録画/ダビングする場合 ●「高速ダビング用録画」（➜左ページ）を「入」にして録画する場合 ●「記録音声モードの設定〔XP時〕」（➜下記）を「LPCM」にして録画する場合	▶主音声　▶副音声 他のビデオからのダビングなど、外部入力から録画する場合は、本機では選べません。接続した機器側で選んでください。
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●**PCMダウンサンプリング変換** サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHz に変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。	▶入：96 kHzまたは88.2 kHzに対応していない機器と接続したとき。 ▶切：96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器と接続したとき。 176.4 kHz以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわりなく48 kHzまたは44.1 kHz に変換されます。
	●**Dolby Digital** ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、本機で"PCM（2ch）"に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream：ドルビーデジタルロゴのある機器に接続したとき。 ▶PCM：ドルビーデジタルロゴのない機器に接続したとき。 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。 ドルビーデジタル DOLBY DIGITAL
	●**DTS** DTSの信号を接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、本機で"PCM（2ch）"に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream：DTS デジタルサラウンドロゴのある機器に接続したとき。 ▶PCM：DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続したとき。 DTSデジタルサラウンド DIGITAL dts SURROUND
	記録音声モードの設定〔XP時〕 録画モードがXP時に、記録する音声の種類が選べます。（XPでの録画時やダビング時に働きます）	▶Dolby Digital（➜105） ▶LPCM（➜105）： ・画質は少し下がります。 ・XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」（➜上記）であらかじめ選んでください。
	DV入力時の音声の設定 DV入力端子（➜100）から録音する音声の種類が選べます。	▶ステレオ 1：DV録画時の音声（L1、R1）を録音するとき ▶ステレオ 2：編集などであとから追加した音声（L2、R2：ナレーションなど）を録音するとき ▶MIX：ステレオ 1 とステレオ 2 の音声を録音するとき LPCMで録音する場合は、「二重放送音声記録」（➜上記）で音声をあらかじめ選んでください。
画面設定	**オンスクリーン表示〔オート〕** 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶入 ▶切（表示しない）
	ブルーバック 受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにできます。	▶入 ▶切（表示しない）
	FLディマー 本体表示窓の明るさを調節します。	▶常時 明 ▶常時 暗 ▶オート：再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・ボタン操作時に一時的に明るくなります。電源「切」時の消費電力の節電になります。 「常時 暗」または「オート」に設定したときは、本体のワンタッチダビングボタンの周りのランプが消灯します。
接続	**接続するTV** 接続したテレビに合わせて設定します。 （ 接続・設定編 P.27 ）	▶4:3インターレース（525i）　▶4:3プログレッシブ（525p）対応 ▶16:9インターレース（525i）　▶16:9プログレッシブ（525p）対応
	TVアスペクト（4:3）設定 4:3テレビでの16:9映像の映しかたを選びます。 ●DVD-Video	▶パン＆スキャン：左右の切れた映像で再生するとき。 パン＆スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。 ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生するとき。
	●DVD-RAM	▶スルー：録画された映像の横縦比で再生するとき。 ▶パン＆スキャン：左右の切れた映像で再生するとき。 ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生するとき。
	外部入力3の端子設定 後面の外部入力3（L3）に接続する機器に合わせて設定します。	▶ライン：BSデコーダー以外と接続したとき。 ▶BSデコーダー：BSデコーダーと接続したとき。

VHSの設定を変える(VHSメニュー)

いろいろな項目の設定を変える(モード設定)

使う条件に合わせて、いろいろな項目を変えることができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して「VHS」を選ぶ。(➜16)

1 を押す

- VHSメニュー画面が表示されます。

2 「モード設定」が選ばれている状態で、(決定)を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選ぶ

モード 設 定			
テープ長さ	[−120]	−160	180
▶オンスクリーン	切		[自動]

4 [◀][▶]で設定内容を変える

■ひとつ前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■VHSメニューを消す➡ (戻る) を数回押す

モード設定メニュー(下線部はお買い上げ時の設定です)

テープ長さ
- ▶ −120:T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき。
- ▶ −160:T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)カセットを使うとき。
- ▶ 180:T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき。

※D-VHSカセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。

オンスクリーン(➜51)
- ▶ 切:テレビ画面に表示を出さないようにするとき。
- ▶ 自動:操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。

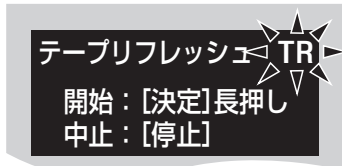
カセットの録画内容をすべて消す（テープリフレッシュ）

この操作をすると映像、音声はすべて消え、元に戻すことができません。消してよいかよく確かめてから行ってください。
※テープが新しくなるわけではありません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して「VHS」を選ぶ。(➜16)
- テープリフレッシュしたいカセットを入れる。

1 **を押す**

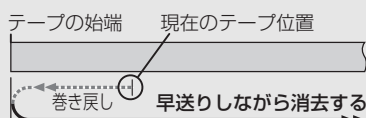
- VHSメニュー画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「テープリフレッシュ」を選び、（決定）を押す

3 "TR"点滅中に、
もう一度（決定）を約2秒以上押す

- テープリフレッシュが始まります。

■**途中でやめる➡ [停止 ■] を押す**
- 止めたところまでは消去されています。

お知らせ
- VHSメニュー(➜左ページ)の「テープ長さ」を正しく合わせておかないと、テープ残量が正しく表示されません。
- テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが「OFF」になっているカセットはテープリフレッシュできません。

テープリフレッシュの動作
1 テープを始端まで巻き戻す
2 早送りしながら、録画された内容を消去していく
3 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する
- 120分カセットで約21分かかります。（目安です）

ダビングの種類を選ぶ

本機ではいろいろなダビングのしかたが選べます。

番組をダビングする

何から	何へダビングするの?	どんなダビングがしたい?	おすすめのダビング方法は…
HDD	DVD-RAM DVD-R DVD-RW +R DVD-R DL	★番組を1つだけダビングする ★プレイリストを1つだけダビングする	ワンタッチダビング ➜80 高速OK ファイナライズ選択
		★いくつかの番組を組み合わせてダビングする	おまかせダビング ➜78 高速OK ファイナライズ自動 マニュアルダビング ➜86
		★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする ★録画モードを自分で設定してダビングする	マニュアルダビング ➜86 高速OK ファイナライズ選択
	VHS	★番組を1つだけダビングする ★プレイリストを1つだけダビングする	ワンタッチダビング ➜80 1倍速
		★いくつかの番組を組み合わせてダビングする ★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする	マニュアルダビング ➜86 1倍速
		★見ている映像をそのままダビングする	その他のダビング ➜95 1倍速
VHS	HDD	★テープの停止位置から終端までダビングする	ワンタッチダビング ➜82 1倍速
		★指定した時間だけダビングする ★4.7 GBのディスクにぴったり収まるようにダビングする	マニュアルダビング ➜90 1倍速
		★見ている映像をそのままダビングする	その他のダビング ➜94 1倍速
	DVD-RAM DVD-R DVD-RW +R	★テープの停止位置から終端までダビングする	ワンタッチダビング ➜82 1倍速 ファイナライズ選択
		★指定した時間だけダビングする ★ディスクの残量に合わせてぴったりダビングする	マニュアルダビング ➜90 1倍速 ファイナライズ選択
		★見ている映像をそのままダビングする	その他のダビング ➜94 1倍速

表の見かた

高速OK	高速でダビングすることができます。
1倍速	番組の録画時間と同じ時間をかけてダビングします。
ファイナライズ自動	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするとき、ファイナライズを自動で行います。
ファイナライズ選択	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするとき、ファイナライズを行うかどうか選択することができます。

ファイナライズとは

記録したディスクを他のDVD機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。

●コピー禁止処理がされている映像はダビングすることはできません。

何から何へダビングするの?　どんなダビングがしたい?　おすすめのダビング方法は…

DVD-RAM / DVD-R (VR方式) / DVD-RW (VR方式)

- HDD
  - ★番組やプレイリストをすべてダビングする → ワンタッチダビング ➜84 高速OK
  - ★いくつかの番組を組み合わせてダビングする ★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする → マニュアルダビング ➜86 高速OK
- VHS
  - ★番組をすべてダビングする ★選んだ番組の先頭からディスクの最後までをダビングする ★選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをダビングする → ワンタッチダビング ➜85 1倍速
  - ★いくつかの番組を組み合わせてダビングする ★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする → マニュアルダビング ➜86 1倍速
  - ★見ている映像をそのままダビングする → その他のダビング ➜95 1倍速

ファイナライズ前の DVD-R (DVD-Video方式) / DVD-R DL / DVD-RW (DVD-Video方式) / +R

- HDD
  - ダビングできません
- VHS
  - ★番組をすべてダビングする ★選んだ番組の先頭からディスクの最後までをダビングする → ワンタッチダビング ➜85 1倍速
  - ★見ている映像をそのままダビングする → その他のダビング ➜95 1倍速

DVDビデオ / ファイナライズ後のDVD-R DVD-R DL、DVD-RW、+R、+RWを含む

- HDD
  - ワンタッチダビングはできません
  - ★ディスクの内容をすべてダビングする ★指定した時間だけダビングする → マニュアルダビング ➜92 1倍速
- VHS
  - ワンタッチダビングはできません
  - ★ディスクの内容をすべてダビングする ★指定した時間だけダビングする → マニュアルダビング ➜92 1倍速
  - ★見ている映像をそのままダビングする → その他のダビング ➜95 1倍速

写真/MPEG2動画をダビングする

★いくつかの写真を組み合わせてダビングする➜97

★カードの写真をHDD、またはDVD-RAMにすべてダビングする➜96

★カードのMPEG2動画をHDD、DVD-RAMまたはDVD-R(VR方式※)にダビングする➜97

※録画前にフォーマットが必要です。(➜65)

ダビングを始める前に

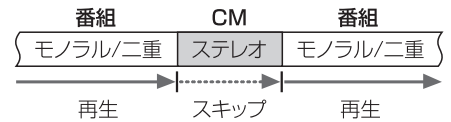
ダビング時の録画モードについて(HDD、DVD 間のダビング)

ダビングするときの速度には、以下の２とおりあります。
●**高速**:ダビング元の記録時間よりも短い時間でダビングします。画質(録画モード)を変えずに、すばやくダビングすることができます。
●**1倍速**:ダビング元の記録時間と同じ時間かけてダビングします。録画モードを選んでダビングすることができます。

	高速ダビング 画質(録画モード)を変えずにすばやくダビング!	**録画モード(XP ~ EP、FR)を選んでダビング (1 倍速でダビング)** ディスクに記録する時間・画質を調整できます!
ダビングにかかる時間	下記「高速でのダビング所要時間のめやす」	ダビング元の記録時間と同じ時間 ※1
画質	ダビング元の画質	変更できる※2
チャプター / サムネイル変更の保持	できる ※3	できない (1 番組が1チャプターとして記録され、サムネイルは先頭の位置になります)
ダビング中の他の操作	HDD、VHS での再生または録画ができる※4	VHS での再生または録画ができる※4 ※5
CM をとばす	できない	できる※6

※1 DVD-R DLにダビングするときは、ダビング元の記録時間より長くかかります。
※2 ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。(劣化防止にはなります)
※3 +Rは約100チャプターまで保持されます。また、プレイリストをDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)や+Rにダビングする場合、サムネイルの変更位置が反映されないことがあります。
※4 ファイナライズを含むダビング中、SD カードの MPEG2 動画をダビング中はできません。
※5 HDDからDVD-R DLへのダビング中はできません。

※6 **自動CM早送り**
音声が右記の場合のみ働きます。

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	スキップ	再生

・5分以上のCMやプレイリスト内のCMには働きません。
・番組内容をCMとまちがえて消してしまう場合があります。デジタル放送などの移動される番組(**➜右ページ**)では、元に戻すことができません。CMを「部分消去」(**➜55**)で消してから、「切」(**➜88手順6**)でダビングすることをおすすめします。

録画モード FR でのダビング
ダビング先のディスク残量をすべて使い切るように画質を自動で調節して記録します。ただし、何番組かをまとめてダビングする場合、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。

高速ダビングについて

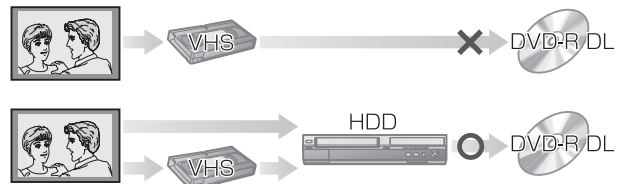
高速でのダビング所要時間のめやす(最高速時)
(管理情報の書き込み時間を除く)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応 DVD-RAM	8X高速記録対応 DVD-R	2X高速記録対応 DVD-R DL (片面2層)	4X高速記録対応 DVD-RW	8X高速記録対応 +R
XP	1時間	約12分	約8.7分	約30分	約15分	約8.7分
SP	1時間	約6分	約3.8分	約15分	約7.5分	約3.8分
LP	1時間	約3分	約1.9分	約7.5分	約3.8分	約1.9分
EP(6H)	1時間	約2分	約1.3分	約5分	約2.5分	約1.3分
EP(8H)	1時間	約1.5分	約56秒	約3.75分	約1.9分	約56秒

●**ディスクの状態によっては、記録品質を優先するため、速度を落としてダビングすることがあります。**
●ダビング中にHDDの録画や再生をすると、最高速にならないことがあります。

DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへの高速ダビングについて
下記の場合は高速モードではダビングできません。
・**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」にして、HDDに録画した番組
・録画モードが異なる番組から作ったプレイリスト
・録画モードがFRの複数の番組から作ったプレイリスト
・音声が混在するプレイリスト(Dolby DigitalとLPCMなど)
・部分消去を繰り返した番組
・SD カードの MPEG2 動画を HDD にダビングした番組

DVD-R DL(片面2層)へダビングするとき

DVD-R DLへのダビングは、HDDからのダビングのみ可能です。VHSに録画した番組をDVD-R DLにダビングしたいときは、まずHDDにダビングし、HDDからDVD-R DLへのダビングを行ってください。(HDDへは、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしてダビングすることをおすすめします)

DVD-R DLに高速モード以外でダビングする場合、1倍速で番組をHDDに一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製したHDDの番組は消去されます。また、以下の場合DVD-R DLにダビングすることができなくなります。
●HDD の残量が少ない場合 (ディスクいっぱいにダビングする場合、HDDの残量が 8.5 GB 以上必要になります)
●HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500 を超える場合

２層にまたがって記録された番組は、再生時に層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。(**➜40**)

DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+Rにダビングするとき

DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rを他の機器で再生するには、ダビング後ファイナライズが必要です。(**➜66**)本機では、これらのディスクにダビングするときに、ファイナライズを自動的に行うように設定することができます。(おまかせ/ワンタッチ / マニュアルダビング時)

■ファイナライズを含んだダビングをするときは

「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」は選べません。背景の色や再生方法を設定したい場合は、ダビングする前にDVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(**➜66**)

デジタル放送のダビングについて

デジタル放送には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。HDDに録画したデジタル放送の番組をダビングするにはCPRMに対応したDVD-RAMまたはDVD-R※ が必要です。

※VR方式にフォーマットする必要があります。(➜ 右記)

DVD-R へダビングする前に

本機ではDVD-Rをフォーマットせずに使用した場合、DVD-Video方式で記録されます。VR方式で記録したい場合は、フォーマットを行ってください。(**➜65“ディスクやカードを初期化する”**)

※CPRM対応ディスクのみ

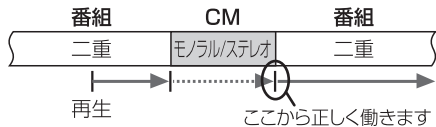
二重放送の番組を以下のようにダビングするとき

- **DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするとき(16:9映像は4:3映像で記録されます)**
- **初期設定「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜71)を「LPCM」にし、XPモードで、1倍速でダビングするとき**

➡ ダビング先には、主、副音声のどちらか一方しか記録されません。ダビング前に記録する音声を選んでください。※
初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」または「副音声」を選ぶ(➜71)

※次のようなときはダビング時に記録する音声を選ぶことはできません。そのままでダビングすると、主、副両音声が記録され、再生時、音声が混ざって聞こえます。「その他のダビング」の方法でダビングしてください。(**➜94**)
・本機、または当社の自動CM早送り機能付きビデオで録画していないカセットをダビングするとき
・他のビデオや各種チューナーなどの外部機器から録画された番組をダビングするとき

二重放送の番組の途中からダビングを始めた場合

- 二重放送の番組の途中からダビングを始めたときは、その二重放送の間は正しく働きません。CMがモノラル放送またはステレオ放送で、次に音声が二重放送に切り換わったときに正しく働きます。

ダビングを実行中にダビングを中止すると

■高速モードでダビング中のとき

ワンタッチダビングでは、番組はまったくダビングされません。ワンタッチダビング以外のダビングでは、ダビングが完了した番組までをダビングします。

■ 1倍速でダビング中のとき

中止したところまでダビングされます。
ただし「1回だけ録画可能」の番組をHDDからDVDへダビングする場合、ダビングが完了した番組までをディスクに移動し、中止した番組は移動せずにHDDに残ります。

- DVD-R DLへのダビングの場合は、中止した番組はダビングされません。

DVD-R、DVD-R DL、+Rは、番組がダビングされなくてもディスクに書き込まれた分の残量が減少します。また、ファイナライズを含んだダビングの場合、ファイナライズ中は中止できません。

S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングするとき

ワンタッチ/マニュアル/その他のダビングを始める前に、初期設定「S-VHSダビング設定」(➜70)で「S-VHS再生」を選ぶ

「S-VHS再生」でダビング実行中

- S-VHSビデオと同じ方式で再生し、ダビングします。
  Y(輝度信号)の帯域が広いままダビングできるので、S-VHS本来の高画質を再現できます。
- 録画されたテープの状態によっては、充分な画質が得られない場合があります。このときは、「SQPB」を選んでください。ただしS-VHS本来の高画質にはなりません。
- 工場出荷時は、「S-VHS再生」にしていますので、通常はこのままお使いください。

頭出し信号の書き込み / 番組分割について

■頭出し信号の書き込み

HDD/DVDからVHSへのダビング時には、1つの番組ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます。カセットへのダビング後は、**[スキップ |◀◀][スキップ ▶▶|]**を使って番組を探すことができます。HDD/DVDからVHSへの頭出し信号の書き込みは、以下のダビング時に可能になります。

- ワンタッチダビング
- マニュアルダビング

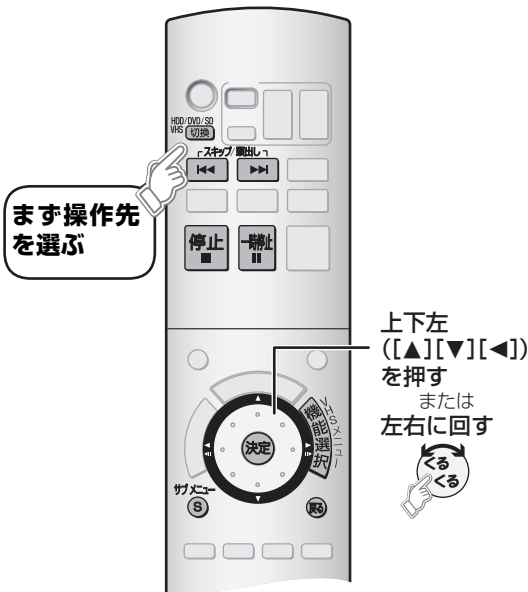
■番組の分割

VHSからHDD/DVDへのダビング時は、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して録画します。HDD/DVDへのダビング後は、再生ナビ番組一覧(**➜41**)を使って、番組を探すことができます。HDD/DVDからVHSへの頭出し信号の書き込みは、以下のダビング時に可能になります。

- ワンタッチダビング
- マニュアルダビングで「時間設定」が「切」のとき

お知らせ

- 約15分(5倍モード時は約25分)以内の録画番組の場合は、正しく分割されない場合があります。
- 頭出し信号の数によっては、録画される時間が実際よりも多少長くなる場合があります。
- 分割動作をする際、テープの巻き戻し画面になる場合があります。
- **番組分割しないでダビングしたいときは、以下の方法でダビングしてください。**
  ・マニュアルダビングで「時間設定」を「入」にする※(**➜90**)
  (ただし HDD RAM -R(VR) へダビングすると、番組は分割されませんが、チャプターが作成されます)
  ・その他のダビング(**➜94**)

おまかせダビング

はじめに

音声ガイドに従って、HDDに録画された複数の番組を組み合わせて、ディスクにダビングすることができます。
DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングする場合、自動的にファイナライズ(➜104)を行います。ファイナライズをすると再生専用ディスクとなり、他のDVD機器でも再生できるようになります。ただし、あとから記録や編集をすることができなくなります。
ダビング後も記録や編集をしたい場合は、「ワンタッチダビング」または「マニュアルダビング」を行ってください。
- おまかせダビングでは、処理が終了するまで HDD、DVD 間で操作先を切り換えることはできません。

- **デジタル放送の番組は、CPRM対応のDVD-RAM、DVD-R(VR 方式) に移動のみできます。CPRM非対応のDVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、+Rにはダビングできません。(➜13)**

ダビング時の速度と録画モードについて
おまかせダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。

HDD ➜ RAM -R(VR) :高速
HDD ➜ -R(V) -R DL -RW(V) +R :下表参照

高速ダビング用録画(➜70)		
「入」で録画した番組のみの場合	「切」で録画した番組のみの場合	「入」と「切」で録画した番組を含んでいる場合
高速	1倍速 (録画モードは“FR”でダビングされます)	1倍速 (録画モードは“FR”でダビングされます)

上記のモードでダビング先のディスク容量を超える場合は、“FR”になります。

HDDに録画した複数の番組を組み合わせてダビングする

この方法では、以下のダビング方向が選べます：

■ダビング元➜ダビング先

HDD ➜ RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜16)

ダビング先 (DVD):
- 録画可能なディスクを入れる。(➜21)
  (フォーマット確認画面が表示されたとき ➜25)
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。
- 二重放送の番組をダビングする場合、下記のときは、音声の設定が必要です。(➜15,77“二重放送の番組を以下のようにダビングするとき”)
  - DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R にダビングするとき
  - **初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜71)を「LPCM」にし、XPモードでダビングするとき

1 停止中に、[機能選択] を押す

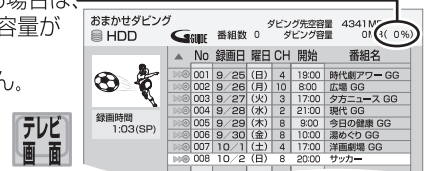
- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「おまかせダビング」を選び、(決定)を押す

- おまかせダビング設定画面が表示されます。

3 [▲][▼]でダビングしたい番組を選ぶ

「100%」を超える場合は、ダビング先の空き容量が足りないためダビングできません。

テレビ画面

☞おまかせダビングの画面表示と便利な機能(➜右ページ)

4 (決定)を押す

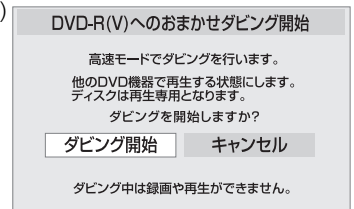
- 確認画面が表示されます。

5

-R(V) -R DL -RW(V) +R
ダビングを開始すると自動的にファイナライズも行われ、ディスクは再生専用となります。あとから記録や編集をすることはできなくなります。

[◀]で「ダビング開始」を選び、(決定)を押す

- ダビングが開始されます。

例)DVD-R(DVD-Video方式)

おまかせダビングの画面表示と便利な機能

リストの表示について

: DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW (DVD-Video方式)、+Rに高速でダビングできるもの(➔76)

: 本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組 (➔13,77“デジタル放送のダビングについて”)

ダビング容量:ダビング先に記録される容量

- 管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より若干大きくなります。

■前後のページを表示する

➡ [|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

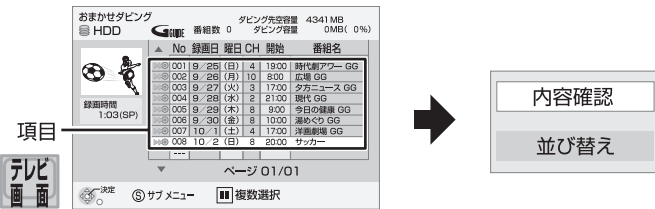
■複数の番組をまとめて登録する

➡ [▲][▼]で選び、[一時停止▮▮]を押す操作を繰り返す(複数選択)

- ☑が表示されます。もう一度[一時停止▮▮]を押すと解除されます。
- 複数の番組を登録すると、登録した順ではなく、画面の上から順にダビングされます。お好みの順にダビングしたい場合は、マニュアルダビングしてください。(➔86)

■番組の内容を確認する / 並び替えをする

➡ **1** [▲][▼]で番組を選び、[サブ メニュー]を押す

- サブメニュー画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「内容確認」または「並び替え」を選び、[決定]を押す

内容確認: 選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどが表示されます。

並び替え: 番組の表示順を変更します。
表示順は No・録画日・曜日・CH・開始時刻・番組名が選べます。(☑が付いている場合はできません)
表示順は、おまかせダビングの画面を消すと、取り消されます。

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■ダビングを途中でやめる➡ (戻る) を3秒以上押す

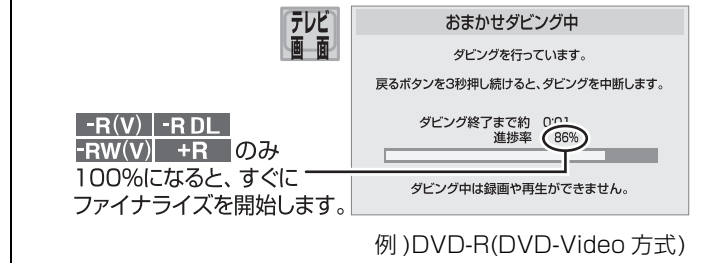
- -R(V) -R DL -RW(V) +R ファイナライズ中は中止できません。

■音声ガイドをやめる

➡ 初期設定「音声ガイド出力」を「切」にする(➔69)

ダビング実行中にできること

- ダビングの中止(➔下記)(下記の画面表示中のみ、ダビングを中止できます。ファイナライズは中止できません)

例)DVD-R(DVD-Video 方式)

お知らせ

- ダビング中は、録画や再生はできません。
- 5×高速記録対応のDVD-RAMまたは8×高速対応のDVD-R、+Rに高速モードでダビングする場合、本機内部の動作音が大きくなります。
- 録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。(ただし、ファイナライズを含むダビング中は実行されません)
- 「自動CM早送り」(➔76)はできません。
- 「1回だけ録画可能」の番組は、プロテクト(➔55)が設定されていると移動できません。
- -R(V) -R DL -RW(V) +R ダビング中(上記の画面表示中)にダビングを途中でやめた場合は、ファイナライズも実行されません。
- ダビング中に操作先を「VHS」に切り換えても、ダビング(およびファイナライズ)が終了するまでVHS側の映像を見ることはできません。([停止■]を押して、ダビング前からVHS側で実行していた録画をやめることはできます)

ワンタッチダビング

■ふたをひらいたところ

はじめに

再生中の番組またはプレイリストを1つだけ自動的にダビングします。再生位置にかかわらず、再生中の番組やプレイリストの先頭からダビングされます。
- 8時間を超えるプレイリストはダビングできません。

- **デジタル放送の番組をディスクにダビングするときは、ワンタッチダビングできません。おまかせダビング、またはマニュアルダビングしてください。**
- **デジタル放送の番組をカセットにダビングすると、そのカセットから再度、HDDやDVDにダビングするとき、デジタル放送の番組の部分はダビングされません。(➜13)**

ダビング時の速度と録画モードについて

ワンタッチダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。

HDD ➡ RAM -R(VR) :高速
HDD ➡ -R(V) -R DL -RW(V) +R :下表参照

高速ダビング用録画(➜70)	
「入」で録画	「切」で録画
高速	元と同じモード [XP〜EP、FR] (プレイリストは“FR”でダビングされます)

DVDへのダビングの場合、上記のモードでダビング先のディスク容量を超える場合は、“FR”になります。

HDD ➡ VHS :1 倍速のみ
(録画モードはダビング前にVHSで選んでいたモードになります)

HDDに録画した番組をダビングする

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

■ダビング元➡ダビング先

HDD ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
HDD ➡ VHS
(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)

ダビング先 (DVDまたはVHS):
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜21)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜25)
- VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。(➜21)
- 十分な残量があることを確認しておく。
- -R(V) -R DL -RW(V) +R
HDD側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。(詳しくは➜15,77“二重放送の番組を以下のようにダビングするとき”)
- VHS 録画モードを選んでおく。(➜23)

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して「HDD」を選ぶ**(➜16)

2 ダビングしたい番組を再生する、またはプレイリストを再生する(➜41,60)

再生 ▶ を押す

- [一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

3 本体表示窓の“START”が点滅し終わるまで、

HDD を約3秒以上押し続ける

- ダビング方向に合った矢印(▶)の部分を押してください。(➜ 右ページ)
- 本体の[ダビング]ランプが点灯します。

4 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

- HDDの再生が終わるか、またはダビング先の残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

☞**ファイナライズ確認画面が表示されたとき(➜ 右ページ)**

■ダビング中にHDDの再生や録画をする
(高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ)

➡ 決定 を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする

- [画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
- ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。

■DVD へのダビングを途中でやめる➡ 戻る を 3 秒以上押す

- 高速モード以外でダビングしているときは、[停止■]を押してもダビングをやめることができます。
- -R(V) -R DL -RW(V) +R ファイナライズ中は中止できません。

■VHS へのダビングを途中でやめる➡ を押す

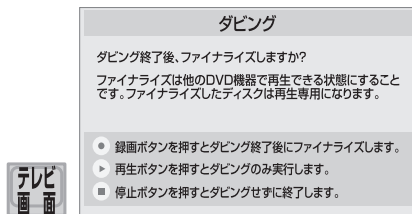
ワンタッチダビングボタンとダビング方向について

◆DVD へダビングするとき

（例： dub（ダビング）が約38％まで終了※）

※1倍速でダビングしている場合は、残りのダビング時間が表示されます。

◆VHS へダビングするとき

ファイナライズ確認画面が表示されたとき

-R(V) -R DL -RW(V) +R にダビングするときに表示されます。

ダビング

ダビング終了後、ファイナライズしますか?

ファイナライズは他のDVD機器で再生できる状態にすることです。ファイナライズしたディスクは再生専用になります。

- 録画ボタンを押すとダビング終了後にファイナライズします。
- 再生ボタンを押すとダビングのみ実行します。
- 停止ボタンを押すとダビングせずに終了します。

テレビ画面

➡ **ダビングとファイナライズを続けて実行するか、またはダビングのみ実行するかを選ぶ**

ダビングとファイナライズを実行する：[録画●]を押す

- ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜104)を行います。ファイナライズをすると再生専用ディスクとなり、他のDVD 機器でも再生できるようになります。ただし、あとから録画や編集はできなくなります。
- ダビングとファイナライズの実行中は、HDD、VHSの再生や録画はできません。

ダビングのみ実行する：[再生 ▶]を押す

- ダビング後のディスクを編集したいときなどに選んでください。
- ダビング終了後にディスクを他の機器で再生するには、DVD管理でファイナライズを行ってください。
(➜66“他の機器で再生できるようにする”)

ダビングせずに終了する：[停止 ■]を押す

- 画面が消え、ダビングせずに操作を終了します。

ダビング中に自動的に行われること

HDD側のオンスクリーン表示(➜71)	切
テレビへの出力	HDD または VHS から
HDD再生時の音声出力	ステレオ(L R)
頭出し信号の書き込み(➜77)	HDD から VHS へのダビング時

ダビング実行中にできること

	ダビング方向		
	HDD→DVD		HDD→VHS
	高速	1倍速	
ダビングの中止(➜左ページ)	○	○	○
HDDの再生･録画(➜左ページ)	○※1	×	×
VHSの再生･録画※2(➜24,48)	○※1	○※1※3	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※2※4	—		○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※2(➜51)	—		○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※2(➜51)	—		×

※1 -R(V) -R DL -RW(V) +R ファイナライズ確認画面で、ダビングとファイナライズを実行するように設定した場合はできません。

※2 操作先が「VHS」のとき。

※3 DVD-R DLへのダビング中はできません。

※4 録画には影響ありません。

お知らせ

- ダビングが開始･実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- 録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。(ただし、ファイナライズを含むダビング中は実行されません)
- VHS側が予約録画の待機中は、カセットにダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜37)
- 「自動CM早送り」(➜76)はできません。
- デジタル放送の番組や、デジタル放送の番組から作ったプレイリストはディスクにダビングできません。(➜13)
- 5×高速記録対応のDVD-RAMまたは8×高速対応のDVD-R、+Rに高速モードでダビングする場合、お買い上げ時は「最高速モード」でダビングされます。「静音モード」でダビングしたい場合は、マニュアルダビングの手順7(➜88)で「DVDドライブ速度」を切り換えてください。
- -R(V) -R DL -RW(V) +R ファイナライズ確認画面でダビングとファイナライズを実行するように設定していても、ダビングを途中でやめた場合はファイナライズも実行されません。
- HDD、DVD間でのファイナライズを含むダビングまたはDVD-R DLへのダビング中に操作先を「VHS」に切り換えても、ダビング(およびファイナライズ) が終了するまでVHS側の映像を見ることはできません。([停止■]を押して、ダビング前からVHS側で実行していた録画をやめることはできます)

はじめに

カセットに録画された番組をワンタッチ操作でダビングすることができます。
ダビング開始時のテープの再生位置から自動的にダビングします。

■ VHSからHDDへダビングするとき

HDDへダビングした番組を、あとでHDDからDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングしたい場合は、**初期設定「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。**(お買い上げ時の設定は「入」です)(➜14, 76"DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R への高速ダビングについて")

■S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングする(➜77)

- コピー禁止処理がされているビデオソフトはダビングすることはできません。多くのビデオソフトは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、ダビングできないようになっています。
- デジタル放送の番組がダビングされたカセットをHDDやDVDにダビングするとき、デジタル放送の番組の部分はダビングされません。(➜13)

VHS に録画した番組をダビングする

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

■ダビング元➡ダビング先

VHS ➡ HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R
(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)

ダビング先 (HDD または DVD):
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜21)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜25)
- 十分な残量があることを確認しておく。
- 録画モードを選んでおく。(➜23)
- -R(V) -RW(V) +R VHS側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。
  (詳しくは➜15, 77"二重放送の番組を以下のようにダビングするとき")

ダビング元 :(VHS)
- ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

1 ダビング元(VHS)・ダビング先(HDDまたはDVD)ともに停止状態で、本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、

を約3秒以上押し続ける

- ダビング方向に合った矢印(▶)の部分を押してください。(➜ 右ページ)
- 本体の[ダビング]ランプが点灯します。

2 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

- テープの終端になるか、またはダビング先の残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

ファイナライズ確認画面が表示されたとき
(➜ 右ページ)

■ダビングを途中でやめる➡ [停止■] を押す

- [戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。
- -R(V) -R DL -RW(V) +R ファイナライズ中は中止できません。

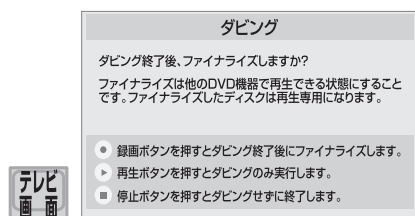
ワンタッチダビングボタンとダビング方向について

◆HDD へダビングするとき

◆DVD へダビングするとき

※ダビングが始まると、操作先が自動的にHDDに切り換わるため、HDD の動作状態が表示されます。DVD の録画経過時間は表示されません。

ファイナライズ確認画面が表示されたとき

-R(V) -RW(V) +R にダビングするときに表示されます。

ダビング

ダビング終了後、ファイナライズしますか?

ファイナライズは他のDVD機器で再生できる状態にすることです。ファイナライズしたディスクは再生専用になります。

- 録画ボタンを押すとダビング終了後にファイナライズします。
- 再生ボタンを押すとダビングのみ実行します。
- 停止ボタンを押すとダビングせずに終了します。

テレビ画面

➡ **ダビングとファイナライズを続けて実行するか、またはダビングのみ実行するかを選ぶ**

ダビングとファイナライズを実行する：[録画●]を押す

- ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜104)を行います。ファイナライズをすると再生専用ディスクとなり、他のDVD機器でも再生できるようになります。ただし、あとから録画や編集はできなくなります。
- ダビングとファイナライズの実行中は、HDDの再生はできません。

ダビングのみ実行する：[再生 ▶]を押す

- ダビング後のディスクを編集したいときなどに選んでください。
- ダビング終了後にディスクを他の機器で再生するには、DVD管理でファイナライズを行ってください。
(➜66"他の機器で再生できるようにする")

ダビングせずに終了する：[停止■]を押す

- 画面が消え、ダビングせずに操作を終了します。

ダビング中に自動的に行われること

VHS側のオンスクリーン表示(➜72)	切
HDD 側の録画チャンネル表示(➜94)	"TP" (HDD へのダビング時)
ダビング開始直後の操作先	「HDD」
番組分割(➜77)	VHS から HDD･DVD へのダビング時

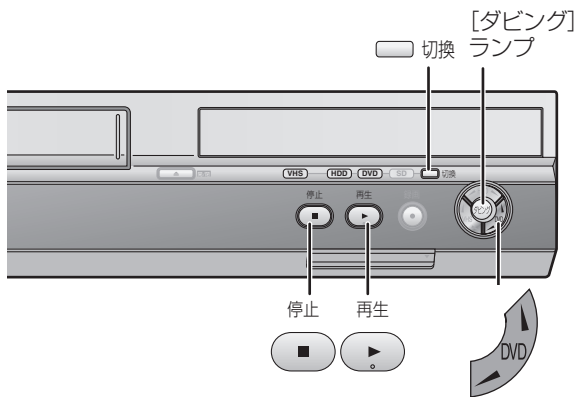
ダビング実行中にできること

	ダビング方向	
	VHS→HDD	VHS→DVD
ダビングの中止(➜左ページ)	○	○
HDDの再生※1(➜40)	○	○※2
[音声]によるVHS音声の切り換え※3※4	○	○
[リセット / 消去]によるVHSテープカウンターリセット※3(➜51)	○	○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※3(➜51)	○	○

※1 編集はできません。
※2 -R(V) -R DL -RW(V) +R ファイナライズ確認画面で、ダビングとファイナライズを実行するように設定した場合はできません。
※3 操作先が「VHS」のとき。
※4 切り換えた音声で記録されます。音声の種類は、[音声] を押したときに本体表示窓で確認できます。

お知らせ

- ダビングが開始･実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- VHS側が予約録画の待機中は、ダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜37)
- コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- カセットに5倍モード(➜23)で録画された部分では、HDDやディスクにダビングするとノイズが入る場合があります。
- -R(V) -R DL -RW(V) +R ファイナライズ確認画面でダビングとファイナライズを実行するように設定していても、ダビングを途中でやめた場合はファイナライズも実行されません。

■ふたをひらいたところ

はじめに

DVDに録画された番組やプレイリストをHDDまたはカセットにワンタッチ操作でダビングすることができます。

- ●8時間を超えるプレイリストはダビングできません。(複数のプレイリストをダビングする場合、8時間を超えたプレイリストはとばしてダビングされます)

- ●**ファイナライズ(➜66,104)されていないDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rを HDD へダビングすることはできません。**
- ●**デジタル放送などの1回だけ録画可能な番組やプレイリストは HDD へダビングできません。(➜13)**
- ●**デジタル放送の番組をカセットへダビングすると、そのカセットから再度、HDDやDVDにダビングするとき、デジタル放送の番組の部分はダビングされません。(➜13)**
- ●**コピー禁止処理がされているディスクはダビングすることはできません。多くのディスクは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、録画・録音できないようになっています。**

ダビング時の速度と録画モードについて

ワンタッチダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。

RAM -R(VR) -RW(VR) ➜ HDD :高速
DVDへのダビングの場合、上記のモードでダビング先のディスク容量を超える場合は、“FR”になります。

RAM -R(V) -R(VR) -RW(V) +R -RW(VR) ➜ VHS :
1 倍速のみ (録画モードはダビング前にＶＨＳで選んでいたモードになります)

DVD に録画した番組をダビングする

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

■ダビング元➜ダビング先

RAM -R(VR) -RW(VR) ➜ HDD
RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR) ➜ VHS

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜19)

ダビング先 (HDD または VHS):
- ●VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。(➜21)
- ●十分な残量があることを確認しておく。
- ●VHSにダビングするときは、録画モードを選んでおく。(➜23)

ダビング元 (DVD):
- ●ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。

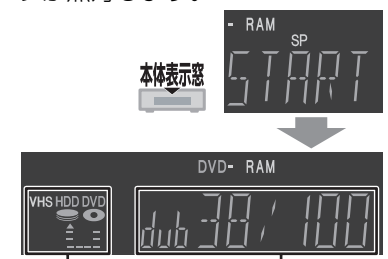
DVD から HDD へダビングする

1枚のディスクに録画されている番組全部、またはプレイリスト全部を HDD に自動的にダビングします。

1 プレイリストをダビングする場合のみ
プレイリストを再生する(➜60)
- ●[一時停止❚❚] を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。
- ●再生位置にかかわらず、先頭のプレイリストから最後のプレイリストまですべてダビングされます。

2 本体表示窓の“START”が点滅し終わるまで、

を約3秒以上押し続ける

- ●ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
- ●本体の[ダビング]ランプが点灯します。

ダビング方向　ダビング進行状況(例: dub (ダビング)が約38%まで終了)

3 **本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。**
- ●ディスクの再生が終わると、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■**ダビングを途中でやめる➜ 戻る を 3 秒以上押す**

DVD から VHS へダビングする

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して「DVD」を選ぶ**(➜16)

2

■1 枚のディスクに録画されている番組全部をダビングするとき

➡**DVDが停止状態であることを確認する**

●本体表示窓でDVD側の"再生"が点滅しているときは、続き再生メモリー機能が働いています。
このときは、[停止■]を押して解除してください。(➜41)

■選んだ番組の先頭からディスクの最後までをダビングするとき

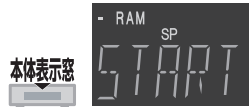
■選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをダビングするとき RAM -R(VR) -RW(VR)

➡ 再生▶ **を押してダビングしたい番組を再生する、またはプレイリストを再生する**(➜40,60)

●[一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

3 本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、

を約3秒以上押し続ける

●ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。

ダビング方向

4 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

●ディスクの再生が終わるか、またはテープの終端になったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■ダビングを途中でやめる➡ 停止■ を押す

●[戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

■ダビング中にHDDの再生や録画をする
(高速でのダビング時のみ)

➡ 決定 を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする

●[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
●ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。

ダビング中に自動的に行われること	
DVD側のオンスクリーン表示(➜71)	切
テレビへの出力	HDD または VHS から
VHS側の録画チャンネル表示	"DC" (VHS へのダビング時)
DVD再生時の音声出力	ステレオ(L R)
頭出し信号の書き込み(➜77)	DVD から VHS へのダビング時

ダビング実行中にできること

	ダビング方向	
	DVD→HDD	DVD→VHS
ダビングの中止(➜左ページ,左記)	○	○
HDDの再生・録画(➜上記)	○	×
VHSの再生・録画※1(➜24,48)	○	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※1 ※2	—	○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※1(➜51)	—	○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※1(➜51)	—	×

※1 操作先が「VHS」のとき。
※2 録画には影響ありません。

○○お知らせ○○

●ダビングが開始・実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
●「自動CM早送り」(➜76)はできません。

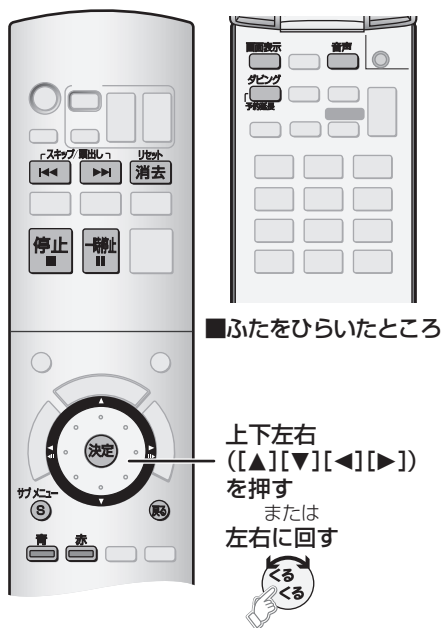
RAM -R(VR) -RW(VR) ➡ HDD

●録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。

RAM -R(V) -R(VR) -RW(V) +R -RW(VR) ➡ VHS

●本体表示窓でDVD側の"再生"が点滅しているときは、続き再生メモリー機能(➜41)によって、ディスクの再生開始位置が記憶されています。このときにダビングを開始すると、再生開始位置が含まれる番組の先頭からディスクの最後までのダビングが実行されます。
●VHS側が予約録画の待機中は、ダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜37)
●コピー禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。

マニュアルダビング

■ふたをひらいたところ

- ●デジタル放送の番組をカセットにダビングすると、そのカセットから再度、HDDやDVDにダビングするとき、デジタル放送の番組の部分はダビングされません。(➜13)
- ●デジタル放送の番組をディスクにダビングするときは、CPRM対応のDVD-RAM、DVD-R(VR方式)に移動のみできます。CPRM非対応のDVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+Rにはダビングできません。(➜13)

ダビング中に自動的に行われること	
HDD/DVD側のオンスクリーン表示(➜71)	切(VHSへのダビング時)
頭出し信号の書き込み(➜77)	VHSへのダビング時

ダビング実行中にできること

	ダビング方向		
	HDD→DVD DVD→HDD		HDD→VHS DVD→VHS
	高速	1倍速	
ダビングの中止(➜89)	○	○	○
HDDの再生・録画(➜89)	○※1	×	×
VHSの再生・録画※2(➜24,48)	○※1	○※1※3	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※2※4	—		○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※2(➜51)	—		○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※2(➜51)	—		×

※1 -R(V) -R DL -RW(V) +R ファイナライズ確認画面で、「ダビングとファイナライズ」を選んだ場合はできません。
※2 操作先が「VHS」のとき。
※3 DVD-R DLへのダビング中はできません。
※4 録画には影響ありません。

◇◇ HDD/DVDに録画した複数の番組やプレイリストを組み合わせてダビングする ◇◇

はじめに

HDDまたはDVDに録画された複数の番組やプレイリストを組み合わせて、ダビングすることができます。

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

■ダビング元➜ダビング先

HDD ➜ RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
HDD ➜ VHS
RAM -R(VR) -RW(VR) ➜ HDD VHS
(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません)

準備
- ●テレビに本機の画面を出す。(➜19)

ダビング先:
- ●DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜21)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜25)
- ●VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- ●十分な残量があることを確認しておく。
- ●二重放送の番組をダビングする場合、下記のときは、音声の設定が必要です。(詳しくは➜15,77"二重放送の番組を以下のようにダビングするとき")
  - ・DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするとき
  - ・**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜71)を「LPCM」にし、XPモードでダビングするとき

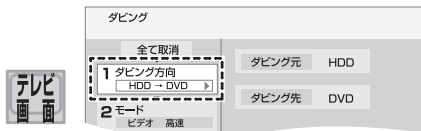
ダビング元:
- ●DVDの映像をダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。

画面表示の例)ダビング元に「HDD」、ダビング先に「DVD」を選んだとき

1 停止中に、[ダビング/予約延長] を押す

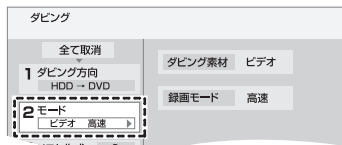
●ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

●ダビング元とダビング先を設定します。
●設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順*3*または *4* に進んでください。

◆設定を変更する

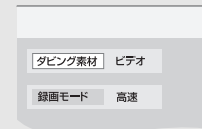
1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」または「DVD」を選び、[決定]を押す
3 [▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」、「DVD」または「VHS」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

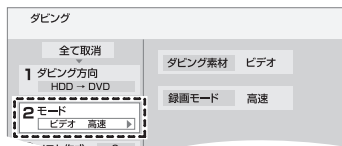
●ダビング元とダビング先に同じ操作先を選ばないでください。

3 ダビング先に「HDD」または「DVD」を選んだときのみ ダビング素材を選ぶ

●設定を変更しないときは、手順*4*に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング素材」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で「ビデオ」を選び、[決定]を押す
●続けて録画モードを設定するときは(➜ 下記手順3へ)

4 [◀]を押す
5 [▼]を押す(➜88 手順*5*へ)

●ダビング先に「VHS」を選んだときは、ダビング素材は自動的に「ビデオ」になり、変更はできません。
●「写真」を選んだとき、またはダビング先に「SD」を選んだときは、写真のダビングになります。(➜97手順*3*へ)

4 録画モードを選ぶ

●設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順*5*に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 [▼]で「録画モード」を選び、[決定]を押す
3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。
●録画モードについて(➜23)

ダビング先「DVD」

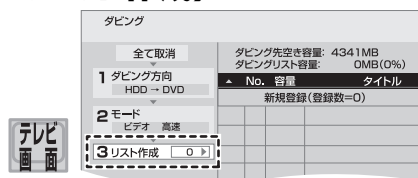
ダビング先「VHS」

次ページへつづく

お知らせ

●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「VHS」を設定したあとにディスクトレイの開閉をすると、ダビング先が「HDD」になります。再度ダビング先を設定してください。
●録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。(ただし、ファイナライズを含むダビング中は実行されません)
●「1回だけ録画可能」の番組は、プロテクト(➜55)が設定されているとディスクへ移動できません。
●「1回だけ録画可能」の番組から作ったプレイリストはディスクへダビングできません。
●移動される番組を登録したダビングリストには、プレイリストは登録できません。
●VHS側が予約録画の待機中は、カセットにダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜37)
●コピー禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
●HDD、DVD間でのファイナライズを含むダビングまたはDVD-R DLへのダビング中に操作先を「VHS」に切り換えても、ダビング(およびファイナライズ)が終了するまでVHS側の映像を見ることはできません。([停止■]を押して、ダビング前からVHS側で実行していた録画をやめることはできます)
●当社製DVD-RAM対応デジタルビデオカメラ(DVDデジカム)で撮影した映像をDVD-RAMからHDDにダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。

5 ダビングする番組やプレイリストを登録する（ダビングリスト作成）

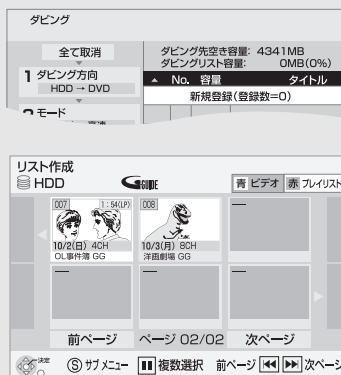
テレビ画面

●登録済みのリストをそのままダビングするときは、[▼]を押して、手順*6*または*7*に進んでください。

◆リストを作成する

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、[決定]を押す

3 [青](ビデオ)または[赤](プレイリスト)を押す

●番組を登録するときは「ビデオ」を選び、プレイリストを登録するときは「プレイリスト」を選びます。

4 [▲][▼][◀][▶]でダビングする番組やプレイリストを選び、[決定]を押す

●DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングする場合は、表示のあるもののみ登録できます。

●手順**2**～**4**を繰り返すと、複数の番組やプレイリストをダビングリストに登録できます。

複数の番組やプレイリストをまとめて登録するには

[▲][▼][◀][▶]で番組やプレイリストを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す（複数選択）

● ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

●ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。

●ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑ が消えます。

ダビングリストの便利な機能（➜右ページ）

5 [◀]を押す

●[◀]を押す前に、“ダビングリスト容量”が“ダビング先空き容量”よりも小さいことを確認してください。

6 [▼]を押す

●ダビングリスト作成後

ダビング先が DVD のときの例

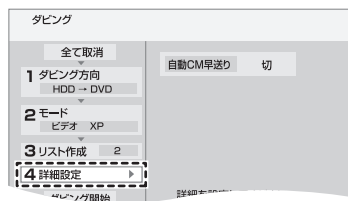
「100%」を超える場合は、ダビング先の空き容量が足りないためダビングできません。

登録された番組

ダビング先が VHS のときの例

「100%」を超える場合は、ダビング先の残量が足りないため、番組の最後までダビングすることはできません。

登録された番組

6 ダビング素材に「ビデオ」を選び、録画モードを「高速」以外に設定（➜87手順*3*～*4*）したときのみ 自動CM早送り（➜76）の切/入を選ぶ

●設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順*7*に進んでください。

◆設定を変更する

1 「詳細設定」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「自動CM早送り」が選ばれている状態で、[決定]を押す

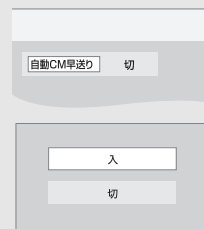
3 [▲][▼]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す

4 [◀]を押す

5 [▼]を押す

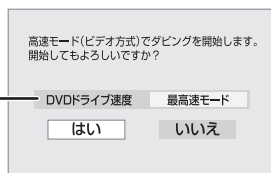
自動CM早送り　切

入

切

●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、「自動CM早送り」はできません。

7 「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す

●確認画面が表示されます。

DVDドライブ速度（➜右記）
（5×高速記録対応のDVD-RAMまたは8×高速対応のDVD-R、+Rに高速モードでダビングする場合のみ）

例）8×高速対応のDVD-Rに高速モードでダビング

◆「DVDドライブ速度」を切り換える

➜ **1** [◀][▶]で「最高速モード」または「静音モード」を選ぶ

●「静音モード」を選ぶと本機内部の動作音が「最高速モード」時より小さくなりますが、ダビングの所要時間は約2倍になります。

2 [▼]を押す

8 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

●ダビングが開始されます。

ファイナライズ確認画面が表示されたとき（➜ 右ページ）

「リスト作成」画面の表示について

- ▶▶◎：DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速でダビングできるもの(➜76)
- ！：静止画を含むもの(静止画部分はダビングされません※)
- ⇨：「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの(➜13,77“デジタル放送のダビングについて”)
- ⊠：本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組(➜13,77“デジタル放送のダビングについて”)

ダビングリスト容量:ダビング先に記録される容量
- 1倍速の場合は、録画モードによって変化します。
- 管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より若干大きくなります。

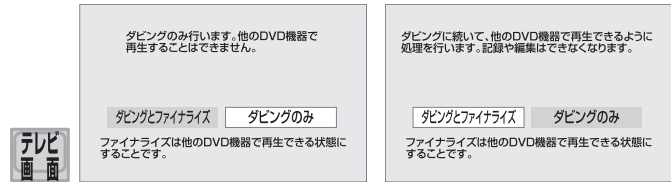
※カセットにダビングする場合は、静止画部分もダビングされます。

ファイナライズ確認画面が表示されたとき

-R(V) -R DL -RW(V) +R にダビングするときに表示されます。

テレビ画面

ダビングのみ行います。他のDVD機器で再生することはできません。
ダビングとファイナライズ　ダビングのみ
ファイナライズは他のDVD機器で再生できる状態にすることです。

ダビングに続いて、他のDVD機器で再生できるように処理を行います。記録や編集はできなくなります。
ダビングとファイナライズ　ダビングのみ
ファイナライズは他のDVD機器で再生できる状態にすることです。

➡ **[◀][▶]で「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、(決定)を押す**

ダビングのみ:ダビングのみを行います。
- ダビング終了後に他の機器で再生するには、DVD管理でファイナライズを行ってください。(➜66“他の機器で再生できるようにする”)

ダビングとファイナライズ:
ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜104)を行います。ファイナライズをすると再生専用ディスクとなり、他のDVD機器でも再生できるようになります。ただし、あとから録画や編集はできなくなります。
- ダビングとファイナライズの実行中は、HDD、VHSの再生や録画はできません。

■ひとつ前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■ダビング中にHDDの再生や録画をする（高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ）

➡ **(決定)を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする**
- [画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
- ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。
- デジタル放送などの「移動」される番組(➜13)を含むダビング中は、プレイリストは再生できません。

■ダビングを途中でやめる➡ (戻る) を3秒以上押す

- -R(V) -R DL -RW(V) +R ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを途中でやめた場合はファイナライズも実行されません。
- -R(V) -R DL -RW(V) +R ファイナライズ中は中止できません。

ダビングリストの便利な機能

■前後のページを表示する

➡ **[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す**
- 「リスト作成」の画面では、[▲][▼][◀][▶]で“前ページ”または“次ページ”を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。(サムネイル時)

■まとめて登録/消去する

➡ **[▲][▼][◀][▶]で選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)**
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
- ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。
- ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。

■「リスト作成」画面で番組の内容を確認する / 並び替えなどをする

➡ **1 [▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[サブ メニュー]を押す**
- サブメニュー画面が表示されます。

2 [▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す

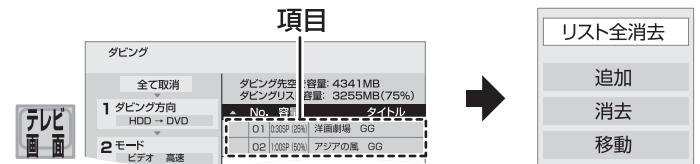
内容確認: 選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどが表示されます。

並び替え: (HDD リスト表示時のみ)番組の表示順を変更します。表示順は No・録画日・曜日・CH・開始時刻・番組名が選べます。(☑が付いている場合はできません)
表示順は、「ダビング」の画面に戻るか、ダビングの画面を消すと、取り消されます。

リスト表示 / サムネイル表示:
ダビングリストの表示方法を変更します。
(プレイリストはサムネイル表示のみ可能)
(☑が付いている場合はできません)

他の画像一覧へ:「ビデオ」または「プレイリスト」一覧画面に切り換えます。

■リストの項目(番組やプレイリストの登録)を消去/追加/移動する

➡ **1 [▲][▼]で編集したい項目を選び、[サブ メニュー]を押す**
- サブメニュー画面が表示されます。

項目

テレビ画面

リスト全消去
追加
消去
移動

2 [▲][▼]で編集したい内容を選び、[決定]を押す

リスト全消去:
リストに登録されている項目をすべて消去します。

追加: 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。「追加」を選んだときは、さらに[▲][▼][◀][▶]で追加する番組やプレイリストを選び、[決定]を押してください。

消去: 選んだ項目を消去します。まとめて消去することもできます。(➜上記)「消去」を選んだときは、さらに[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

移動: 選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。「移動」を選んだときは、さらに[▲][▼]で移動先を選び、[決定]を押してください。

■リストの不要な項目を新しい項目と入れ替えたい場合

➡ **1 [▲][▼]で不要な項目を選び、[決定]を押す**

2 [▲][▼][◀][▶]で新しく登録したい番組やプレイリストを選び、[決定]を押す
- 項目が入れ替わります。

■以前に登録したモードなどの設定・登録されているリストを一度に取り消す

➡ **[▲]で「全て取消」を選び、[決定]を押す**
- 確認画面が表示されます。[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

- 設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。
  - ・ダビング元で番組やプレイリストの消去をした場合
  - ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、ダビング方向を変える、ダビング素材を変えるなどを行った場合

■ふたをひらいたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

くる
くる

- ●コピー禁止処理がされているビデオソフトはダビングすることはできません。多くのビデオソフトは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、ダビングできないようになっています。
- ●デジタル放送の番組がダビングされたカセットをHDDやDVDにダビングするとき、デジタル放送の番組の部分はダビングされません。(➜13)

ダビング実行中にできること

	ダビング方向	
	VHS→HDD	VHS→DVD
ダビングの中止(➜右ページ)	○	○
HDDの再生※1(➜40)	○	○※2
[音声]によるVHS音声の切り換え※3 ※4	○	○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※3(➜51)	○	○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※3(➜51)	○	○

※1 編集はできません。
※2 -R(V) -RW(V) +R ファイナライズ確認画面で、「ダビングとファイナライズ」を選んだ場合はできません。
※3 操作先が「VHS」のとき。
※4 切り換えた音声で記録されます。音声の種類は、[音声]を押したときに本体表示窓で確認できます。

VHSに録画した番組をダビングする

カセットに録画された番組を、設定した時間に合わせてHDDまたはDVDにダビングすることができます。
ダビング開始時のテープの再生位置※からダビングします。

※録画モードを「FR」に設定し、時間設定を「切」にした場合は、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。(詳しくは➜右ページ"録画モード「FR」について")

■VHSからHDDへダビングするとき

HDDへダビングした番組を、あとでHDDからDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングしたい場合は、**初期設定「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。**(お買い上げ時の設定は「入」です)**(➜14,76"DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R への高速ダビングについて")**

■S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングする(➜77)

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

■ダビング元➡ダビング先

VHS ➡ HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜19)

ダビング先:
- ●DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜21)
- ●十分な残量があることを確認しておく。
- ● -R(V) -RW(V) +R VHS側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。(詳しくは➜15,77"二重放送の番組を以下のようにダビングするとき")

ダビング元(VHS):
- ●ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

画面表示の例)ダビング元に「VHS」、ダビング先に「HDD」を選んだとき

1 停止中に、[ダビング 予約延長]を押す

●ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

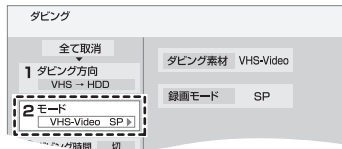
●ダビング元を「VHS」、ダビング先を「HDD」または「DVD」に設定します。

●設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順3に進んでください。

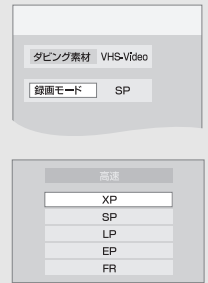
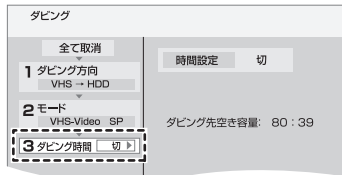
◆**設定を変更する**

1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[▲][▼]で「VHS」を選び、[決定]を押す
3 [▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」または「DVD」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

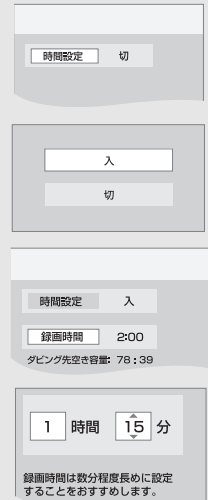
●ダビング元とダビング先に同じ操作先を選ぶことはできません。

3 録画モードを選ぶ

●設定を変更しないときは、[▼] を押して、手順*4*に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶] を押す
2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定] を押す
3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定] を押す
●「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」から選びます。(➔23)
●FRモードについて(➔下記)
4 [◀] を押す
5 [▼] を押す

4 ダビング時間を設定する

●設定を変更しないときは、[▼] を押して、手順*5*に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング時間」が選ばれている状態で、[▶] を押す
2 「時間設定」が選ばれている状態で、[決定] を押す
[▲][▼]で「入」または「切」を選び、[決定] を押す
●「切」に設定したときは、下記手順4に進んでください。
3 [▼]で「録画時間」を選び、[決定] を押す
[◀][▶]で"時間"または"分"を選んで
[▲][▼]で設定し、[決定] を押す
●[1]～[10/0]も使えます。
●25時間を超えて設定することはできません。
4 [◀] を押す
5 [▼] を押す

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、(決定) を押す

●確認画面が表示されます。

6 [◀] で「はい」を選び、(決定) を押す

●ダビングが開始されます。

●テープの終端になるか、HDDまたはディスクの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

☞**ファイナライズ確認画面が表示されたとき(➔89)**

■録画モード「FR」について

上記手順*4*、93ページ手順*4*で「時間設定」を「切」に設定した場合:

●カセットに録画されている部分(未記録部分は録画しません)だけすべてを、ディスクの空き容量を計算してディスクに収まるように、録画モードを自動的に設定します。
●HDDでは、4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
●ダビングを開始すると、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。ディスクの残量が足りなかった場合は、ダビングが中断されます。
●テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して録画します。

上記手順*4*、93ページ手順*4*で「時間設定」を「入」に設定した場合:

●カセットのダビング開始点から設定した録画時間分だけを(未記録部分も録画します)、ディスクの空き容量を計算してディスクに収まるように、録画モードを自動的に設定します。
●HDDでは、設定した録画時間で4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
●番組分割はしません。HDD RAM -R(VR) のみ、チャプターが作成されます。

■ひとつ前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■ダビングを途中でやめる➡ (戻る) を 3 秒以上押す

● -R(V) -RW(V) +R ファイナライズ中は中止できません。

ダビング中に自動的に行われること	
VHS側のオンスクリーン表示(➔72)	切
ダビング開始直後の操作先	「HDD」

お知らせ

●VHS側が予約録画の待機中は、ダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➔37)
●コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
●カセットに5倍モード(➔23)で録画された部分では、HDDやディスクにダビングするとノイズが入る場合があります。
● -R(V) -RW(V) +R ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを途中でやめた場合はファイナライズも実行されません。

ダビング実行中にできること

	ダビング方向	
	DVD→HDD	DVD→VHS
ダビングの中止(➜右ページ)	○	○
HDDの再生・録画(➜89)	○	×
VHSの再生・録画※1(➜24,48)	○	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※1 ※2	—	○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※1(➜51)	—	○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※1(➜51)	—	×

※1 操作先が「VHS」のとき。
※2 録画には影響ありません。

DVDビデオ（ファイナライズ後のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+RWを含む）をダビングする

はじめに

ディスクを再生しながら、再生している内容を録画します。ファイナライズ(➜66,104)されたDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R、+RW※の番組をHDDにダビングすると、番組を再編集できます。
※本機ではファイナライズできません。

- **ダビング中に行った操作や画面表示をそのまま記録します。** ただし、HDDへダビングする場合は、早送り・早戻し、コマ送り・コマ戻し、一時停止をすると、その部分の映像は記録されません。
- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングすることはできません。**
- **DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDなどはダビングできません。**

この方法では、以下のダビング方向が選べます：

■ダビング元➡ダビング先

DVD-V ➡ HDD VHS

DVD-V：
ファイナライズ後の -R(V) -R DL -RW(V) +R +RW を含む

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)

ダビング先：
- VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- 十分な残量があることを確認しておく。
- 二重放送の番組をダビングする場合、下記のときは、音声の設定が必要です。**(詳しくは➜15,77“二重放送の番組を以下のようにダビングするとき”)**
  - ・**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜71)を「LPCM」にし、XPモードでダビングするとき

ダビング元：
- DVDの映像をダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。

画面表示の例) ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだとき

1 停止中に、[ダビング 予約延長] を押す

- ダビング設定画面が表示されます。

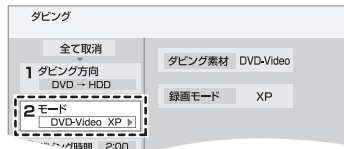
2 ダビング方向を設定する

- ダビング元とダビング先を設定します。

- 設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順*3*に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[▲][▼]で「DVD」を選び、[決定]を押す
3 [▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」または「VHS」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

3 録画モードを選ぶ

- 設定を変更しないときは、[▼] を押して、手順4に進んでください。
- ダビング素材は自動的に「DVD-Video」になり、変更はできません。

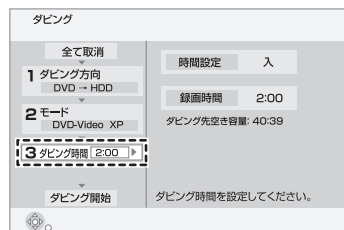
◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶] を押す
2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定] を押す
3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定] を押す
4 [◀] を押す
5 [▼] を押す

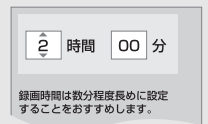
ダビング先「HDD」

ダビング先「VHS」

- ダビング先に「HDD」を選んだときは、「XP」、「SP」、「LP」、「EP」から選びます。
- 録画モードについて(➜23)

4 ダビング時間を設定する

- 設定を変更しないときは、[▼] を押して、手順5に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング時間」が選ばれている状態で、[▶] を押す
2 「時間設定」が選ばれている状態で、[決定] を押す
3 [▲][▼]で「入」を選び、[決定] を押す
 - 「切」にした場合(➜下記)
4 [▼]で「録画時間」を選び、[決定] を押す
 [◀][▶]で"時間"または"分"を選び、
 [▲][▼]で設定する
 - 再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。
 - [1]～[10/0] も使えます。
 - 25時間を超えて設定することはできません。
5 [決定] を押し、[◀] を押す
6 [▼] を押す

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、(決定) を押す

- 確認画面が表示されます。

6 [◀]で「はい」を選び、(決定) を押す

- 「ファーストプレイ選択」(➜66)で「タイトル1」に設定したディスクは、自動的に再生が始まり、ダビングが開始されます。
- 最初に右の画面が録画されます。

☞トップメニューが表示されたとき

[▲][▼][◀][▶]でダビングを始めたい番組を選び、[決定] を押す

- 選んだ番組から順に再生し、設定した時間まで録画します。
- ディスクの最後の番組の再生が終わったあとは、設定時間までトップメニューを録画します。

■ひとつ前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■ダビングを途中でやめる➡ [停止■] を押す

- [戻る] を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

■「時間設定」を「切」にした場合(上記手順4の3)

- HDDまたはテープの容量がなくなるまでダビングを続けます。

お知らせ

- ダビングの開始から終了までが1番組として記録されます。
- 自動的にトップメニューが表示されない場合や、再生が始まらないときは [再生▶] を押してください。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。

その他のダビング

■ふたをひらいたところ

はじめに

■ VHSからHDDへダビングするとき

HDDへダビングした番組を、あとで HDDからDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングしたい場合は、HDD側**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。**(➜14,76 "DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R への高速ダビングについて")**

■S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングする(➜77)

ダビング入力チャンネル

HDD/DVDからVHSへ、またVHSからHDD/DVDへダビングするときは、**チャンネル[∧][∨]**(ふた内部)で専用のダビング入力チャンネル("DC"、"TP")を選びます。ダビング入力チャンネルを選ぶことで、ダビングしたい(ダビング元の)映像をテレビ画面に映します。

■ "DC"チャンネル

- VHS側の入力チャンネルが"DC"のときのみVHSへのダビングができます。
- "DC"チャンネルにしてディスクを再生すると、テレビ画面にはHDDまたはDVDの映像が映っています。
- HDD/DVD側が"TP"チャンネルのときは、VHS側で"DC"チャンネルを選ぶことはできません。

■ "TP"チャンネル

- HDD/DVD側の入力チャンネルが"TP"のときのみHDDまたはDVDへのダビングができます。
- "TP"チャンネルにしてカセットを再生すると、テレビ画面にはVHSの映像が映っています。
- VHS側が"DC"チャンネルのときは、HDD/DVD側で"TP"チャンネルを選ぶことはできません。

見ている映像をそのままダビングする

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

■ダビング元➡ダビング先

VHS ➡ HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

HDD RAM -R(VR) -RW(VR) ➡ VHS

-R(V) -R DL -RW(VR) -RW(V) +R ➡ VHS

DVD-V ➡ VHS
(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません)

VHSの映像をHDD/DVDへダビングする

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)

ダビング先 (HDD または DVD):
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜21)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜25)
- 十分な残量があることを確認しておく。

ダビング元 (VHS):
- ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れる。
- "DC"(➜ 左記)以外のチャンネルにする。
(VHS側で"DC"チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません)

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して「VHS」を選ぶ**(➜16)

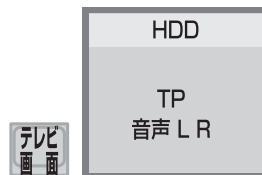
2 **カセットのダビング開始点を探す**

1. [再生▶]を押して、カセットの再生を始める
   - 二重放送などの番組のときは、再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。(➜52)
2. [一時停止❚❚]を押して、ダビングの開始点で静止画にする

3 HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して「HDD」または「DVD」を選ぶ**(➜16)

4 "TP"チャンネルを選ぶ

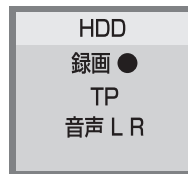
チャンネル **(ふた内部)を押す**

- テレビにVHSの映像が表示されます。
- TPチャンネルについて
(➜ 左記)

5 録画モード(➜23)を選ぶ

録画モード **を数回押す**

6 録画を始める

録画 **を押す**

- HDDまたはDVDの録画とVHSの再生が同時に始まります。

HDD/DVDの映像をVHSへダビングする

準備
- ●テレビに本機の画面を出す。(➜19)

ダビング先 (VHS):
- ●録画可能なカセットを入れる。(➜21)
- ●十分な残量があることを確認しておく。

ダビング元 (HDD または DVD):
- ●DVDの映像をダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。
- ●"TP"(➜ 左ページ)以外のチャンネルにする。（ダビング元の操作先で"TP"チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません）

1 HDD/DVD/SD VHS [切換] を押して「HDD」または「DVD」を選ぶ(➜16)

2 HDD またはディスクのダビング開始点を探す

1 [再生▶]を押して、HDD または DVDを再生する
- ●二重放送などの番組のときは、再生時の音声（録音したい音声）を選んでおいてください。(➜52)

2 [一時停止❚❚]を押して、ダビングの開始点で静止画にする

3 HDD/DVD/SD VHS [切換] を押して「VHS」を選ぶ(➜16)

- ●本体の操作先ランプ点灯の約 1 秒後に操作先が切り換わります。「VHS」を選んでいる途中で他の操作先に切り換わってしまった場合は、手順 *1* からやり直してください。

4 "DC"チャンネルを選ぶ

(ふた内部)を押す

- ●テレビにHDD または DVDの映像が表示されます。
- ●DCチャンネルについて(➜左ページ)

5 カセットの録画開始点を探す

1 [再生▶]を押して、カセットを再生する

2 [一時停止❚❚]を押して、録画の開始点で静止画にする

3 [録画●]を押して、録画の一時停止にする

6 録画モード(➜23)を選ぶ

録画モード **を数回押す**

7 録画を始める

一時停止 ❚❚ **を押す**

- ●VHSの録画とHDDまたはDVDの再生が同時に始まります。

頭出し信号の書き込みについて

VHSへのダビング時に頭出し信号を書き込んでおくと、ダビング後、[スキップ |◀◀] [スキップ ▶▶|] を使って番組を探すことができます。
頭出し信号を書き込みたい場合は、ダビング中、操作先が「VHS」のとき(➜16)に、書き込みたい位置でリモコンの[録画●]を押してください。

■録画を一時停止する

➜ **1** HDD/DVD/SD VHS [切換] を押して録画中の操作先を選んだあと、 を押す（録画が一時停止します）

2 HDD/DVD/SD VHS [切換] を押して再生中の操作先を選んだあと、 を押す（再生が一時停止します）

■録画をやめる

➜ **1** HDD/DVD/SD VHS [切換] を押して録画中の操作先を選んだあと、 を押す（録画が停止します）

2 HDD/DVD/SD VHS [切換] を押して再生中の操作先を選んだあと、 を押す（再生が停止します）

ダビング中に自動的に行われること	
VHS 側のオンスクリーン表示(➜72)	切 (VHS からのダビング時)
HDD/DVD 側のオンスクリーン表示(➜71)	切 (VHS へのダビング時)

ダビング実行中にできること

	ダビング方向	
	VHS→HDD VHS→DVD	HDD→VHS DVD→VHS
ダビングの中止(➜上記)	○	○
HDD の再生※1(➜40)	○	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※2	○※3	○※4
[リセット/ 消去]によるVHSテープカウンターリセット※2(➜51)	○	○
チャンネル[∧][∨] によるVHSトラッキング調整※2(➜51)	○	×

※1 編集はできません。
※2 操作先が「VHS」のとき。
※3 切り換えた音声で記録されます。
※4 録画には影響ありません。

お知らせ

- ●録画側と再生側を同時に一時停止したり、停止することはできません。
- ●VHS側が予約録画の待機中は、ダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜37)
- ●コピー禁止処理がされているディスクやカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- ●カセットに5倍モード(➜23)で録画された部分では、HDD やディスクにダビングするとノイズが入る場合があります。

写真/MPEG2動画をダビングする

はじめに

- 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜7)
- CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。
- カセットにはダビングできません。
- 停止中にSDカードをスロットに入れると、下図のような画面が表示されます。[▲][▼]で「写真(JPEG)をダビング」を選び、[決定]を押すと、右記手順 *3* の操作に進むことができます。

写真を組み合わせてダビング、または MPEG2 動画をダビングしたいときは、[戻る] を押し、**右ページ**手順 *1* に進んでください。

■写真のダビングについて

- フォルダやカードごとダビングする場合は、フォルダ内の写真以外のファイルもダビングされます(フォルダ内の下位フォルダは除く)。
- ダビング先のフォルダにすでに写真がある場合、続けて記録されます。
- ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➜7)がいっぱいになった場合は、途中でダビングを中止します。
- ダビング元のフォルダ名が入力されていない場合は、ダビング先ではフォルダ名の番号が変わることがあります。ダビング前にフォルダ名を入力することをおすすめします。(➜63)
- プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
- ダビングリストへの登録順は、ダビング先に反映されないことがあります。

カードの写真を一度にHDDやDVD-RAMにダビングする [写真(JPEG)一括取込]

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

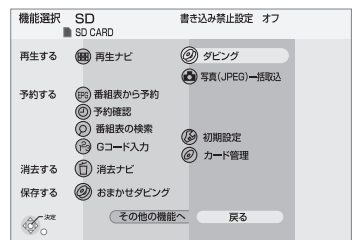
■ダビング元➜ダビング先

SD ➜ HDD RAM

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- SDメモリーカードを入れる。(➜21)
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜21)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して「SD」を選ぶ。(➜16)

1 停止中に、[機能選択]を押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「写真(JPEG)一括取込」を選び、[決定]を押す

上位フォルダの異なる対応フォルダがある場合は、[◀][▶]で切り換えができます。

4 [▲][▼]で「どこへ」を選び、[◀][▶]で設定する

5 [▲][▼][◀]で「実行」を選び、[決定]を押す

■ひとつ前の画面に戻る➜ [戻る] を押す

■ダビングを途中でやめる➜ [戻る] を3秒以上押す

写真を組み合わせてダビングする /MPEG2 動画をダビングする

この方法では、以下のダビング方向が選べます：

■ダビング元➡ダビング先

写真のダビング

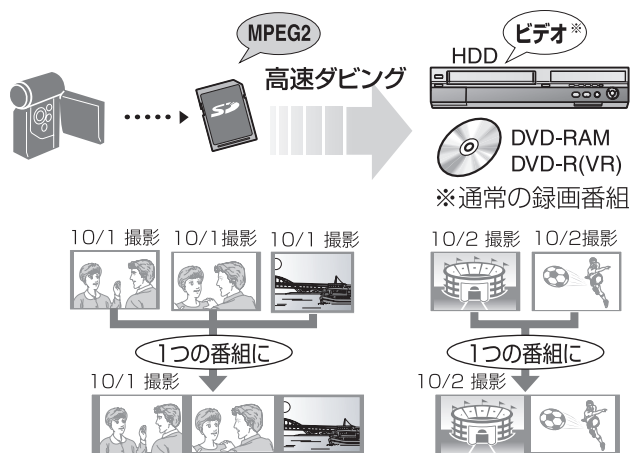
HDD RAM SD ➡ HDD RAM SD

MPEG2 動画のダビング

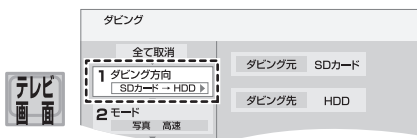
SD ➡ HDD RAM -R(VR)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- SDメモリーカードを入れる。(➜21)
- DVD-RAMまたはDVD-R(VR 方式)を入れる。(➜21)
  (フォーマット確認画面が表示されたとき ➜25)

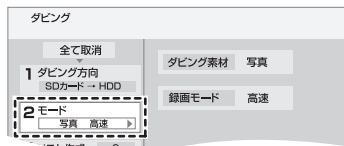
■SD ビデオカメラなどで撮影した動画のダビングについて

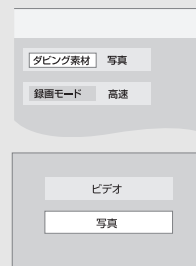
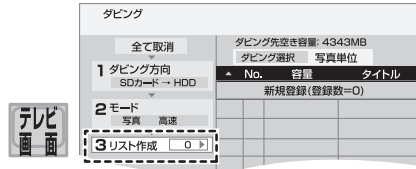
SDビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)にダビングできます。[SD カードにあるMPEG2動画をそのまま本機で再生することはできません。まずHDD やDVD-RAM、DVD-R（VR 方式）にダビングしてください］ダビングをすると通常の番組(ビデオ)として、再生ナビ番組一覧(➜41)を使って再生することもできます。（撮影した日付単位で 1 番組になります）
- MPEG2 動画をダビング中は、録画や再生はできません。

画面表示の例) ダビング元に「SD」、ダビング先に「HDD」を選び、写真をダビングするとき

1 停止中に、[ダビング/予約延長] を押す
- ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する
- ダビング元とダビング先を設定します。
- 設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順3に進んでください。

◆設定を変更する
1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶] を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定] を押す
[▲][▼]で「SDカード」などを選び、[決定]を押す
3 [▼]で「ダビング先」を選び、[決定] を押す
[▲][▼]で「HDD」などを選び、[決定] を押す
4 [◀] を押す
5 [▼] を押す
- 写真のダビング時は、ダビング元とダビング先に同じ操作先が選べます。

3 ダビング素材を選ぶ

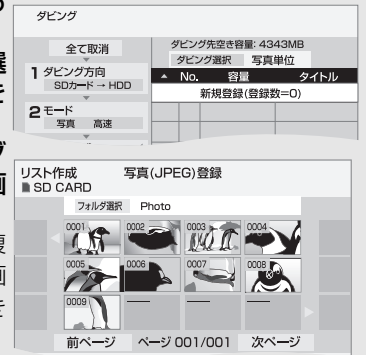
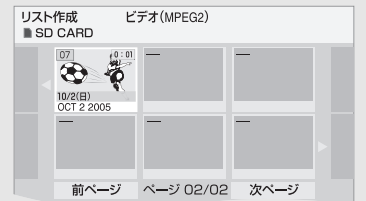
- 設定を変更しないときは、[▼] を押して、手順4に進んでください。
- 録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。

◆設定を変更する
1 「モード」が選ばれている状態で、[▶] を押す
2 「ダビング素材」が選ばれている状態で、[決定] を押す
3 [▲][▼]で「ビデオ」または「写真」を選び、[決定]を押す
- 「ビデオ」を選んだとき
  - ・ダビング元が「SD」の場合のみ、MPEG2 動画のダビングになります。
  - ・ダビング元が「HDD」、「DVD」のときは番組やプレイリストのダビングになります。(➜87手順3,へ)
4 [◀] を押す
5 [▼] を押す

次ページへつづく

4 ダビングする写真やフォルダなどを登録する(ダビングリスト作成)

- 登録済みのリストをそのままダビングするときは、[▼]を押して、手順 *5* に進んでください。
- 写真をダビングする場合、写真単位、あるいはフォルダ単位で登録できます。
  ただし、写真とフォルダを同じリストに登録することはできません。
- MPEG2動画の記録内容は、リスト作成画面に静止画で表示されます。
  写真とMPEG2動画を同じリストに登録することはできません。

◆写真単位で登録する /MPEG2 動画を登録する

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、[決定]を押す

3 [▲][▼][◀][▶]でダビングする写真またはMPEG2動画を選び、[決定]を押す
- 手順**2**～**3**を繰り返すと、複数の写真またはMPEG2動画をダビングリストに登録できます。

例)写真を登録する

例)MPEG2 動画を登録する

複数をまとめて登録するには

[▲][▼][◀][▶]で写真または MPEG2 動画を選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[**一時停止❚❚**]を押すと解除されます。
- ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。

SD MPEG2 動画の記録内容を確認するには

[▲][▼][◀][▶]で内容を確認したい動画を選んだあと、[サブ メニュー]を押し(「チャプター一覧へ」が表示されます)、[決定]を押す

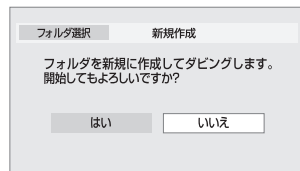
ダビングリストの便利な機能(➔右ページ)

4 [◀]を押す

5 [▼]を押す

(写真単位の場合のみ)別のフォルダをダビング先に指定するには(➔ 右ページ)

(写真のダビングのみ) フォルダ単位で登録するには(➔ 右ページ)

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す

例)写真をダビングする

6 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

- ダビングが開始されます。

■ひとつ前の画面に戻る➡ 戻る を押す

■ダビングを途中でやめる➡ 戻る を 3 秒以上押す

ダビングリストの便利な機能

■前後のページを表示する

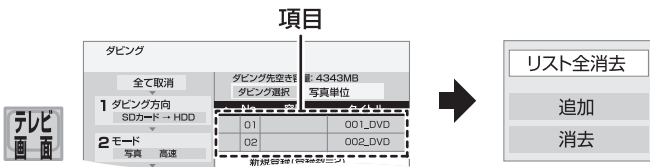
➡ [|◀◀] (前ページ)または [▶▶|] (次ページ)を押す
- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■まとめて登録/消去する

➡ [▲][▼][◀][▶]で選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
- ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。

■リストの項目(写真やフォルダ、MPEG2動画の登録)を消去/追加する

➡ **1** [▲][▼]で編集したい項目を選び、[サブ メニュー]を押す
- サブメニュー画面が表示されます。

例)写真のダビング

項目

テレビ画面

➡

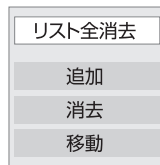
リスト全消去
追加
消去

2 [▲][▼]で編集したい内容を選び、[決定]を押す

リスト全消去:
リストに登録されている項目をすべて消去します。

追加: 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。
「追加」を選んだときは、さらに[▲][▼][◀][▶]で追加する写真やフォルダを選び、[決定]を押してください。

消去: 選んだ項目を消去します。
まとめて消去することもできます。(➜上記)
「消去」を選んだときは、さらに[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

移動 [ビデオ (MPEG2 動画) 登録画面のみ]:
選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。
「移動」を選んだときは、さらに[▲][▼]で移動先を選び、[決定]を押してください。

■不要な項目を新しい項目と入れ替えたい場合

➡ **1** [▲][▼]で不要な項目を選び、[決定]を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で新しく登録したい項目を選び、[決定]を押す
- 項目が入れ替わります。

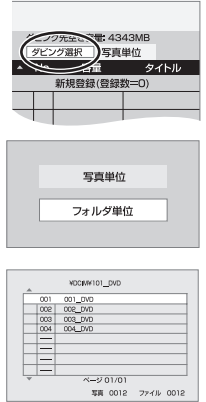
■フォルダ単位で登録する(写真のダビングのみ)

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 [▲]で「ダビング選択」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「フォルダ単位」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼]で「新規登録(登録数=0)」を選び、[決定]を押す

5 [▲][▼]でダビングするフォルダを選び、[決定]を押す
- 手順**4**～**5**を繰り返すと、複数のフォルダをダビングリストに登録できます。

複数のフォルダをまとめて登録するには

[▲][▼]でフォルダを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

6 [◀]を押す

7 [▼]を押す

■別のフォルダの写真を選ぶ/別のフォルダをダビング先に指定する/上位フォルダを切り換える

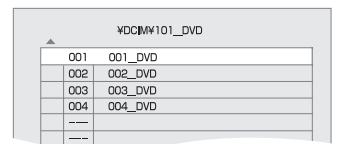
➡ **1** [▲]で「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す

◆[ダビングリスト作成時(➜ 左ページ手順*4*)のみ]
上位フォルダを切り換える(上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ)

➡ **1** [サブ メニュー]を押す

2 「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す

3 [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す
- 上位フォルダの異なるフォルダを同じリストに登録することはできません。

2 フォルダを選び、[決定]を押す

- 別々のフォルダの写真を同じリストに登録することはできません。

■以前に登録したモードなどの設定・登録されているリストを一度に取り消す

➡ [▲]で「全て取消」を選び、[決定] を押す
- 確認画面が表示されます。

[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

- 設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。
  - ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをした場合
  - ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、カードを取り出す、ダビング方向を変える、ダビング素材を変えるなどを行った場合

他のビデオやビデオカメラからダビングする

はじめに

録画する番組の映像・音声の記録について(詳しくは➜15)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

- 16:9 映像の番組
  ➡ 4:3 映像で記録します。
- 海外ドラマなどの二重放送
  ➡ 主、副音声のどちらか一方のみ記録してください。両音声を記録すると、再生時に、主音声と副音声の両方が混ざって聞こえます。
  接続する機器側で、「主音声」または「副音声」のどちらか一方のみを出力する設定にする
  (接続した機器側で音声を選べない場合 ➜38)

☞16:9映像の番組、二重放送の番組をそのまま録画するには※ HDD RAM -R(VR)

➡ **1** 初期設定「高速ダビング用録画」を「切」に設定する(➜70)

2 (二重放送を録画する場合のみ)
接続した機器側で、「主音声」と「副音声」の両方が出力されるように設定する
- 主、副音声が両方記録され、再生時に選ぶことができます。

※ダビング後、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングする予定の場合は、この操作を行わないことをおすすめします。
・高速でダビングできなくなります。(1倍速でダビングします)
・**主、副音声の両方を記録した番組をダビングすると、ディスクに両音声とも記録され、ディスク再生時に、主音声と副音声の両方が混ざって聞こえます。**

お知らせ

- 日付や時刻情報は記録されません。
- DVおまかせ取込中は、追っかけ再生や同時録画再生はできません。
- DV入力から録画中に、他の番組をHDD/DVDへ録画することはできません。
- DV入力から録画中に、HDD/DVD側の予約録画開始時刻になると、予約録画が実行され、DV入力からの録画は止まります。
- ダビング中やHDD/DVDが録画中のときは、DVおまかせ取込はできません。
- DVおまかせ取込がうまく働かない場合は、接続とDV機器側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、「接続した機器を再生してダビングする」(➜右ページ)を行ってください。DV機器との互換性については、当社ホームページ(http://panasonic.jp/support/dvd/)をご覧ください。

外部入力に接続する場合

例では、前面の外部入力2(L2)端子に接続していますが、後面の外部入力1(L1)端子または外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子※に接続することもできます。
※外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。(➜71)

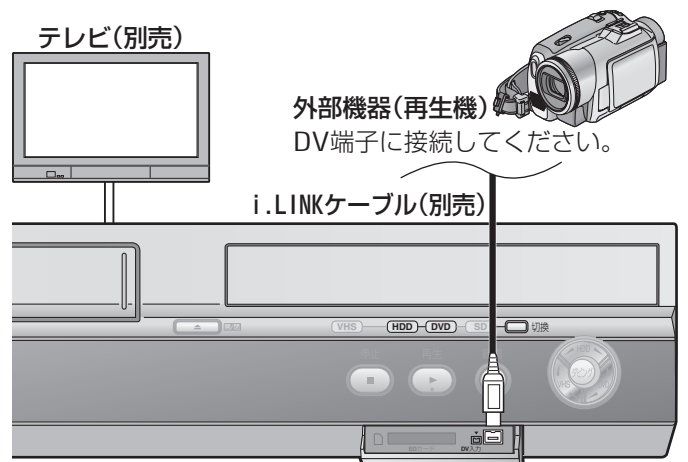
外部機器の音声出力端子がモノラルのとき

- 本機前面の外部入力2(L2)端子に接続するときは、音声は[左/モノ](白)に接続してください。
- 本機後面の外部入力1(L1)端子または外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続するときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

S映像入力について

- S映像コードからの入力は、S1/S2規格(➜105)に対応しています。VHS側は、S映像コードからの入力はできますが、S-VHS方式では録画できません。(VHS方式で録画されます)

DV入力に接続する場合

DV入力端子に接続すると「DVおまかせ取込」でのダビングができます。(対応機種のみ)

- 記録する音声の種類を**初期設定**「DV入力時の音声の設定」(➜71)で選べます。
- DV入力経由で本機に接続できるDV機器(ビデオカメラなど)は1台のみです。
- 接続した機器から本機を操作することはできません。
- 本機のDV入力はDV機器専用です。
- DV機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。
- DV機器によっては、映像や音声が正しく入力されない場合があります。

接続した機器を再生してダビングする

準備 ●[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して録画先(「HDD」、「DVD」または「VHS」)を選ぶ。(➜16)
●録画可能なディスクまたはカセットを入れる。(➜21)

1 外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

(ふた内部)を押す

L1: 外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2: 外部入力2端子(前面)に接続したとき
L3: 外部入力3端子(後面)に接続したとき
DV: DV 入力端子(前面)に接続したとき

2 VHS
録画開始点を探す
(HDD/DVD側で録画する場合、この操作は不要です)
1 [再生▶]を押して、カセットを再生する
2 [一時停止❚❚]を押して、録画の開始点で静止画にする
3 [録画●]を押して、録画の一時停止にする

3 録画モード(➜23)を選ぶ
[録画モード]を数回押す

4 接続した機器で、再生を始める

5 録画を始める
◆**HDD/DVD側で録画するとき**
録画を始めたい場面で、[録画●]を押す

◆**VHS側で録画するとき**
録画を始めたい場面で、[一時停止❚❚]を押す

■録画を一時停止する➡ **を押す**
●もう一度押すと録画を続けます。

■録画をやめる➡ [停止■] を押す
●接続した機器の再生も停止させてください。

■ディスクの残量に合わせて録画する
(HDD/DVD側で録画する場合)
➡ぴったり録画(➜26)

■本機を再生機として使うとき
●テレビ画面にオンスクリーン表示を出さない設定(➜71,72)にすると、不要な文字や表示が出なくなります。

■テレビの近くで操作するとき
●接続した機器をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

市販のビデオやDVDソフトのほとんどは、録画禁止処理がされており録画できません。

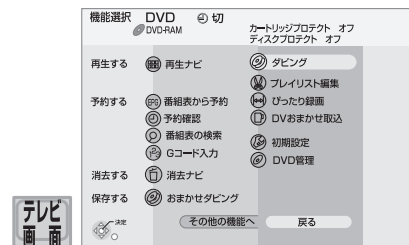
DVおまかせ取込機能を使ってダビングする(DVおまかせ取込)

HDD RAM
番組としてダビングされると同時に、映像の切れ目をチャプターの切れ目として、プレイリスト(➜58)が自動作成されます。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜19)
●[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して録画先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜16)
●DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜21)

1 接続した機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

2 停止中に、[機能選択]を押す
●機能選択画面が表示されます。

3 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

例)DVD-RAM

4 [▲][▼]で「DVおまかせ取込」を選び、[決定]を押す

5 録画モード(➜23)を選ぶ
[録画モード]を数回押す

6 [◀]で「録画開始」を選び、[決定]を押す

■ひとつ前の画面に戻る➡ [戻る] を押す
■録画をやめる➡ [停止■] を押す
●接続した機器の再生も停止させてください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

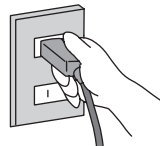
⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

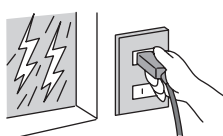
電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

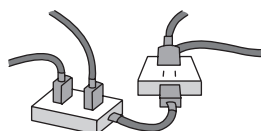
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

- 誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 外装チューブのはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために外装チューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

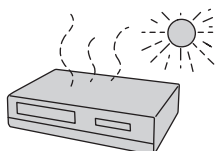
電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない

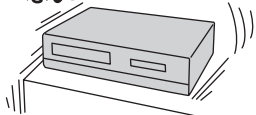
内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

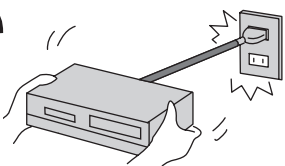
屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

用語解説

サ　サムネイル

複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。(本機では、番組一覧などに番組内の1場面が表示されます)

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

タ　ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

ダウンミックス

ディスクに収録されたマルチチャンネル(サラウンド)の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。
DVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、本機では正常に再生できません。

デコーダー

DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドライブ

本機では、ハードディスク(HDD)、ディスク(DVD)、SDメモリーカード(SD)のことをいいます。データの読み書きを行います。

ハ　パン&スキャン/レターボックス

DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。
4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン&スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。

ファイナライズ

録音·録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。本機ではDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rのファイナライズが可能です。DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rをファイナライズすると再生専用ディスクとなり、録画や編集ができなくなります。DVD-RWはフォーマットすると、繰り返し録画できます。

フィルム/ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

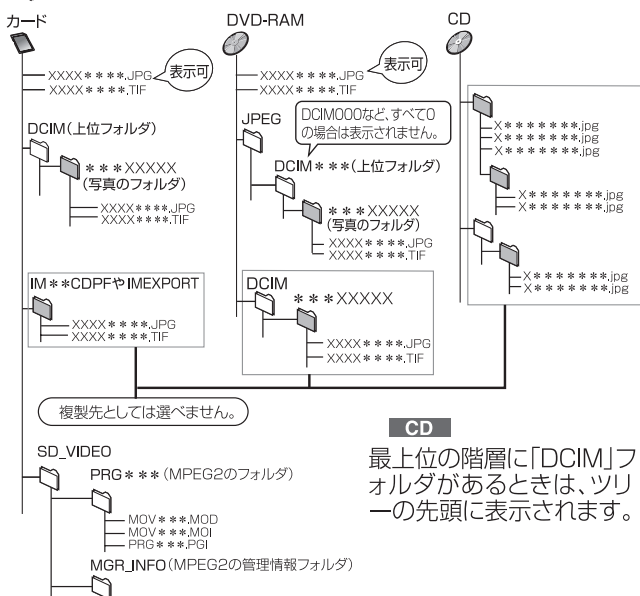
- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画撮影で使われるフィルムには、24コマ/秒で画像が記録されています)
- **ビデオ素材**
  映像情報が60フィールド/秒で記録されているもの。

フォーマット

録画前のDVD-RAMなどを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。
本機ではHDD、DVD-RAM、DVD-RW、SDメモリーカード、未使用のDVD-Rのフォーマットができます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。
未使用のDVD-Rをフォーマットすると、DVD-R(VR 方式)になります。

フォルダ

ハードディスクやSDメモリーカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真(JPEG/TIFF)や MPEG2の保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例
：表示されるフォルダ　＊：数字　x：半角文字

- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質はよくなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

プログレッシブ/インターレース

- 従来の映像信号(NTSC)は525i(i:インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p:プログレッシブ=順次走査)といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。プログレッシブ映像を楽しむには、対応テレビが必要です。

プロテクト
記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

B Bitstream(ビットストリーム)
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

C CPRM (Content Protection for Recordable Media)
シーピーアールエム／コンテント プロテクション フォー レコーダブル メディア

デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクに録画できます。

D D1/D2映像出力
S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力(525p)にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

Dolby Digital(ドルビーデジタル)
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2チャンネル)はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。本機で録画すると、通常はドルビーデジタル(2チャンネル)で記録されます。

DPOF(Digital Print Order Format)
ディーポフ／デジタル プリント オーダー フォーマット

デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

DTS (Digital Theater Systems)
ディーティーエス／デジタル シアター システムズ

映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

E EPG (Electronic Program Guide)
イーピージー／エレクトロニック プログラム ガイド

テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表(Gガイド)を使って予約録画などができます。

H HDD(ハードディスクドライブ)
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置のひとつです。表面に磁気体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

I ID3タグ
MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

Ir システム
アイアール

チューナーなどから予約録画などの信号を録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製チューナーまたはチューナー内蔵テレビのIrシステムがDVDレコーダーに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。チューナーなどの説明書をご覧ください。

J JPEG(Joint Photographic Experts Group)
ジェイペグ／ジョイント フォトグラフィック エキスパーツ グループ

カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L LPCM (リニア PCM)
エルピーシーエム／ピーシーエム

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。本機では、XPモードで録画するときに選べます。

M MP3 (MPEG Audio Layer3)
エムピースリー／エムペグ オーディオ レイヤー

元の音質をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでCD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

MPEG2(Moving Picture Experts Group)
エムペグ／ムービング ピクチャー エキスパーツ グループ

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格のひとつです。
MPEG2はDVDやデジタル放送などに使われる圧縮方式で、本機では番組をMPEG2で録画します。また、SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をSDカードからHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)にダビングすることができます。

P PBC (Playback Control)
ピービーシー／プレイバック コントロール

ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
(本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています)

P.PCM (パックト PCM)
ピーピーシーエム／ピーシーエム

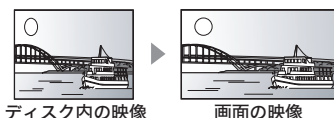
ひずみなく圧縮しデジタルに置き換えられた音声信号です。

S S映像出力
映像信号をC(色信号)とY(輝度信号)に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

●S1映像信号

映像の横縦比が4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。

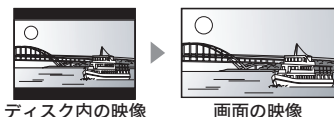
ディスク内の映像

画面の映像

●S2映像信号

S1の機能に加え、レターボックス(上下に黒帯が入っている映像)のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画面の映像

SQPB (S-VHS Quasi Playback)
エスキュピービー／エスブイエッチエス クアジ プレイバック

S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットを簡易的に再生する機能です。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。

S-VHS ET (Super VHS Expansion Technology)
エスブイエッチエス イーティー／スーパー ブイエッチエス エクスパンション テクノロジー

VHSカセットにS-VHS方式で録画する機能です。
本機にはこの機能はありません。

T TIFF(Tag Image File Format)
ティフ／タグ イメージ ファイル フォーマット

カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。デジタルカメラなどでは、高画質の画像を記録するために多く用いられています。

V VBR (Variable Bit Rate)
ブイビーアール／ヴァリアブル ビット レート

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

Q&A(よくあるご質問)

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。

「ページ」の項目の◯◯は別冊の取扱説明書 接続・設定編のページを示しています。

	Q(質問)	A(回答)	ページ
設置/接続	転居先で使えるか?	●本機は日本国内専用です。東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使えません。	—
	モノラルテレビと接続したいが?	●ステレオ←→モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。	117
	ビデオ入力(映像・音声)端子がないテレビと接続したいが?	●本機とは接続できません。	—
	ハイビジョンテレビに接続できるか?	●できます。特にDVDの場合は、高画質で楽しむために、DVD対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式(MUSE)専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。	9
	S映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D映像入力端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらよいか?	●DVD側の映像のみをお楽しみいただく場合は、コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続することをおすすめします。 コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像入力端子に接続したときよりも、さらに忠実に色を再現します。	9
	プログレッシブ映像を楽しむには、どんなテレビが必要か?	●当社製のD2、D3、D4のいずれかの入力端子のあるテレビであれば、対応しています。 テレビの説明書をご覧ください。他社製については、メーカーの問い合わせ窓口にご確認ください。	—
	ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネル音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か?	●本機だけではマルチチャンネル音声は楽しめません。光デジタルケーブルでドルビーデジタルやDTSのデコーダー搭載アンプへ接続してください。 ●本機ではDVDオーディオ再生が2チャンネルのため、DVDオーディオはマルチチャンネル音声では楽しめません。	14 —
	ヘッドホンやスピーカーを直接つなげるか?	●本機には直接接続できません。アンプなどをとおして接続してください。	14
地上デジタル・BS・CS放送	地上デジタルやCS、BSの放送を見ることができるか? また、それらの放送を録画できるか?	●BSチューナーを接続しなくても、本機でBS(アナログ)を見たり録画したりすることができます(BS9チャンネルではできません)。 ●本機だけでは地上デジタルやBS(デジタル)、CSの放送を見ることはできません。地上デジタル・BS/CSデジタルのチューナーなどを外部入力(L1～L3)に接続し、チューナーを接続した外部入力チャンネルを選ぶと、放送を見たり録画することができます。 ●チューナーのIrシステムがDVDレコーダーに対応している場合は、Irシステムを使って録画することができます。接続した機器の説明書をご確認ください。 ●有料放送を見るには、放送会社との(複数のBS放送を見るには放送局ごとに)受信契約が必要な場合があります。 ●デジタル放送には、著作権保護のため、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。このような映像を録画するには、HDDを使用するか"CPRM"対応のDVD-RAMまたはDVD-R(VR方式)が必要です。ディスクのジャケットなどで確認してください。また、録画したこれらの映像は複製できません。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、CPRM対応のDVD-RWやDVD-R(DVD-Video方式)には録画できません。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、カセットにも録画できます。 ●デジタルハイビジョン画質での録画はできません。	— 38 39 — 12 12 12 —
	BSアナログのハイビジョン放送は録画できるか?	●M-Nコンバーター内蔵の機器を本機の外部入力(L1～L3)に接続し、外部入力を接続したチャンネルを選ぶと録画できます。ただし、ハイビジョン画質では録画できません。	38
ディスク	両面のDVD-RAMは使えるか?	●使用できますが、両面にまたがった使いかたはできません。(自動で裏返すことはできません)	24,40
	DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+RWは使えるか?	●使用できます。(高速記録にも対応) ・DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rは録画・再生できます。 ・DVD-RW(VR方式)、+RWは再生のみとなります。 ・DVD-R DLは、ダビング・再生ができます。(本機では、番組を直接録画することはできません)	5
	CD-RやCD-RWは使えるか?	●CD-DA、ビデオCD、MP3や写真(JPEG/TIFF)のフォーマットで記録されたCD-RやCD-RWが再生できます。MP3や写真(JPEG/TIFF)は、1枚のディスクにルートを含む最大99フォルダ(グループ)まで表示され、最大999個のファイル(トラック)が再生できます。 ●本機はCD-RやCD-RWには記録できません。	7 —
	海外で買ったDVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDは再生できるか?	●映像方式がNTSCであれば再生できます。DVD オーディオは音声のみ再生できます。 ●DVDビデオは、リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	— 6
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか?	●DVDビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。	—

	Q（質問）	A（回答）	ページ
カセット	S-VHSまたはD-VHSカセットを使って、録画・再生できるか?	●できます。ただし、S-VHS、D-VHSカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 デジタル（D-VHS）方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。	— 48
	S-VHS-CまたはVHS-Cカセットを使って、録画・再生できるか?	●カセットアダプター（別売）を使えばできます。ただし、S-VHS-Cカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたS-VHS-Cカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。	— —
	海外で録画したカセットを再生できるか?	●同じNTSC方式のSP（標準）、またはEP（3倍）で録画されたものならできます。	—
	本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか？	●できません。	23
HDD・DVD録画・録音	市販のビデオやDVDから録画できるか?	●市販されているほとんどのDVDやビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。 その場合は録画できません。	—
	本機で録画したDVD-R、DVD-RW（DVD-Video方式）や+Rは他の機器で再生できるか？ 本機でダビングしたDVD-R DLは他の機器で再生できるか？	●本機で録画したDVD-R、DVD-RW（DVD-Video方式）や+Rを本機でファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます（ただし、すべての機器で再生保証するものではありません）。また、記録状態によって再生できない場合があります。 ●DVD-R(VR方式）は、2005年7月以降に発売される当社製DVDレコーダーで再生できます。(2005 年 9 月現在) ●DVD-R DLは、2005年2月にDVDフォーラムで定められた新規格です。このディスクを再生するときは、DVD-R DL に対応した機器を使用してください。	66 — —
	本機でデジタル信号のまま録音できるか?	●できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	—
	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか？	●できます（PCM）。DVDの音声を録音する場合、**初期設定**の「デジタル出力」を以下のように設定してください。 「PCMダウンサンプリング変換」:「入」 「Dolby Digital」　:「PCM」 「DTS」　:「PCM」 （ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です） ●MP3信号は録音できません。	71 —
	ディスクに高速でダビングできるか?	●できます。高速記録対応のディスクを使用すると、1時間の番組をDVD-R、+Rに最短約56秒、DVD-RAMに最短約 1.5分、DVD-RW（DVD-Video方式）に最短約 1.9分、DVD-R DL に最短約 3.75 分でダビングできます。	76
	MPEG4は録画できるか？	●できません。本機はMPEG4に対応していません。	—
	録画中、二重放送の音声を切り換えて聞くことはできるか?	●HDD、DVD-RAMまたはDVD-R(VR方式）に録画中は、**初期設定**「高速ダビング用録画」が「切」になっていれば、**[音声]**で切り換えられます。（録音される音声に影響はありません） ●DVD-R（DVD-Video 方式）、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video 方式）、+R がディスクトレイにあるときは切り換えできません。 DVD-R(DVD-Video 方式）、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video 方式）、+Rの音声は録画（DVD-R DL ではダビング) する前に**初期設定**「二重放送音声記録」で切り換えておいてください。	52 71
VHS録画・録音	録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ（2カ国語放送の主または副音声のみ）に切り換えて聞くことはできるか?	●できます。**[音声]**で聞きたい音声を選んでください。	52
	ステレオ放送の左または右音声のみ（2カ国語放送の主または副音声のみ）を録音できるか？	●できません。	—
	VHF/UHF放送の録画中に、テレビでBS放送を見ることはできるか?	●BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。また、HDD/DVD側に切り換えて見ることもできます。	—
予約録画	予約録画は予約した順番に行われるのか？	●予約内容の日付・時刻順に行われます。	—
	予約録画の待機中に、他のディスクやカセットを見ることができるか? またはディスクやカセットを入れ替えることができるか?	●ディスクやカセットを他のものに入れ替えて再生するときなど、予約録画の待機状態を解除しないとできない場合があります。 ●HDD/DVDの予約待機中でもHDD/DVDの録画・再生、VHSの録画または再生ができます。 ●VHSの予約待機中でもHDD/DVDの録画・再生ができます。	37 28 28
	予約録画開始時、テレビの電源は入れていなくてもいいのか？	●本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。 ●テレビのチューナーを使ってBS/CSデジタル番組などを予約録画する場合、予約録画中は電源を入れておく必要があります。	— 39

こんな表示が出たら

「ページ」の項目の ○○ は別冊の取扱説明書 接続･設定編のページを示しています。

テレビ画面	調べるところ･原因･対策	ページ
動作を継続できませんでした。決定ボタンを押してください。自動で電源を切り、再起動の後、自動診断を始めます。	●[決定]を押すと、復旧動作を行います。復旧動作中(本体表示窓に“SLF CHECK”表示中)は操作できません。	109
読み込みできません。 ディスクを確認してください。	●ディスクが裏返しになっていませんか。	40
(対応)カードが入っていません。	●本機に対応したカードが入っていません。対応したカードを入れたのに表示された場合は、本体の電源を切り、カードを入れ直してください。 ●カードのフォーマットが異なっています。	7,21 7
記録できないディスクが入っています。 このディスクは規定のフォーマットがされていません。	●DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R以外のディスクが入っています。 ●ファイナライズ後のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rが入っています。 ●DVD-RW(VR方式)が入っています。 ●フォーマットされていないDVD-RAM、DVD-RW が入っています。	5 5 6 65
ディスクがいっぱいで記録できません。	●不要な番組や写真を消去してください。 HDD RAM -RW(V) SD	53,55,63
番組数がいっぱいで記録できません。 ダビング先の容量が足りません。	●新しいディスクやカードを使ってください。	—
録画を正常に終了できませんでした。	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていませんか。 ●最大番組数を超えていませんか。	12 — 22
ディスクへの書き込みができません。 フォーマットできません。	●ディスクに傷や汚れがありませんか。	9
自動診断が正常に完了しませんでした。 1)開 / 閉ボタンを押してディスクを取り出し、他のディスクをご使用ください。 2)電源ボタンを押して再起動させてください。	●ディスクに異常が発生した恐れがあります。 [▲開/閉]を押して、ディスクを取り出し(電源が切れます)、ディスクに傷や汚れがないか確認してください。	9
ホスト局が設定されていません。 番組データは未取得です	●チャンネルと番組表設定を設定してください。	22,25
この放送局の番組データは取得できません。	●設定した「Gガイド地域」に対応したホスト局を選んでください。 ●放送局名が正しく設定されているか、「マニュアルチャンネル設定」で確認してください。	25 23
予約チャンネルを合わせてください。	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード予約ができません。	23
⃠	●ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。ディスクが入っていない状態でDVD を再生しようとしていないかなど、操作をご確認ください。	—
再生できません。	●非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。	6
本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしました。 ●本体の電源を切り、カードを入れ直してください。	— 21
フォルダがありません。	●本機で対応したフォルダがありません。	104
ダビングできませんでした。	●ディスク、または光ピックレンズ※が汚れています。 ※ディスクの信号を読みとるための本機に内蔵されているレンズ。	9,11
コピー禁止信号を検出したため、ダビングを中断しました。	●コピー禁止処理がされたカセットをワンタッチダビングしようとしています。 ●コピー禁止処理がされたカセットをマニュアルダビングしようとしています。	82 90
コピー禁止信号が設定されています。ダビングできません。	●コピー禁止処理がされたディスクをマニュアルダビングしようとしています。	92
1回だけ録画可能な番組はダビングできません。	●「1回だけ録画可能」な番組をダビングできない録画先へダビングしようとしています。	13

本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示窓に下記のメッセージやサービス番号を表示します。

本体表示窓	調べるところ・原因・対策	ページ
NO READ	●ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー(別売)(➔117)での作業が終了したときにも、左記のメッセージが表示されることがあります。[▲開/閉]を押してクリーナーを取り出してください。	9 —
SLF CHECK	●録画や再生、ダビング中に、ディスクに異常が確認された場合や、停電、または動作中に電源コードが抜けた場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示します。故障ではありません。表示が消えると使えます。	111
UNS PPORT	●本機で再生や録画できないディスクが入っています。	6
HAR D ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	120
HDD SLP	●HDDの寿命を延ばすため、休止状態になりました。ボタンを押すとHDDが起動します。	8
PROG FULL	●HDD/DVD側ですでに32件の予約がされています。不要な予約を消してください。 ●VHS側ですでに16件の予約がされています。不要な予約を消してください。	36 36
U11 ※	●ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	51
U30 ※	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 表示されたリモコンモード番号のボタンを押しながら、[決定]を2秒以上押してください。 本体のリモコンモード番号	26
U50 ※	●BSアンテナ線がショートしているため、自動的にBS電源を切りました。BSアンテナを正しく接続したあと、「BS電源」を再設定してください。	19
U59 ※	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、後面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	103
U99 ※	●本体が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。	—
H□□または F □□※	●異常と思われます。(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります) **1 電源プラグをコンセントから抜き、数秒後再び差し込む** **2 [DVD/VHS電源]を押し、電源を入れる**(直ることがあります)	—
UN FORMAT	●フォーマット(初期化)されていないDVD-RAM、DVD-RW、または他の機器で記録されたDVD-Video方式のDVD-RWが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	65
PLEASE WAIT	●終了処理中です。"BYE"が表示されたあと、電源が切れます。 ●**初期設定**の「クイックスタート」を「入」に設定している場合、停電または動作中に電源コードが抜けたための、復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— 69
R35:50 数字は例です。	●HDDまたはディスクの残量です。(異常ではありません) 「R」は「Remain(残量)」を、「35:50」は「35時間50分」を意味します。	25

※これらの表示をサービス番号と呼びます。上記に紹介している操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口(➔121)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などとお知らせください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜121)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません
- ●周期的なディスクの回転音がする。(ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- ●電源切/入および休止時(「HDD SLP」状態)に音がする。休止中の反応が遅い。
- ●早送り/早戻し(VHSでは巻き戻し再生)すると映像が乱れる。
- ●気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- ●BS/CS放送の一時的な休止による受信障害。

「ページ」の項目の ○○ は別冊の取扱説明書 接続・設定編のページを示しています。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	**電源が入らない**	●電源プラグがコンセントから外れている。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」の場合、本機の動作を安定させるため、予約録画終了時、または午前4時ごろ(1週間に1回程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE”、“WAIT”が交互に表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、内部から動作音がしますが、故障ではありません)	15 69
	自動的に電源が切れた	●**初期設定**「自動電源〔切〕」が「2H」または「6H」になっている。(不要な電力の消費をおさえます) ●各種安全装置が働いていることがあります。**[DVD/VHS電源]**を押し、電源を入れてください。	69 —
テレビ画面や映像	**本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった**	●分配器で、テレビと本機に電波を分配したためです。ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください) ●BSアンテナからの線が劣化している。販売店にご相談ください。	— —
	映像が出ない 映像が乱れる	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビに接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしている。本体の**[停止■]**と**[VHS▶DVD](ダビング)**を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。	4～ — —
	画面の横縦比が4:3に指定された	●テレビの画面モードなどを使って調整できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。	—
	映像が、左右方向に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	●テレビの画面モードなどを使って調整できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 調整できないテレビの場合、**再生設定**「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。 ●**初期設定**「ワイドモード」や「接続するTV」、「TVアスペクト(4:3)設定」の「DVD-Video」や「DVD-RAM」の設定を確認してください。	45 69,71
	録画した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●以下のように録画した場合、16:9映像は4:3映像で記録されます。 ・ HDD RAM -R(VR) **初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画した場合(お買い上げ時は「入」に設定されています)16:9映像のまま記録したいときは、「高速ダビング用録画」を「切」にしてください。 ・ -R(V) -R DL -RW(V) +R に記録(ダビング)した場合 テレビの画面モードなどを使って調整できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。	14,70
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「インテグレイテッドDNR」を0にするか、「MPEG-DNR」を「切」にしてください。	44
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時に、映像の一部が瞬間的に二重にぶれて見える	●映像ソフトそのものの編集方法や、素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。**再生設定**「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。	44
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
	テレビにVHS側の画面が出ない	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●ファイナライズを含むダビング中は、操作先を「VHS」に切り換えてもVHSの映像を見ることはできません。	4～ —
	画面メッセージが出ない	●**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」を「切」にしている。	71
	ブルーバック(青い画面)にならない	●**初期設定**「ブルーバック」を「入」にしていない。	71
	地上デジタルやBS、CS放送が映らない 有料番組やハイビジョン放送が見られない	●接続を確認してください。WOWOWなどは、各放送局と契約が必要です。 ●本機のBS-IF出力端子と接続したテレビでBS放送を見る場合は、本機を使用しない場合でも、必ず本機を電源コンセントに接続してください。 ●本機ではハイビジョン放送は見られません。	10,12 — —
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
	VHSの画面メッセージが出ない	●**VHSメニュー**「オンスクリーン」を「切」にしている。	72
	VHSの再生画面がブルーバックになる	●テープの未記録部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ●汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●メーカー番号が合っていない。電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。 ●電池が消耗している。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していない。 ●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがある。 ●受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていると、操作できない場合があります。 ●予約録画の待機中になっている。 ●本体とリモコンモードが合っていない。 電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。	26 — 3 3 3 28 26
	操作できない	●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部操作ができない場合があります。 ●**[HDD/DVD/SD/VHS 切換]** で間違った操作先を選んでいる。 ●各種安全装置が働いていることがあります。 **HDD/DVD部の操作ができない場合:** **1 本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る** ●電源が切れない場合は、約10秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源プラグをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む) **2 本体の[電源⏻/I]を押し、電源を入れる** 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●“U59”点灯時は本体内部温度が高くなっています。“U59”が消えるまで待ってください。	— 16 — 109
本体	ディスク・カセットが入らない	●電源プラグがコンセントから外れている。 ●正しく入れていない。	— 21
	ディスク・カセットが取り出せない	●予約録画の待機中、または実行中になっている。 ●録画中になっている。 ●上記のいずれでもない場合、ディスクトレイは電源「切」状態で本体の**[停止■]**と**チャンネル[∧]**を同時に約5秒以上押したままにすると開きます。ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	28 24 —
	DVD-RAMの読み込み時間が長い	●本機ではじめて使用するディスクや、長時間使用しなかったディスクは、読み込み時間が長くなることがあります。**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても同様です。	—
	起動が遅い	●HDDが休止状態になっている(本体表示窓に”HDD SLP”と表示)。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていない。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても、以下のような場合は起動に時間がかかります。 ・DVD-RAM以外のディスクが入っている場合 ・時計が設定されていない場合　・停電直後や電源コードを差した直後	8 69 —
表示	時刻表示が“0:00”で点滅している	●時刻が合っていない。	27
	“再生”が点滅している	●続き再生メモリー機能が働いています。解除するには **[停止■]**を数回押してください。(“再生”の点滅が消えます)	41
	表示が暗い	●**初期設定**「FLディマー」で明るさを変えてください。	71
	録画や再生時の時間表示が実際よりも少なく表示される	●録画や再生時の時間表示は、映像信号を基準に1秒を0.999秒(29.97フレーム)としており、実際の録画時間より若干短くなりますが、実際の録画には影響ありません。(例:1時間番組は約59分56秒と表示)	—
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする MP3の再生時間が実際と違う	●残量表示は実際より増減することがあります。 ●DVD-R、DVD-R DL、+Rは番組を消去しても残量は増えません。 ●DVD-RW(DVD-Video方式)は、最後に録画した番組を消去したときのみ残量が増えます。 ●DVD-R、DVD-R DL、+Rへの録画(ダビング)や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。 ●早送り/早戻し中は、時間表示が正しく表示されないことがあります。	— — 53 — —
	本体表示窓に“SLF CHECK”が表示され、ディスクが取り出せない	●以下の操作でディスクを取り出してください。 **1 本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る**(電源が切れない場合は、**本体の[電源⏻/I]**を約10秒以上押したままにすると強制的に切れます) **2 本機の電源が「切」状態で、本体の[停止■]とチャンネル[∧]を同時に約5秒以上押したままにする**(ディスクトレイが開きます)	—
	VHSのテープカウンター表示の値が動かない	●テープの未記録部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。 汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
HDD・DVD録画	録画できない	●ディスクが入っていない。または録画できないディスクが入っている。 ●ディスクやカートリッジに誤消去防止(プロテクト)が設定されている。 ●録画制限のある番組を録画しようとした。 ●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は録画できません。(不要な番組を消去するか、新しいディスクを使う) ●本機では、DVD-R DL に直接録画することはできません。HDD からダビングしてください。ただし、ファイナライズ後はダビングできません。 ●フォーマットされていないDVD-RAM、DVD-RWが入っている。 ●ファイナライズ後のDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+RまたはDVD-RW(VR方式)には録画できません。DVD-RW はフォーマットすると、繰り返し録画できます。 ●ディスクの出し入れや電源の切/入を約50回以上繰り返すと、録画やダビング、編集ができなくなることがあります。 -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R ●本機で録画したDVD-Rは、他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。	5 65 12 53 4 65 66 — —
	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画や編集中に停電になったり電源コードを抜いたりした場合、番組が消失したり、ディスクが使えなくなる場合があります。フォーマット(HDD RAM -RW(V))するか、新しいディスクを使ってください。(当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません) ●HDDに自動更新(オートリニューアル)を「入」にして録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、予約録画します。	65 34,35

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
VHS録画	録画できない	●カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。 ●カセットの誤消去防止用つまみが「OFF」になっている。	22 22
	テレビ番組が録画できない	●録画したい番組のチャンネルを選んでいない。	24
HDD・DVD・VHS予約録画	予約録画が正しくできない Gコード予約ができない	●予約内容(予約チャンネルや開始·終了時刻など)が間違っている。 ●予約録画の待機状態になっていない場合は、**[タイマー切/入◷]**を押して、本体表示窓に"◷"を点灯させてください。 ●予約録画の時間帯が重なっている。 ●ガイドチャンネルが正しく設定されていない。 ●同じガイドチャンネルが複数設定されている。不要な方を削除してください。 ●時刻が合っていない。	36 37 — 23 24 27
	[停止■]を押しても、予約録画が終わらない	●予約録画実行中は**[タイマー切/入◷]**を押してください。(本体表示窓の"◷"消灯) ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」に設定されているとき、電源を入れてすぐ録画を開始した場合は、数秒間は録画を停止できません。	37 69
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎週 / 毎日予約のときは消えません。	—
	予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の切/入にかかわらず実行されます。予約録画中の映像を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
	予約した番組と違う番組が録画されていた	●予約録画時に野球延長対応機能が働くと、録画した番組の最初、または最後の部分に最大120分、予約番組の前後に放送された番組の内容が含まれる場合があります。編集機能でこの部分を消去してください。	55
	野球延長対応機能が働かない	●**初期設定**「野球延長」が「入」になっていない。 ●番組表データに延長情報が含まれていない場合には働きません。また、本機では検出できない言葉を含んでいる場合など、番組表データの内容によっては、延長情報を含んでいても正しく働かない場合があります。 ●予約登録時ではなく、録画開始時点での延長情報に基づいて延長録画を行います。(新しい番組表データの受信により、延長情報の有無や内容が変わることがあります) ●19時より前に放送が終了する番組には働きません。 ●延長部分の録画中に別の予約録画が始まる場合、延長部分の録画を終了します。このような番組は予約一覧画面で「本編可」と表示されます。 ●野球延長対応機能は、最大で120分の録画時間延長が可能です。それ以上の延長放送を録画することはできません。 ●Gコード予約またはタイマー予約で、VHSへ録画予約した番組には働きません。	70 31 — — 31 31 —
	番組追従機能が働かない	●**初期設定**「番組追従」が「入」になっていない。 ●番組表を使って予約した番組でも、「CH」、「開始」、「終了」を変更した番組、または「番組名」をすべて消去した番組には働きません。 ●番組名を著しく変更した場合、変更後の番組名で番組を検索しますので、正しく働かない場合があります。放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 ●録画先を「VHS」に設定した予約番組には働きません。 ●番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては正しく働かない場合があります。	70 — — — —
番組表(Gガイド)	番組表(Gガイド)が表示されない 8日分表示されない	●**初期設定**「番組表設定」を確認してください。 ●番組表(Gガイド)データは1日に数回送信されます。お買い上げ直後は、番組表(Gガイド)データが受信されていません。 ・電源「切」状態でしばらくお待ちください。(1日程度かかる場合があります。お買い上げ時の受信時刻設定は、「番組表(Gガイド)データ送信時刻」をご覧ください) ・データ送信時刻に本機が電源「入」状態だった場合、以下の条件を満たすときのみデータ受信を行えます。 - データ送信時刻に本機HDD/DVD/SD側のチャンネルがホスト局に設定されている - データ送信時刻にHDDまたはDVDの録画を行っていない ●時刻が合っていない。 ●ホスト局の電波が弱い場合や、強度のゴーストを含んでいる場合は、番組表(Gガイド)データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	69 20 20 27 —
	番組表(Gガイド)に表示されない放送局がある	●**初期設定**「マニュアルチャンネル設定」の「放送局名」が正しく設定されていない。 ●**初期設定**「Gガイド地域」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表(Gガイド)に放送内容は表示されません。	23 25
	番組表(Gガイド)に"予"が表示されない	●番組の一部のみを予約した場合は表示されません。	—
	録画した番組と番組名が合っていない	●予約設定後に番組内容が変更されても、予約時の番組名で録画されます。 ●携帯電話のEPG録画サービスを利用して予約を変更した場合、番組名が変更される場合があります。	— —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD・DVD再生	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●ディスクを正しく入れていない(裏表が逆になっているなど)。またはディスクが汚れている。 ●本機で使えないディスク、未記録のディスクが入っている。 ●他機でフォーマットのみ行った+RWが入っている。 ●他のDVDレコーダーやパソコンなどで録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機のHDDへダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ●DVD-RAMにEP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。	9,21 6 — 13 70
	映像や音声が一瞬止まる	●プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生すると起きます。 ●高速モードでダビングしたファイナライズ後のDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは、部分消去をした部分やチャプターのつなぎ目で起きることがあります。 ●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ●DVD-R DLの場合、2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	— — — —
	DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されている。**初期設定**の「視聴制限」を変更してください。	70
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていない。 ●**再生設定**の「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 40
	字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録されていない。 ●**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていない。	— 44
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所以外では切り換わりません。	44
	視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。 操作先に「DVD」を選び、**[▲開/閉]**を押してトレイが開いている状態で、本体の**[録画●]**と**[再生▶]**を同時に5秒以上押すと戻ります。(本体表示窓に"INIT"が表示)	—
	早見再生ができない	●音声がドルビーデジタル以外の場合は働きません。 ●録画モードが"XP"または"FR"での録画中は働きません。RAM	— —
	自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。また、早見再生中は働きません。 ●最大49回働きます。(HDD:1番組あたり49回/RAM -R(VR):ディスク1枚あたり49回)それを超えた場合は働きません。	42 —
	続き再生メモリー機能が働かない	●本体表示窓の"再生"が点滅していないときは働きません。 (再生ナビ画面表示中や、プレイリストの場合は点滅しません) ●記憶した位置は、以下の場合解除されます。 ・数回[停止■]を押す。("再生"の点滅が消えます) ・録画や予約録画を行った場合("再生"は点滅したままです) ・トレイを開ける(HDDを除く) ・電源を切る DVD-A CD VCD SD	41 —
HDD・DVD音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●正しい音声を選んでいない。**[音声]**を押して、正しい音声を選んでください。 ●ディスクによってはサラウンドの効果が出にくいものや、出ないものがあります。 以下の場合は**再生設定**「音声メニュー」で「サラウンド」を「切」にしてください。 ・カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクのとき ・二重放送の番組を再生するとき ●ディスク側で音声の出力方法が制限されている。 マルチチャンネルのディスクには、ダウンミックスが禁止されているため、本機では正常に再生できないものがあります。ディスクのジャケットなどを確認してください。DVD-A ●**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画すると、主/副音声のどちらか一方しか記録されません。あとでDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするつもりで録画する場合以外は、「切」にしてください。	71 52 45 — 70
	音声が切り換えられない	●以下の場合は音声の切り換えができません。 ・**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合(お買い上げ時の設定は「入」です) ・操作先に「DVD」を選択中、ディスクトレイにDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)や+Rが入っている場合 ・録画モードがXPで、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」が「LPCM」の場合 ●光デジタルケーブルでアンプと接続しているとき、**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図により音声が切り換えられないディスクもあります。	70 — 71 71 —
VHS再生	再生できない	●他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは再生できません。	—
	再生画面がチラチラする	●ビデオヘッドが汚れている。 ●テープが古い、またはいたんでいる。	51 10
	再生画面にノイズが出る	●本機以外の機器で3倍/5倍モードを使って録画されたテープを再生した場合は、テープによっては画面にノイズが出る場合があります。 保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。	—
VHS音声	聞きたい音声が聞こえない	●正しい音声を選んでいない。	52
	音声がステレオではない	●ステレオ音声を選んでいない。	52
	ステレオ音声がブツブツと聞こえる	●トラッキングがずれている。 ●再生中のテープに傷などが付いている。	51 10

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
写真	再生ナビ画面を表示できない	●録画やダビング中はできません。	—
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。(カードによっては、プロテクトを設定していても、画面に「書き込み禁止設定オフ」と表示される場合があります)	65
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れている。(カードの内容が壊れている場合もあります)他の機器ではFAT12またはFAT16で、または本機でフォーマットしてください。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっている。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。	7 7 — 7
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	— 65
HDD・DVD編集・整理	番組を消去しても残量が増えない	●DVD-Rや DVD-R DL、+Rは、消去しても残量は増えません。 ●DVD-RW(DVD-Video方式)は、最後に録画した番組を消去したときのみ残量が増えます。途中の番組を消去しても残量は増えません。	— —
	編集できない	●HDDに空き容量がないと、HDDでの編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して空き容量を増やしてください。 ●ファイナライズ済みの DVD-R(VR 方式) を使っている。	53,55 —
	フォーマットできない	●ディスクが汚れている。 ●本機で使えないディスクを使っている。	9 6
	チャプターが作成できない 部分消去のイン点やアウト点が設定できない	●作成したチャプター情報は、電源を切るときまたはディスクを取り出すときなどにディスクに書き込まれるため、停電などが発生すると記録されません。 ●イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。 ●静止画部分では作成できません。	— — —
	チャプターが消去できない	●チャプターの範囲が小さくて消去できない場合は、「チャプター結合」でチャプター範囲を大きくすると消去できます。	61
	プレイリストが作成できない	●番組が静止画を含む場合は、プレイリストの編集元としてすべてのチャプターを一度に選ぶことはできません。個々のチャプターは選べます。	58
ダビング・外部入力	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングできない	●HDDへの録画前に**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」に設定している。(お買い上げ時の設定は「入」です)	70
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っている。高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。 ●6時間以上の番組は、EP(8H)モードのない他の当社製DVDレコーダーでは、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングできません。	— — —
	カセットからディスクにダビングできない ディスクからカセットにダビングできない	●ディスクやカートリッジにプロテクトが設定されている。 ●「つめ」の折れたカセットが入っている。 ●市販されているビデオソフトやDVDソフト(レンタルビデオ、レンタルDVDも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像は正しく録画･録音できません。 ●「1回だけ録画可能」な番組がダビングされたカセットの場合は、再度、HDDや CPRM 対応のDVD-RAM、DVD-R(VR 方式) にダビングするとき、「1回だけ録画可能」な番組の部分はダビングされません。 ●機能選択画面、予約一覧画面、VHSメニュー画面などが表示されているときは、ダビングできません。	65 22 — 13 —
	編集後の音声レベルがHDD/DVD側とVHS側で合っていない	●ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、カセットに録画したときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。	—
	黒い帯状のノイズが録画された	●接続した機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。接続した機器をテレビから離してください。	100
	DV おまかせ取込ができない	●録画できない場合や中断する場合は、接続と接続機器の設定などを確かめてください。 ●HDD または DVD が録画中のときや、ダビングしているときはできません。 ●録画先に「HDD」または「DVD」を選んでいない。 ●DV機器からの映像がテレビ画面に表示されない場合は、録画できません。 ●DV機器側が、再生の一時停止状態になっていない。 ●テープ上でタイムコードが連続していない場合や、接続した機器によっては、正しく働かない場合があります。	100 — — — 101 —
	外部機器から録画･録音できない	●正しく接続していない。 ●再生機を接続した外部入力チャンネル“L1”、“L2”、“L3”または“DV”を選んでいない。	100 101

「故障かな!?」に従ってご確認のあと修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

修理診断カルテ

ご記入日：　　　年　　月　　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

＜商品に関して＞

機種名		製造番号（保証書または本体後面に記載）	
お買い上げ日	年　　月　　日	保証書添付	□ 有り　□ 無し

＜確認事項＞

修理代金の見積り（有償修理時のみ）	□ 不要　□ ＿＿＿ 万円以上必要　□ 必要
修理ご依頼時の添付品	（本体以外の添付品をご記入ください） □ 電源コード　□ リモコン　□ ディスク　□ その他 ＿＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、録画予約などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。	
HDDの初期化（録画内容の消去）	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容はすべて失われます） HDDの初期化に同意されますか。 □ 同意する □ 同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります）	ご署名　　　　㊞

＜不具合症状について＞

不具合症状	（発生症状をなるべく詳しく、具体的にご記入ください）　例：HDDからDVD-Rへ高速モードでダビング時、途中で止まった。	
発生条件	＜発生条件＞ 1. □ HDD　□ DVD　□ VHS （下欄※に詳細をご記入ください） 2. □ 録画時　□ 再生時　□ ダビング時 └□ 本機のチューナーからの録画 └□ 外部入力からの録画（他のビデオからのダビングや外部チューナーからの録画など）	＜エラー表示＞ □ 有り └□ テレビ画面 表示内容：＿＿＿＿＿ └□ 本体表示窓 表示内容：＿＿＿＿＿ □ 無し
発生頻度	□ 常時　□ 時々　□ ＿＿＿ 回に ＿＿＿ 回位	

＜※DVDディスクに関して＞

正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したディスクの添付をお願いします。

発生ディスク			
	□ DVD-RAM	メーカー名：	品番：
	□ DVD-R	メーカー名：	品番：
	□ DVD-R DL	メーカー名：	品番：
	□ DVD-RW	メーカー名：	品番：
	□ +R	メーカー名：	品番：
	□ DVDビデオ	タイトル：	ディスクNo.：
	□ その他		
発生箇所	□ 最初から再生できない	□ ＿＿ 分 ＿＿ 秒位の部分から症状が発生	□ タイトルNo.： チャプターNo.：

＜接続テレビに関して＞

接続テレビ	テレビメーカー名：　　　　機種名： 接続端子：□ ピン端子　□ S端子　□ D端子　□ その他

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

きりとり線

別売品のご紹介(2005年9月現在)

※印の付いているものは、サービスルート扱いでご用意しております。お買い上げの販売店にご注文ください。

■映像や音声を楽しむには

●映像・音声コード(ステレオ←→ステレオ)
:RP-CVP3G05(0.5 m)
:RP-CVP3G10(1.0 m)
:RP-CVP3G15(1.5 m)
:RP-CVP3G20(2.0 m)
:RP-CVP3G30(3.0 m)

●映像・音声コード(ステレオ←→モノラル)
:RP-CVP2G10(1.0 m)
:RP-CVP2G20(2.0 m)
:RP-CVP2G30(3.0 m)

●音声コード(ステレオ←→ステレオ)
:RP-CAP3G05(0.5 m)
:RP-CAP3G10(1.0 m)
:RP-CAP3G15(1.5 m)
:RP-CAP3G20(2.0 m)
:RP-CAP3G30(3.0 m)

●S映像コード
:RP-CVS0G10(1.0 m)
:RP-CVS0G20(2.0 m)
:RP-CVS0G30(3.0 m)

●D端子ピンケーブル
:RP-CVCDG15(1.5 m)
:RP-CVCDG30(3.0 m)

●D端子ケーブル
:RP-CVDG15A(1.5 m)
:RP-CVDG30A(3.0 m)

●光デジタルケーブル(光角形プラグ←→光角形プラグ)
:RP-CA2005A(0.5 m)
:RP-CA2010A(1.0 m)
:RP-CA2020A(2.0 m)
:RP-CA2030A(3.0 m)

●i.LINK ケーブル
:RP-CDE4G15A(1.5 m)
:RP-CDE4G30A(3.0 m)

■外出先からパソコンや携帯電話で予約録画するには
(インターネットの常時接続環境が必要です)

●ブロードバンドレシーバー:DY-NET2

■テレビ放送を楽しむには

●75Ω同軸ケーブル:VJA1091※(1.4 m)
●BS同軸ケーブル:VW-KBS1(2.0 m)
●75Ωアンテナプラグ(VHF/UHF入力端子専用)
:VSQ1035※
●アンテナプラグ:VUA7050※
●CS・BS/U・V分波器:TY-6S7BCSW

■カセットを楽しむには

●カセットアダプター:VW-TCA7
●ビデオヘッドクリーナー
:VFK0923FM※(乾式、使用回数180回)
:VFK0923FS※(乾式、使用回数30回)

■お手入れには

●レンズクリーナー:RP-CL720
●ブルーレイ/DVDディスククリーナー:RP-CL750

別売品は販売店でお買い求めいただけます
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	動作時：約42 W
	待機時（クイックスタート「切」）：約 3.7 W ※1（時刻表示点灯時・約4.0 W、時刻表示消灯時・約1.3 W）
	待機時（クイックスタート「入」）：約 9.8 W ※1（時刻表示点灯時・約10.0 W、時刻表示消灯時・約9.0 W）

※ 1 VTR の省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。

本体

■本体外形寸法
約幅430 mm×高さ89 mm×奥行380 mm

■本体質量
約7.1 kg

■許容周囲温度
5 ℃～40 ℃

■許容相対湿度
35 %～80 %RH（結露なきこと）

■時計部
クォーツ制御、24時間、デジタル表示

■プログラム数
●**HDD/DVD**　1 カ月　32 プログラム
●**VHS**　1 カ月　16 プログラム

■停電保証期間
約5年

■テレビジョン方式
●**映像方式**　NTSC方式、525本、60フィールド

●**アンテナ受信入力**

VHF：	1～12チャンネル	75 Ω
UHF：	13～62チャンネル	75 Ω
CATV：	C13～C63チャンネル	75 Ω
BS（DVD専用）：	1、3、5、7、9 ※2、11、13、15チャンネル	75 Ω

●**BSアンテナ用電源出力**
（DVD専用）　DC 15 V、最大4 W

●**検波入出力**（BS：ピンジャック）
（DVD専用）　0.67 Vp-p　75 Ω

●**ビットストリーム入出力**（BS：ピンジャック）
（DVD専用）　0.50 Vp-p　75 Ω

※ 2 本機では、BS9（ハイビジョン放送）を見ることはできません。

■映像
●**映像入力**（ピンジャック）

入力端子：	3 系統	
入力レベル：	1.0 Vp-p	75 Ω

●**S映像入力**

入力端子：	3 系統	
Y入力レベル：	1.0 Vp-p	75 Ω
C入力レベル：	0.286 Vp-p	75 Ω

●**映像出力**（ピンジャック）

出力端子：	2 系統（内 DVD 専用 1 系統）	
出力レベル：	1.0 Vp-p	75 Ω

●**S映像出力**

出力端子：	2 系統（内 DVD 専用 1 系統）	
Y出力レベル：	1.0 Vp-p	75 Ω
C出力レベル：	0.286 Vp-p	75 Ω

●**D 映像出力**　D1/D2映像出力
（DVD専用）　（525i：Y、CB、CR/525p：Y、PB、PR）

出力端子：	1 系統	
Y出力レベル：	1.0 Vp-p	75 Ω
CB/PB出力レベル：	0.7 Vp-p	75 Ω
CR/PR出力レベル：	0.7 Vp-p	75 Ω

■音声
●**アナログ入力**（ピンジャック）

入力端子：	3 系統
基準入力：	309 mVrms
入力インピーダンス：	22 kΩ

●**アナログ出力**（ピンジャック）

出力端子：	2 系統（内 DVD 専用 1 系統）
基準出力：	309 mVrms
出力インピーダンス：	1 kΩ
負荷インピーダンス：	10 kΩ

●**デジタル出力**　光コネクター
（DVD専用）　（PCM、ドルビーデジタル、DTS対応）

HDD/DVD部

■内蔵HDD容量　200 GB

■映像
- ●記録圧縮方式　MPEG2(Hybrid VBR)

■音声
- ●記録・再生圧縮方式　Dolby Digital:2ch記録
  リニアPCM(XPモードのみ切り換え可):2ch記録
- ●アナログ入力レベル　FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB)
- ●アナログ出力レベル　FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB)
- ●チャンネル数
  記録:　2 チャンネル
  再生:　2 チャンネル

■記録可能ディスク
DVD-RAM :Ver.2.0
Ver.2.1/3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0
Ver.2.2/5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0
DVD-R :for General Ver.2.0
for General Ver.2.0/4X-SPEED DVD-R Revision 1.0
for General Ver.2.x/8X-SPEED DVD-R Revision 3.0
for DL Ver.3.x/4X-SPEED DVD-R for DL Revision 1.0
DVD-RW :Ver.1.1
Ver.1.1/2X-SPEED DVD-RW Revision 1.0
Ver.1.2/4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0
+R :Ver.1.0　Ver.1.1　Ver.1.2

■記録方式
DVD-RAM :　DVDビデオレコーディング規格準拠
DVD-R :　DVDビデオ規格準拠
DVDビデオレコーディング規格準拠
DVD-R DL(片面2層):DVDビデオ規格準拠
DVD-RW :　DVDビデオ規格準拠

■記録時間
(4.7 GBディスク使用時)
最大8時間
XP:約1時間　SP:約2時間
LP:約4時間　EP:約6時間または約8時間
(内蔵HDD使用時)
最大355時間
XP:約44時間　SP:約89時間
LP:約177時間　EP:約266時間または355時間

■再生可能ディスク
DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、DVD-R DL(片面2層)、+RW、+R、DVD-Video、DVD-Audio、CD-Audio(CD-DA)、VCD、CD-R/CD-RW(CD-DA、VCD、MP3、JPEGフォーマット記録のディスク)

■外部コントロール端子　別売ブロードバンドレシーバー用

■DV入力(4ピン)
入力端子:　1系統

VHS部

■録画方式　VHS規格

■テープ速度　標準: 33.35 mm/秒
3倍: 11.12 mm/秒

■使用カセット　VHSビデオカセット

■録画時間　最大9時間(T-180使用、3倍モード)

■早送り・巻き戻し時間
約54秒(T-120使用時)
高速リターン時:約36秒(T-120使用時)

■音声
- ●トラック数
  ハイファイ:　2トラック
  ノーマル:　1トラック

SD部

■SDカード機能　静止画 (JPEG、TIFF)
- ●スロット　SDメモリーカード
- ●対応カード　SDメモリーカード※3
  マルチメディアカード
- ●対応フォーマット　FAT12、FAT16
- ●画像ファイル形式
  JPEGベースライン方式[DCF(Design rule for Camera File system)準拠]、TIFF(非圧縮RGB、点順次)対応、DPOF対応
- ●画素数　34×34〜6144×4096
  サブサンプリング:　4:2:2、4:2:0
- ●解凍時間※4　約7秒(200万画素、JPEG)

■SDカード機能　動画 (MPEG2)
- ●スロット　SDメモリーカード
- ●対応カード　SDメモリーカード※3
- ●ファイル形式　SD VIDEO規格準拠
  [SD(SD VIDEO規格)からHDD/DVD-RAM/DVD-R(ビデオレコーディング規格)への変換転送後に再生可能]

※3　miniSD™カードを含む。(miniSD™アダプター装着時)
※4　解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
●使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間
当社は、このDVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
「故障かな!?」(➜110～114)に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」(➜109)が表示されている場合その番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	DVDレコーダー
品　　番	DMR-EH73V
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談
ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

• お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
• 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
• 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談
ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-3644

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0505

さくいん

あ 頭出し……50
お手入れ……11
おまかせダビング……78
音声
切り換え……44,52
効果……45

か ガイドチャンネル…… 接続・設定編 P.23
外部入力NR……45
画質選択……45
かんたん設置設定…… 接続・設定編 P.17
機能選択……20
切り換える
操作先……16
ビデオ入力……19
クイックスタート……8,69
高速(ダビング)……76
高速ダビング用録画……14,70
高速リターン……49
語句登録……30,68
５倍モード……23
コマ送り･コマ戻し……42

さ サーチ……41
再生する
写真……46
チャプター……57
番組……41
プレイリスト……60
VHS……48
再生ナビ……41,54
30秒スキップ……42
残量に合わせて録画する(ぴったり録画)……26
市外局番チャンネル設定一覧…… 接続・設定編 P.28
時刻合わせ…… 接続・設定編 P.27
視聴制限……70
自動更新録画(オートリニューアル)……34,35
自動CM早送り……44,50,76
写真……46,62
終了時刻を指定して録画する……25
仕様……118
消去する
写真……53,63
全番組……65
チャプター……57
番組……53
フォルダ……63
プレイリスト……61
プレイリストのチャプター……61
消去ナビ……53
初期設定……68
スキップ……41
スロー再生……42,49
設定の初期化……69
操作状態の確認(情報表示)……43

た タイムワープ……27,43
ダビング……74
他のビデオやビデオカメラからダビング……100
地上デジタル放送……12,38
チャプター……54,57
チャンネル
チャンネル設定…… 接続・設定編 P.22
チャンネルの微調整…… 接続・設定編 P.24
DC チャンネル……94
TP チャンネル……94
ディスクの再生方法(再生設定)……44
テープリフレッシュ……73
テレビを本機のリモコンで操作する…… 接続・設定編 P.26
トラッキング調整……51

は 早送り･早戻し(サーチ)……41
早見再生(1.3倍速)……42
番組表 (G ガイド)
検索(ジャンル､キーワード)……30
語句登録……30
設定…… 接続・設定編 P.20
見かた……29
録画予約……28
番組追従機能……31
番組表を使って予約録画する……28
標準3倍(ぴったり録画)……23
ファイナライズ……66,104
確認画面……81,89
フォーマット……65,104
カード……65
確認画面……25
HDD､DVD-RAM､DVD-R､DVD-RW……65
プレイリスト……58
プレイリストのチャプター……60,61
プログレッシブ……104
設定……45,48
接続…… 接続・設定編 P.9
プロテクト(書き込み禁止)……105
カード……65
カートリッジ……65
写真……63
ディスク……65
番組……55
フォルダ……63
別売品……117
編集
写真……62
チャプター……57
番組……54
プレイリスト……60
プレイリストのチャプター……60,61

ま 毎週 / 毎日予約 29
マニュアルダビング 86,90,92,97
マルチジョグ 16
モード設定 72
文字入力 67
キーワード[番組表(Gガイド)] 30
ディスク名 64
番組名 29,33,35
フォルダ名(写真) 63
プレイリスト名 61
や **野球延長対応機能** 31
用語解説 104
予約延長 37
予約の確認･取り消し･修正 36
予約録画 28
ら リージョン番号 6
リピート再生 44
リモコンモード .... 接続・設定編 P.26
リリーフ(代替)録画 28
録画する 24
録画中に再生する
(追っかけ再生/同時録画再生/タイムワープ) 27
録画モード 23
わ ワンタッチダビング 80,82,84
B BSアンテナ設定 .... 接続・設定編 P.19
BSデジタル放送 38
BS電源 .... 接続・設定編 P.19
C CATV(ケーブルテレビ) 38
CMカット録画 25
CPRM 12,105
CSデジタル放送 38
D DPOF 63,105
DV おまかせ取込 101
DVD-RAM/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R 5
DVD-Video(DVD ビデオ) 方式 4
E EP時の記録時間[EP(6H)/EP(8H)] 70
EPG 105
F FR(フレキシブルレコーディング) 23,91
G Gコード®を使って予約録画する 32
I Irシステム 39,105
J JPEG 7,105
L LPCM 71,105
M MP3 7,45,105
MPEG2 96,105
P PBC付ビデオCD 44,105
S SDメモリーカード 7,46
SQPB 48,105
T TIFF 7,46,105
V VHS メニュー 72
VR(ビデオレコーディング) 方式 4

アイコン一覧

●本機はアイコン(絵表示)によって、表示画面の情報をお知らせします。

■**再生ナビ画面(番組･写真一覧)**

- 番組や写真に書き込み禁止(プロテクト)を設定
- 録画禁止信号により録画できなかった番組(デジタル放送など)
- X HDD にダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組
- 録画中の番組
- HDD にリリーフ(代替)録画された番組
- 本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組
- P PAL 方式で録画された番組(このマークの番組は再生できません)
- DPOF プリント枚数(DPOF)が設定された写真

■**予約一覧画面**

- F 残量不足で録画できなかった番組
- 録画禁止信号により録画できなかった番組(デジタル放送など)
- X ディスクの汚れなどで録画失敗
- 録画中の番組
- W 日時が他の予約と重複している番組
- 延 野球延長対応機能が働く番組
- HDDに録画される番組
- DVDに録画される番組
- 自動で番組が上書きされる番組 **[自動更新(オートリニューアル)]**
- HDD にリリーフ(代替)録画された番組

■**ダビングリスト作成**

- DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R に高速ダビングが可能
- ! 静止画を含む(HDD、DVDへは静止画部分はダビングされません)
- 「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの
- 本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組

さくいん

Panasonic DVDレコーダー DMR-EH73V 取扱説明書 操作編

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 長年ご使用のDVDレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- テープやディスクをいためた
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMR-EH73V
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	☎（　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　）　－	

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町１番15号

VQT0T01
F0905Tj0 (10000 Ⓐ)